

【資料編】

第Ⅲ部

海外調査研究

資料 3-1 学力調査・学習状況調査の国際比較表

資料 3-2 世界の学習状況調査質問項目

資料 3-1 学力調査・学習状況調査の国際比較表

領域	項目		細目	概要
学力調査	制度	実施主体	<p>□実施主体は国（独立機関を含む）や地方政府（自治体）さらに民間（委託）？（複数の場合は以下の項目に従いそれぞれについてまとめる。）</p>	<p>アメリカ</p> <p>National Assessment of Educational Progress, 通称「NAEP（ネイブ）」（以下、このように表記する）と呼ばれている（日本語訳では、「全米学力調査」）。国（連邦政府・教育省）から任命された全米調査統括委員会（National Assessment Governing Board: NAGB）下で、大手のテスト機関（現在は、教育テスト実施機構（Educational Testing Service: ETS））に委託して実施（データクリーニング、集計、分析も含めて）。【主調査（main NAEP）：時代や社会の変化に対応した教育課題に焦点を当てた調査】と【動向調査（Long-term trend NAEP）：時代の変化にかかわらず不変的に求められる基礎学力を測る調査】。そして、【州別調査（State NAEP）：州間の競争意識を煽る恐れがあることから実施されていなかったが、1990年に解禁され、当初は希望する州のみが参加し、2003年以降はNCLB法の制定により全州が参加】の3種類がある。</p> <p>ドイツ</p> <p>国：教育制度の質開発研究所（Institut zur Qualitätsentwicklung im Bildungswesen: IQB）が実施の主体となっている。IQBは、常設文部大臣会議の決議（2003年）、即ち、地方分権国家にあって全州の合意に基づき設立された研究所であり、ベルリン・フンボルト大学に附設されている。地方：各州に設立された州教育研究所。国：「州間比較テスト（Ländervergleich: LV）」（第二サイクルに入る2015年調査から「IQB教育トレンド」に名称変更）と地方：「VERAテスト（Vergleichsarbeiten: VERA）」の2種類を実施している。ただしVERAのテスト問題は、各州で選出された教員と協力してIQBが開発している。VERAテストの分量やどの課題を取り上げるかは、各州が決定する。</p> <p>フィンランド</p> <p>国；全国学習成果調査（Oppimistulosten kansallinen arviointi）は、2014年以降、国立教育評価センター（KARVI: Kansallinen Koulutuksen Arviointikeskus）が実施している。国立教育評価センターは、評価機能を持つ3つの機関（学校教育評価機構・高等教育評価機構・国家教育委員会の評</p>

<p>学力調査</p>	<p>制度</p>	<p>実施主体</p>	<p>□実施主体は国（独立機関を含む）や地方政府（自治体）さらに民間（委託）？（複数の場合は以下の項目に従いそれぞれについてまとめる。）</p>	<p>価部門）を再編・統合する形で設立されたものであり、2014年以降、それまで国家教育委員会の評価部門が担ってきた全国学習成果調査の実施・分析業務を引き継いでいる。ほかに、全国に準じる規模で実施されている学力調査として、ヘルシンキ大学教育評価センターが、国家教育委員会・ヘルシンキ市教育局等とともに進めている評価プロジェクト【Learning-to-learn】（Oppimaan Oppiminen）がある。</p> <p>シンガポール 教育省（Ministry of Education: MOE）の下に、シンガポール試験・評価委員会（Singapore Examinations and Assessment Board: SEAB）を設置。</p> <p>香港 教育局（Education Bureau: EDB）および教育局からは独立した組織である、香港考試及評核局（Hong Kong Examinations and Assessment Authority: HKEAA）。テスト結果に基づき、学校のカリキュラムを改善することが目的。テストの種類は、小1～中3を対象に中国語、英語、数学を内容とする Student Assessment (SA) と、小3、小6、中3を対象に中国語、英語（リーディング、リスニング、ライティング）、数学を内容とする Territory-wide System Assessment (TSA) に分かれる。SAはオンラインで受けることができ、結果もすぐに出るため、授業直後に実施して児童生徒の理解の程度を確認するのに使われる。TSAは、学校における学習内容と指導内容を改善する計画を作成するためにおこなわれている。</p> <p>フランス 過去においては、全国統一問題による全国学力テスト（évaluations nationales）を、フランス語と数学に関して、対象学年全員に悉皆で実施していたが、2013年度に廃止された。 現在は、小学校3年生のフランス語と数学の診断的評価テストを、国民教育省の一部署である「評価・予測・成果局（Direction de l'évaluation, de la prospective et de la performance : DEPP）」が実施している。国民教育省のホームページに、評価問題群が掲載される（各学校への配布はなし）。診断的評価テストの問題の選択と採点は、利用する教師が行う。400以上の評価問題群（領域別、コンピテンシー別、レベル別）の中から、教師が自分で問題を組み合わせることができる。 「評価・予測・成果局」はさらに、2003年から、小学校5年生と中学校4年生の生徒を対象とした全国学力調査「教科に関する抽出評価サイクル（cycle des évaluations disciplinaires réalisées sur échantillon: CEDRE）」を、数年の間隔ごとに、経年変化分析調査として実施している。2003-2009-2015</p>
-------------	-----------	-------------	--	---

学力調査	制度	実施主体	<input type="checkbox"/> 実施主体は国（独立機関を含む）や地方政府（自治体）さらに民間（委託）？（複数の場合は以下の項目に従いそれぞれについてまとめる。）	<p>年は言語など（小学校は言語、中学校の2003・2009年は一般的なコンピテンシー、中学校の2015年は言語コンピテンシーとリテラシー）、2004-2010年は外国語、2005年は社会生活に対する態度、2006-2012年は歴史地理・市民性教育、2007-2013年は科学、2008-2014年は数学が調査テーマである。</p> <p>台湾</p> <p>中央政府と地方政府がともに行っている。中央政府については、教育部国家教育研究院が「台湾學生學習成就評量資料庫」（Taiwan Assessment of Students Achievement, TASA、以下TASAと略す。）を設置し、学力調査関連の事業及び学習状況調査（学校調査、学生調査）を専門的的事业としている。地方政府については、主要な市が教育局内に関連の組織（委員会）を設置し行っている。例えば台北市は教育局に教学開発のための「精進教学-学習精進組」を設置し、その中に「台北市國民小學基本學力檢測」の運営を専門的に行う「評量規画小組」を置いている。実際の学力調査の問題作成、事業編制さらに結果の統計分析はこの組織が中心に行っている。</p> <p>なお、この他台湾では中学生対象の卒業学力検定試験である「國中教育會考」や高校生対象の基本学力試験である「高中學科能力測驗」が存在する。ただし、これらは学力試験事業であり、学力調査事業ではない。</p>
			<input type="checkbox"/> 複数の場合それぞれの学力調査の役割と関係性は？	<p>ドイツ</p> <p>国際学力調査（PISA、TIMSS、IGLE）をOECD加盟国間の比較調査、即ち、ドイツと他国との比較調査として各調査が規定する学力の国際社会におけるドイツの水準を把握するものと位置づけるのに対し、LVは州間比較調査として、国共通の教育スタンダードを基準にした各州の達成状況を把握するものである。VERAは州内の平均値と各学校・各学級（各教師）、各生徒との比較データを提供するという点では、LVと同様に一定の比較データ（学校間、学級間（教師間）、生徒間）を提供するが、これらの調査データは、学校や教師に対し、学校・授業改善のための診断データとして用いることを前提にしている。この調査目的から、データの公開には厳しく制限がつけられている。</p> <p>LV：国共通のスタンダードを基準にした各州の達成状況の把握、調査結果に基づく教育システムのモニタリングと教育スタンダードのチューニング。</p> <p>（行頭スペース入れる）VERA：学校開発と授業開発、教師の診断能力の向上（教育スタンダードに定められたコンピテンシー</p> <p>を育成する授業開発と授業の質向上、学び続ける学校づくりのためのデータ提供、テストの結果が示すエビデンスデータと教師の主観的アセスメントとの照合）。</p>

<p>学力調査</p>	<p>制度</p>	<p>実施主体</p>	<p>□複数の場合それぞれの学力調査の役割と関係性は？</p>	<p>フィンランド 全国学習成果調査は、全国教育課程基準の実施状況の把握ならびに教育の機会均等の実態をモニタリングすることを主たる目的としている。そのため、調査は教科ベースで行われる。一方 Learning-to-Learn (Oppimaan Oppiminen : 学び方を学ぶ力) は、教科ベースではなく、読解力・数学的思考力・論理的思考力を対象として実施している。開発を担当している研究チームによると、Learning-to-Learn 評価は、成果を評価するものというより、予見するものであるという。したがって、両者は、目的・対象双方において重複しておらず、補完的なものであるといえる。</p> <p>シンガポール ①子どもの修了認定(certIFICATE)、②政策評価、③教師の指導に活かす、という三つの次元の機能を、シンガポールの各ナショナルテスト(初等教育修了試験 Primary School Leaving Examination: PSLE、GCE 試験 the Singapore Cambridge-General Certificate of Education) が持っている。それらをシンガポール試験・評価委員会(Singapore Examinations and Assessment Board: SEAB)が、一元的に管理し、教育政策のPDCAを進めている。</p> <p>香港 SAは小1から中3までが日常的な理解の程度を測るために受験。オンラインですぐに結果がでるので、教師が生徒の理解の程度にあわせて授業内容に反映することができる。TSAは小3、小6、中3を対象に全土一斉におこなわれる。SAとTSAにデータの関連づけはない。</p> <p>フランス (1) 診断的評価テスト 「評価・予測・成果局」: テスト問題の作成。担任教師: テストの実施と採点と分析。 (2) CEDRE 「評価・予測・成果局」: テスト問題の作成、採点、分析。「評価・予測・成果局」に任命された教員が提案した問題が、視学官の指揮のもとで検討され、いくつかのクラスで試行され、選定される。選択肢問題などの客観テストの採点は、機械で行う。自由記述問題の採点は、「評価・予測・成果局」に任命された外部の専門家が行う(二重採点)。 担任教師: テストの実施。</p> <p>台湾 中央政府の教育部国家教育研究院・「台湾學生學習成就評量資料庫」(Taiwan Assessment of</p>
-------------	-----------	-------------	---------------------------------	---

学力調査	制度	実施主体	<input type="checkbox"/> 複数の場合それぞれの学力調査の役割と関係性は？	<p>Students Achievement, T A S A、以下T A S Aと略す。)の目的は以下のように設定されている。①児童生徒の学習上の変遷と趨勢を追跡・分析し、現在の教育課程と教学の実施成果を検証する。②標準化された学習成就資料を提供し、児童生徒の学習成就上の差異を分析し、児童生徒の能力を評価する。③国内の学校の教学及び児童生徒の学習成果の現況を明らかにして、(中央の)教育課程及び教育政策の改善や県市政府の教育局や学校が行う補救教学(補習授業制度)の参考にする。④各県市の児童生徒の学習表現資料を提供し、県市との共同のシステムを設け児童生徒の学力関係のデータベースの応用効益を拡大する。⑤データベースの解析資料を国内外の関連の研究者に提供し、児童生徒の学習成就方面の関係政策議題を深く研究する。⑥国際動向を考慮し国際比較を通じて台湾の教育の特色やプラス面とマイナス面を明らかにする。地方政府については「九年一貫課程」(義務教育課程)の能力指標の達成度の測定による結果成果の(市民への)公表と教師教学の改善資料としての使用にある。</p> <p>この場合、特に重視されているのが各学校での放課後の課外学習指導体制を意味する「補救教学」の参考資料とする点にある。</p>
			<input type="checkbox"/> 中央や地方に学力向上のための研究・調査機関はあるか？(あればその機関の概要を)	<p>アメリカ</p> <p>NAEPのデータクリーニング、集計、分析を行っているのはETSだが、ETS自体は意図的に価値判断が入り込まないように、事実を単純に羅列するような形で結果等に関する報告書を作成している。そのため、政策等に関する積極的な提言等は行っておらず、解釈や判断を受け手に委ねている。また、研究者に対しては、教育に関する様々な条件や変数のデータ等を提供している。</p> <p>ドイツ</p> <p>学力向上のための研究・調査機関として、中央(連邦)にIQB、各州に州立の研究・調査・研修を目的にする州教育研究所が置かれている。ただし、州立の教育研究所は、学力向上を直接的な目的としたものではない。あくまで学校と授業の質改善・質向上を目的としており、学校・教師への支援機能に重点が置かれている。例)ノルトライン・ヴェストファーレン州の州学校研究所では、学校と授業の質開発・質保証、指導案や教材の開発、教員の専門性の開発(教員研修)を主たる任務としている。VERAテストでは16州のうち7州は、コブレンツ・ランダウ大学附設の実証的教育研究センターのデータ解析システムを利用し、その州の学校・教師はこのシステムから体系立てられた分析データを得ている。このデータを組織研修・個人研修の材料にすることが掲げられ、州教育研究所はその校内での活用の仕方(外部評価や内部評価、組織研修や個人研修等)に関する手引書を作成しているが、その趣旨が教育現場に十分に浸透するまでには至っていない。</p>

<p>学力調査</p>	<p>制度</p>	<p>実施主体</p>	<p>□中央や地方に学力向上のための研究・調査機関はあるか？（あればその機関の概要を）</p>	<p>フィンランド 教育全般（但し、高等教育を除く）に係る研究・調査を所掌事務に含む機関としては、国家教育委員会・国立教育評価センターなどが存在する。また、大学に委託して、あるいは大学と共同で調査・研究を実施する場合がある。代表的な機関として、ヘルシンキ大学の教育評価センター、ユバスキュラ大学の教育研究所などがある。</p> <p>シンガポール 国の設置する委員会 SEAB が中心。</p> <p>香港 前述の教育局の Quality Assurance (QA) Division と香港考試及評核局。さらに教育局から依頼を受けた大学が主な研究・調査機関となる。QA の主なミッションは、学校のカリキュラム開発や開発サポートであり、テスト結果のデータ収集は一切おこなっていない。テスト開発や結果データの集約は、1978 年に設立された香港考試及評核局がおこなっている。教育局 QA と港考試及評核局の役割に目を向けると、教育局 QA ではカリキュラム開発を、香港考試及評核局はそのカリキュラムの効果が見られたかどうかをアセスメントする機関として分離独立している。1978 年より以前はともに教育局の中の一部署として存在していたが、「開発」と「評価」の機関を明確に分ける目的で、評価機関が分離独立した。しかし、分離したことによって、2種類のカリキュラムガイドラインが存在していた時期があり、この時期、学校では、教育局が作成したカリキュラムではなく、香港考試及評核局によって作成されたカリキュラムに従って教育内容を決めるようになった。このような2種類のカリキュラムガイドラインによる混乱を解消するため、近年ではカリキュラム開発とテスト事業との一体化を図る目的で、教育局と考試及評核局の共同チームで作成された統一されたカリキュラムガイドラインを使用するようになった。</p> <p>香港考試及評核局は現在は公的試験を管轄する行政法人であり、実施している主な試験は、香港中等教育修了試験、SA および TSA、Language Proficiency Assessment for Teachers (LPAT) 教師向け語学力テスト（英語と中国語）、その他 200 以上のさまざまな評価/試験がある。教育局から独立した当初は、政府からの仕事を中心であったが、現在では個人や企業なども顧客であり、事業範囲は設立当初より拡大している。</p> <p>フランス 前述の「評価・予測・成果局」が、教育制度全体についての統計データを集積・公表するために、</p>
-------------	-----------	-------------	---	--

学力調査	制度		<p>さまざまな調査（学力テストや生徒用・教師用質問紙調査など）を行っている。</p> <p>台湾</p> <p>前述した中央政府の教育部国家教育研究院・「台湾學生學習成就評量資料庫」(Taiwan Assessment of Students Achievement, TASA、以下TASAと略す。)が、学力調査事業とともに学力向上のための研究機関の役割をもつ。</p>
		実施教科・学年	<p><input type="checkbox"/>対象学年の範囲の拡大はあるか？</p> <p>アメリカ</p> <p>1. 【主調査】</p> <p>算数・数学 (mathematics), 読解 (reading), 理科 (science), 作文 (writing), 芸術 (the arts), 公民 (civics), 経済 (economics), 地理 (geography), 合衆国史 (U.S. history), 技術・工学リテラシー (Technology and Engineering Literacy (TEL)) の中から, 1～3教科が選ばれて実施 (※なお, デジタル基盤評価 digitally based assessments (DBA) が算数・数学, 読解と作文は2017年から始まり, 2018年, 2019年にはそれにいくつかの教科が追加される。) 第4学年 (9～10歳), 第8学年 (13～14歳), 第12学年 (17～18歳)。</p> <p>2. 【動向調査】</p> <p>算数・数学と読解 9歳, 13歳, 17歳。</p> <p>ドイツ</p> <p>州間比較調査 (LV) (「IQB教育トレンド」調査) : 第4学年と第9学年の生徒に対し, 抽出調査として実施している。第4学年の対象教科はドイツ語と数学, 第9学年の対象教科はドイツ語, 第一外国語 (英語またはフランス語), 数学, 自然科学である。</p> <p>VERA テスト : 第3学年と第8学年の生徒に対し, 悉皆調査として実施している。第3学年の対象教科はドイツ語と数学, 第8学年の対象教科はドイツ語, 数学, 第一外国語 (英語またはフランス語) である。バーデ・ヴェルテンベルク州では第5学年に対しても独自の悉皆調査「学習状況5 (Lernstand 5)」を実施しており, 学習状況を把握するため, この例のように VERA テストの対象学年以外でも州独自のテストを課している州もある。</p> <p>フィンランド</p> <p>【全国学習成果調査】原則として, 第9学年を対象としているが, 必要に応じて, その他の学年を対象とする場合もある。対象教科については, 母語 (フィンランド語・スウェーデン語・サーミ語・手話など) と数学が中心であるが, 2004年改訂の全国教育課程基準のもとでの調査では, 全国教育課</p>

<p>学力調査</p>	<p>制度</p>	<p>実施教科・学年</p>	<p>□対象学年の範囲の拡大はあるか？</p>	<p>程基準に記されているすべての教科（体育や音楽なども含む）について調査が実施された。</p> <p>【Learning-to-learn】原則として、第3学年、第6学年第9学年、高校生を対象としている。但し、第1学年、第2学年についても対象としている。また、教科ではなく、読解力・数学的思考力・論理的思考力について調査を行っている。</p> <p>シンガポール</p> <p>小学校から大学まで、すべてを対象。</p> <p>（初等教育）</p> <p>初等教育修了試験(Primary School Leaving Examination: PSLE)</p> <p>2000年の統計によると資格取得率は95.8%。この試験の結果により進学可否並びに中等学校でのコース分けが決定。1991年に、従来、小学校3年次に実施されていた振り分け試験が、4年次に引きあげられた。その小学4年次の成績に基づいて5、6年次にEM1・EM2・EM3の3つの能力別コースに分けられていたが、それぞれの学校の方針において習熟度別授業編成等を行えるよう学校裁量枠の拡大を視野に入れ、2004年にEM1とEM2の区別を廃止。PSLEの結果に基づいてセカンダリースクールの入学コースが決まる。内訳は、上位約10%が「特別(Special)コース」、中位約50%が「進学(Express)コース」、下位約40%が「普通(Normal)コース」。さらに、普通コースは「学術(Normal Academic)」と「技術(Normal Technical)」に分かれる。その他、初等教育では、各学年、各学期（二学期制）にも試験</p> <p>（中等教育）</p> <p>「特別コース」と「進学コース」は、4年次にGCE-Oレベル試験(the Singapore Cambridge-General Certificate of Education-Ordinary)を受け、ジュニアカレッジ等に進学し、さらに、GCE-Aレベル試験(GCE-Advanced)の科目を学習し、大学進学を目指す。「普通コース」の生徒は、4年次にGCE-N(GCE-Normal)レベル試験を受け、その結果に基づいて第5学年に進んでGCE-Oレベル試験に備えるか、技術教育学院(Institute of Technical Education: ITE)で職業技能訓練を受けるか、就職する。セカンダリースクールにおいては、2008年から、「特別コース」「進学コース」は「進学コース」に統合。従来4つだったコースが、「進学」「普通(学術)」「普通(技術)」の3コースに。</p> <p>セカンダリースクール卒業後の生徒の進路は、0レベル試験の上位25-30%がジュニアカレッジ(JC)または中央教育学院(CI)に進学。中位はポリテクニク(35-40%)、0レベル試験下位者やNレベル試</p>
-------------	-----------	----------------	-------------------------	---

学力調査	制度	実施教科・学年	<input type="checkbox"/> 対象学年の範囲の拡大はあるか？	<p>験受験者の一部は、ITE に進学(20-25%)するか就職(15%)。</p> <p>香港 SA は小1～中3、TSA は小3、小6、中3であり、拡大は特に予定されていない。</p> <p>フランス 1989年の全国学力テスト開始時の小学校3年生と中学校1年生から、小学校2年生、5年生に変更(2009年)。さらに、現在の診断的評価テストは、1学年(小学校3年生)に減少。 CEDRE は小学校5年生(最終学年)と中学校4年生(最終学年)。</p> <p>台湾 教育部国家教育研究院・「台湾學生學習成就評量資料庫」による学力調査は、2010年の「學生學習能力檢測計畫」(学生學習能力検査測定計画)により全島的な学力調査として開始された。現在は、「小四」(小学校第4学年)「小六」(小学校第6学年)「国二」(中学校第2学年)「高二」(高校第二学年)さらに「高職二」(専門高校第二学年)を対象に、「国語」「英語」「算数(数学)」「自然」「社会」の5教科を対象に実施されている。なお、「小四」の児童は「国語」「算数」「自然」の3科目から2科目、「小六」「国二」「高二」の児童生徒は全5科目から2科目を選択して受験している。一方、地方政府(台北市)の学力調査は小学校5年生を対象として国語・算数・英語の3教科を行っている。</p>
			<input type="checkbox"/> 小学校・英語を対象にしているか？	<p>ドイツ 実施していない。かつて2003/4年にドイツ国際比較教育研究所(DIPF)が開発した、英語を対象教科にする国際ドイツ語・英語学力調査(Deutsch-Englisch-Schülerleistungen-International)を実施したことはあったが、2008年をもって同調査プロジェクトは終了した。この場合でも第9学年の生徒を対象としていた。</p> <p>フィンランド 【全国学習成果調査】全国教育課程基準に記載されたすべての教科を対象としているため、英語を含む外国語についても調査が行われている。但し、第9学年を対象とするものであり、小学校段階に特化して調査を実施したものでではない。</p> <p>香港 対象にしている。Student Assessment (SA) は、中国語、英語、数学。小1～中3、Territory-wide System Assessment (TSA) は、中国語、英語(リーディング、リスニング、ライティング)、数学。小3、小6、中3。</p>

学力調査	制度			<p>フランス</p> <p>(1) 診断的評価テスト：実施していない。(2) CEDRE：2004年から6年か5年おきに実施（小5）。</p> <p>台湾</p> <p>小6を対象に実施している。</p>
		規模（悉皆/抽出）	□調査目的との関係性は？	<p>アメリカ</p> <p>標本抽出である。NAEPは、全米の児童生徒全体及び属性集団ごとの達成度を測ることを目的としており、個々の児童生徒の学力の測定を目的とはしていない。そして、その出題範囲は、多くの教科科目の内容が広範囲にわたっている。そのため、NAEPでは「マトリックス標本抽出法(matrix sampling)」が採用されている。これは、被調査者である児童生徒を悉皆ではなく標本抽出の原理で抽出すると同時に、質問をいくつかのブロックに分けて、違った組み合わせで複数の質問用紙（調査冊子）を作成し、それを別ではあるが同等な被調査者標本である児童生徒に対して実施することを組み合わせた手法である。標本抽出された児童生徒に関して言えば、全員が同じ質問に解答するのではなく、質問項目が細かく分けられたブロックに対して、1人の被調査者が2、3個のブロックのみを解答することになる。結果として、被調査者である児童生徒が解答する項目は、当該の教科科目の内容の一部であり、解答する項目は児童生徒ごとに異なっている。そのため、被調査者である児童生徒一人一人の学力を正確に把握することはきわめて困難となっている。</p> <p>また、「主調査」と「動向調査」では、米国全土を北東地区、南東地区、中央部、西部の4つの地域に分け、各地域にはほぼ同数の人口が含まれているように区分される。そして、この4つの地域のそれぞれが都市部と非都市部に分けられる。つまり、結果として8つの集団に分けられ、アメリカに居住している民族をはじめとする多様な集団が、その人数が小さいということだけで抽出されない自体を避けるべく、段階的に抽出作業が為されている。</p> <p>ドイツ</p> <p>LV：教育システムのモニタリングが調査目的であることから、抽出調査としている。2011年第4学年生徒2万7千人強、2012年第9学年生徒約4万4500人、2015年第9学年生徒約4万5千人、2016年第4学年生徒約3万人を対象。</p> <p>VERA：調査目的は、①教育スタンダードの効果を確かめること、②学校、学級、生徒の学力状況を把握し、授業の質向上につなげること、③学校としての自律的な改善の取り組みを行うこと等であり、生徒・学級・学校単位の個別データを授業改善に結びつける目的を有するため悉皆調査としている。</p>

学力調査	制度	規模（悉皆/抽出）	□調査目的との関係性は？	<p>フィンランド</p> <p>標本抽出。全国学習成果調査については、学校単位のサンプリングで、5-10%程度。全国教育課程基準の実施状況の把握及び教育の機会均等のモニタリングという調査の目的を果たすためには、十分なサンプルであると考えられている。但し、すべての子ども、すべての学校に学習成果をチェックする機会を保障することが必要なのではないかという視点から、悉皆調査の可能性についても議論されている（かつては、希望する学校に問題用紙の提供を行っていたが、近年、試験が電子化されたことにより、対象校以外の子どもに同じ環境を提供することができないことから、それも困難になっている）。</p> <p>シンガポール</p> <p>国。国家試験のため、基本的に全ての者が受験</p> <p>香港</p> <p>Student Assessment (SA) は、生徒の現状をそのまま日々の教育活動にフィードバックし、授業内容の改善に役立てることが目的。そのため、オンラインでいつでもどの生徒でも各自に応じたテストを受けることが可能。Territory-wide System Assessment (TSA) は、対象学年（小3、小6、中3）の生徒全員が対象。</p> <p>フランス</p> <p>(1) 診断的評価テスト：実施は悉皆（テスト問題は教師によって異なる）。1学年のみ。生徒一人ひとりの学習状況を対象学年の担任教師が把握・分析するため。</p> <p>(2) CEDRE：抽出。学習状況の全国的傾向を把握することが目的であるため。</p> <p>台湾</p> <p>中央調査は抽出。地方調査（台北市）は悉皆と抽出に分かれる。この場合、抽出は「国語」については学校規模ごとに抽出され、「英語」は全市内から240学級（約6千人）をアトランダムに抽出している。</p>
		実施頻度	□年1回、3年に1回？	<p>アメリカ</p> <p>1. 主調査；教科によって異なる。算数・数学と読解⇒2年に1回、理科と作文⇒4年に1回、他の教科⇒周期的。2. 動向調査；4年に1回。</p> <p>ドイツ</p> <p>LV：基礎学校（第4学年）は5年に1回、中等学校（第9学年）は3年に1回。</p>

学力調査	制度	実施頻度	<input type="checkbox"/> 年1回、3年に1回？	(改行) VERA:第3学年と第8学年を対象に毎年実施。 フィンランド 【全国学習成果調査】原則として年1回、1教科。但し、定期的な実施ではない。調査はプロジェクトの形で行われ(例えば、第9学年の数学の調査プロジェクト)、通常、1つのプロジェクトに(計画から分析まで含め)2年を費やす。 シンガポール 年1回。 香港 Student Assessment (SA) は学校の判断で実施。Territory-wide System Assessment (TSA) は、小3と中3は毎年。小6は奇数年のみ。 フランス 診断的評価テストは年1回。CEDRE は基本的に5年ごとのインターバル(2011年までは6年ごとのインターバル)。
		実施時期	<input type="checkbox"/> 学年初期か学年末か？	アメリカ 1. 主調査:1月下旬~3月上旬(直近の予定では、2017年度は4年生・8年生の算数・数学、読解、作文、また、8年生の公民、地理、合衆国史は2016~2017年にかけての冬に実施予定とのこと) 2. 動向調査:13歳:10~12月/9歳:1~3月/17歳:3~5月 ドイツ LV2011は5-7月、LV2012は5-6月、LV2015は4-5月、LV2016は5-7月に実施。VERS-3は4-5月、VERA-8は2-3月に実施。ドイツの学校の年度の始期は10月初めであり、ほぼ学年末に実施している。 フィンランド 【全国学習成果調査】第9学年の春(学年末に近い時期)が一般的。 シンガポール 学年末(初等教育は各学年学期末)。 香港 Territory-wide System Assessment (TSA) は6月。結果の公表は2016年の場合、11月上旬。SAは必要に応じて実施。 フランス

学力調査	制度		診断的評価テストは学年初期。CEDRE は学年末。
		公開性	<input type="checkbox"/> 公表の主体・媒体 アメリカ 「国家の成績通知表 (The Nation' s Report Card)」として公表される。 ドイツ LV : IQB が膨大な指標やデータに基づく詳細な分析結果をまとめた報告書を刊行し、HP でも公開している。IQB の担当職員が各州の文部科学省担当官に対し、当該州の学力状況について特色や傾向を取りまとめ、対面式で説明する機会を設けている。 (行頭スペース) VERA : 州の全般的な傾向に関しては、州教育研究所の HP において公開している。各学校、各教員 (一部の州では生徒、親も含める) は、ID によりデータベースにアクセスし、自身の属性によって知り得ることが許可された結果の全容を自ら閲覧・入手することができるシステムが構築されている。 フィンランド 【全国学力調査】 主要な結果をまとめた報告書が作成されている。かつては、国家教育委員会から、現在は、国立教育評価センターからより分析がなされた報告書が刊行されることもあるが、毎年ではない。各教育行政機関、学校設置者 (基礎自治体)、学校等には、結果の概要が報告される。 シンガポール 教育省 (Ministry of Education: MOE) が設置するシンガポール試験・評価委員会 (Singapore Examinations and Assessment Board: SEAB) 香港 Territory-wide System Assessment (TSA) の全体結果は香港教育局 (EDB) のサイト上で公開される。教科ごとに基礎的なコンピテンシーを達成した生徒のパーセンテージが示される。 フランス (1) 診断的評価テスト : 教師によって実施する問題が異なるため、結果の集計・公表は行われない。生徒個人のテスト結果の公開に関する規定は確認できない。公開するとしても、生徒の所属学校と進学先の学校、保護者に限られると考えられる。 (2) CEDRE : 「評価・予測・成果局」が、 <i>Note d' information</i> や <i>Dossier de la DEPP</i> という文書で公表。 台湾

学力調査	制度	公開性	中央調査は当該学校のみ公開、地方調査（台北市）は非公開。
		□公表内容（制限）	<p>アメリカ</p> <p>調査の目的、設問構成、過去の設問と実際の回答例、採点基準、得点分布、採点者間の信頼性系統数の統計的情報などを無料で公開。</p> <p>ドイツ</p> <p>LV：調査目的、調査対象、設問の趣旨説明、テスト開発や試行にかかわる基本情報、設問例題がHPで公開されている。報告書（HPでも電子データ公開）では、HPで公表された情報の詳細にわたる体系的説明に加え、モニタリングシステムとしての調査の趣旨、調査対象となるコンピテンシー、コンピテンシー段階モデルを基準にした設問の水準設定、実施方法や評価方法、評価基準や統計的処理の方法、16州各州の総合データと傾向、性差・社会背景・移民背景・教員の力量形成履歴等に関する州間比較分析データと傾向などを広く公開している。各州の傾向等についてまとめた各州の文部科学省担当官に対する説明用パワーポイント資料まで公開されている。ただし、テスト冊子のみならずテスト問題、教師・生徒・親・学校管理職に対する質問紙に対しても、公開を厳しく制限している。これは同一問題、同一質問項目による経年比較を原則にしているからである（但し、毎回修正は加えられている）。</p> <p>VERA：IQBのHPにおいて、調査目的、調査の趣旨、IQBと各州との役割分担、実施の日程・対象教科（対象となるコンピテンシー領域）、設問例題、Q&A等の基本情報が公開されている。各州の教育研究所のHPにおいて、これらのさらに詳細な説明に加え、各学校における実施方法、活用方法、分析結果、学校や教師の体系的な診断方法、弱点克服のための手引書等々、VERAにかかわって目的別に整理された情報が公開されている。ただし、各学校、各学年、各学級、各生徒の個別データに関しては、公開に厳しい制限がかけられている。一般的な例題としては公開されているが、実際に使用されたテスト冊子そのものは原則非公開とされている。</p> <p>フィンランド</p> <p>【全国学習成果調査】参加校に対しては、調査の各項目に関する全国平均とそれに対する学校の状況が報告される。公刊されている報告書については、体裁は必ずしも一定ではないが、学習成果の分析を中心に、国全体若しくは、AVIと呼ばれる広域的地域（自治体ではなく、国の出先機関が置かれる地域の単位であり、かつて州とよばれたものに近い）別の結果などが示される。</p>

学力調査	公開性	□公表内容（制限）	<p>シンガポール</p> <p>個人と学校に公表。1992年からセカンダリースクールとジュニアカレッジにおいて学校ランキング制度導入=Aレベル試験の結果のみに基づいてランキング。現在は Value-added の指標が追加（入学時と卒業時の成績を比較して、どれだけ成績が向上したか、成績の伸び率を測るもの）。社会経済指標は、基本的には親の収入に基づき、低所得者が優秀な学業成績を収めた場合は奨学金給付などの措置もある。ただし、依然として学力水準への関心は高い。また、批判的思考やライフスキルなどの総合的な学力も重視されてきている。</p> <p>香港</p> <p>Territory-wide System Assessment (TSA) の結果データは、一般には教科別の平均点と前回テストからの変化が公表される。各学校へは自校のデータと全国平均値が報告されるが、生徒別のデータは一切公開されていない。その他、考試及評核局によって1年に1度報告される『TSA レポート』では、特徴的な強みと弱みについて、3か年分の特徴をコメントとしてまとめた内容が示される。</p> <p>フランス</p> <p>(1) 診断的評価テスト：教師によって実施する問題が異なるため、結果の集計・公表はない。 (2) CEDRE：結果の全国的傾向を公表。</p> <p>台湾</p> <p>中央政府の教育部国家教育研究院・「台灣學生學習成就評量資料庫」サイトへのアクセス権を持つ当該学校（学力調査抽出校）に限定。</p>
	内容	目的	<p>□当該国の学力向上政策の概要</p> <p>アメリカ</p> <p>1990年代から、連邦政府による地方教育行政への介入が明確となり、それまでの地方分権的な体制で進めていた学力向上政策方針から、スタンダードに基づく学校教育システムの構築へと転換。2002年の「一人も落ちこぼさない法」(No Child Left Behind Act of 2001) (以下、NCLB法)の制定によって、連邦政府の地方教育行政への介入とスタンダードに基づく教育改革の動きは一層強化。各州に教育目標および内容のスタンダードを設定させ、各州で統一された多肢選択方式のペーパーテストである標準テスト (standard test) の策定と実施を要請。アメリカのカリキュラム編成権に関する教育行政組織は、学区主導の地方分権型から連邦教育法にもとづく州政府主導の中央集権型に。</p> <p>ドイツ</p> <p>PISA ショック以後、国際学力調査の対象教科を中心に国共通の教育スタンダードを策定し、21世紀</p>

<p>学力調査</p>	<p>内容</p>	<p>目的</p>	<p>□当該国の学力向上政策の概要</p>	<p>型汎用的能力を形成するインプット・アウトカム型の学校・授業の質向上策として、教育モニタリングシステムを構築してきた（「各州文部大臣会議の教育モニタリングのための総合戦略」（2008年）による）。</p> <p>フィンランド PISA2012 及び国内の学力調査において学力低下と格差拡大が指摘されたことを受け、教育環境・学習環境の改善を目的とする改革を進めている。</p> <p>シンガポール ジュニアカレッジの教育課程の改訂により、「責任のある、活動的な市民として、健全な価値を身につけ、それらを生涯活用するスキル」が重視されてきている。具体的には、クラブ活動の一種である「CCA(Co-curriculum activity)」、「人格発達プログラム(Character Development Programme: CDP)」、「国民教育(National Education: NE)」、「公民・道徳教育(Civics and Moral Education: CME)」、「保健体育(Physical Education: PE)」、「パストラルケア&キャリアガイダンス (Pastoral Care and Career Guidance: PCCG)」などになっている。また、知識スキルとして「プロジェクトワーク (Project work: PW)」、「ジェネラルペーパー (General Paper: GP)」、「知識と探究(Knowledge & Inquiry: KI)」の三領域から構成されている。「PW」はジュニアカレッジにおいて 2000 年に導入された必修科目</p> <p>香港 香港では自律的な学校運営を重視している。そのために、教育局は各学校で達成すべき Key performance (KP) を定め、テストの結果も含め、各学校の状況を外部評価委員が調査した上で、大学教員などから成る外部評価委員がレポートをまとめ (EDB inspection report)、結果を公表している。評価はカリキュラムの一部であり、学習から分離することはできないという考え方に基づいたもの。学力調査はその一環としておこなわれている。</p> <p>フランス PISA 調査や EU のキー・コンピテンシーの影響を受け、2005 年の学校基本計画法および 2006 年 7 月 11 日の政令で、義務教育 (6~16 歳) 段階で生徒全員に保障すべき基礎学力として、「知識とコンピテンシーの共通基礎 (socle commun de connaissances et de compétences)」(以下、共通基礎) が定められた。この共通基礎の習得状況を確認するために、全国学力テストや診断的評価テスト、CEDRE が行われてきた。</p> <p>台湾</p>
-------------	-----------	-----------	-----------------------	--

学力調査	内容	目的	<p>2010年以降、PISAやTIMSSなどの世界的学力調査の結果を意識し、全島的な教育改革の課題として「学力向上」に向けたガバナンスの再編化が進行した。中央においては教育部国家教育研究院・「台湾學生學習成就評量資料庫」(Taiwan Assessment of Students Achievement, TASA、以下TASAと略す。)の設置、同時に主要な市におけるが学力向上のための委員会設置が進行した。</p>
		□学力調査導入の経緯と目的	<p>アメリカ</p> <p>元来、子ども(児童生徒)の学力向上と教育格差の解消は、第二次世界大戦後のアメリカでは今日に至るまで、一貫したテーマであった。そうした中、1965年にジョンソン政権下(民主党)で成立した「初等中等教育法(Elementary and Secondary Education Act of 1965)」(ESEA)では、「偉大なる社会(Great Society)」構想の一環としての「貧困との闘い(War on Poverty)」という方針の下で、貧困地域等の不利な状況下にある児童生徒への財政援助を行い、学力格差是正が謳われていた。</p> <p>NAEPが開始されたのは、こうした動向と関連している。1969年に始まったNAEPは、高等教育の普及を視野に入れた、初等中等教育の(人種差別等による)学力格差是正と質的整備のために実施された。ただし、NAEPの位置づけは、アメリカにおいてこれまで大きな転換を遂げてきた。すなわち、第1期(1960~70年代)は「政策立案に資するデータの供出ツール」として位置づけられ、また、第2期(1980~90年代)は「NAEP自身に対する説明責任」が求められ、第3期(2003年)以降は、「州の説明責任を果たすツール」として位置づけられてきた、とされている。そうした中で、「主調査」は、元々は教育条件の差や教育環境による学力への影響を検出することが主要な目的だったが、現在では、行政担当者が政策を立案する際に必要となる情報を社会から収集することが、主たる役割とされている。また、「動向調査」は、学力の変化を長期にわたって追跡する調査であるため、同じ問題を使って繰り返し調査されてきている。</p> <p>なお、特に第3期(2003年以降)がNAEPにとって注目すべき転換である。2002年に制定されたNCLB法では、各州のNAEPの調査データ(州別調査)の活用が明記され、それを基にして各州は連邦政府から受けている教育補助金に対する説明責任を果たすべく、州や学校区ごとに評価報告書を毎年作成することが求められている。NAEPとNCLB法が結びつき、各州が州独自に行っている学力テストとリンクする情報源の1つとして位置づけられ、各州が連邦政府に対する説明責任を果たすことが求められた結果、NAEPは2003年以降に全州調査となった。それに伴い、サンプリングの方法も変更され、それまで全米対象のNAEP調査と州別調査では被調査者である児童生徒は別々にサンプリングされていた方式が、そこから、第4学年と第8学年に限り、両調査のサンプリングを重複させることで、同一被調査</p>

<p>学力調査</p>	<p>内容</p>	<p>目的</p>	<p>□学力調査導入の経緯と目的</p>	<p>者である児童生徒に調査が実施されるようになった。しかし、この州別調査の場合でも、被調査者である児童生徒や学校の個々の成績は公開・公表されていない。</p> <p>ドイツ</p> <p>国際学力調査が明らかにした生徒の学力不振状況や格差問題を背景に、それらの改善のための教育システムや学校システムのモニタリング、学校と授業の質向上を目的に導入された。</p> <p>フィンランド</p> <p>全国教育課程基準の大綱化や教育行政の分権化等、教育の規制緩和・権限委譲を基調とする改革が進む中で、入口管理から出口管理（成果による管理）への移行が図られたことを受け、義務教育の新たな質保証のツールとして、導入された。</p> <p>シンガポール</p> <p>1980年導入の「新教育制度(The New Education System)」(＝メリトクラシーを基盤とした能力分岐システム(The Streaming System)のこと)を受けて、複雑な分岐型の学校システムが誕生。その後、1997年「考える学校、学ぶ国家(Thinking Schools, Learning Nation: TSLN)」が提唱される。これによって、個々の多様な能力の開発を目指す「能力指向教育(Ability-Driven Education)」へ転換した。そして、教育制度やカリキュラム内容に柔軟性を持たせ、学校経営により自律性を与え、より多くの選択の機会を学習者に提供。ただ、近年、学力観の見直しによって、従来の制度を緩和する方向へ移行。1997年「考える学校、学ぶ国家(TSLN)」提唱。生徒の個性や個人の能力をより尊重するシステム整備をしつつある。</p> <p>香港</p> <p>2000年に発表されたレポート「Learning for Life, Learning through Life」を受け、教育委員会(Education Commission)が中国語、英語、数学に関する基礎能力テスト(Basic Competency Assessments: BCA)を提案。これに基づき、「Assessment for Learning: 学習のための評価」を主眼としたStudent Assessment (SA)とTerritory-wide System Assessment (TSA)が導入された。</p> <p>フランス</p> <p>全国学力テストは、生徒の習得状況を教師が把握するには役立ちうるものの、教育制度全体に関する評価には役立たないという判断から、廃止された。診断的評価テストの目的は、担任教師が生徒の学習困難を把握し、生徒一人ひとりのニーズに応じた手立てを講じることである。生徒の学習状況や教師の教育目標に応じて問題を選択できるよう、複数のレベル・領域の問題が用意されている。</p>
-------------	-----------	-----------	----------------------	--

学力調査	内容	目的	<p>□学力調査導入の経緯と目的</p> <p>一方、CEDRE が 2003 年に導入された契機は、次の二つである。一つ目は、2000 年から実施されている PISA などの国際学力調査の影響を受け、学力の経年比較への関心が高まったことである。二つ目は、予算組織法（LOLF）が 2001 年に制定され、教育制度の成果である学力の年次指標を提示する必要が出てきたことである。予算組織法は、業績指標に基づく評価に応じて国家予算を編成することを定めた法律である。</p> <p>台湾</p> <p>主要には、国内の学校の教学及び児童生徒の学習成果の現況を明らかにして、（中央の）教育課程及び教育政策の改善や県市政府の教育局や学校が行う補救教学（補習授業制度）を整備することを目的とする方向への転換があった。</p>
		学力規定	<p>□学力調査における学力評価基準は？</p> <p>アメリカ</p> <p>学力到達度調査；「児童生徒は何をどこまですることができるのか」を測る。NAEP の関心の対象は特定の個人の学力そのものではなく、さまざまなテスト問題に関して、全米の母集団を代表する形で標本抽出された児童生徒が、全体としてどの程度の達成度を示しているのか、という点にある。質問の種類は、「多肢選択式」、「作業式」、「記述式」などに大別されるが、NAEP のほとんどは「多肢選択式（multiple-choice item）」（正解と複数の不正解の選択肢を伴った、1 つかそれ以上の導入の文章で構成される項目）である。ただし、今日では高度な思考過程を図るためにパフォーマンス・アセスメントに近づいているとも指摘されている。つまり、「何を知っているか（what they know）」ではなく「何ができるか（what they can do）」を図るために、多肢選択式については再考が図られており、高度に知的な能力が求められる項目が多く取り入れられる傾向にあるという。また、採点基準の作成と採点者研修を行い、採点の一貫性を保つように配慮。</p> <p>ドイツ</p> <p>国共通の教育スタンダードに基づき段階水準化したコンピテンシー。4 つのカットスコアを境界点として、高位から低位まで 5 つの段階水準に分けるスタンダードセッティング法を採用している。</p> <p>フィンランド</p> <p>全国教育課程基準に明示された到達目標。</p> <p>シンガポール</p> <p>基本的には各教科の学力。ただし、教師は生徒の取り組みの様子やファイルをチェックするほか、筆記試験の代わりとしてプレゼンテーションについて評価が行われ、2005 年から大学入試のアドミッ</p>

学力調査	内容	学力規定	<p>□学力調査における学力評価基準は？</p> <p>ヨンスコアにも約10%が成績に含まれることになった。さらに、教科科目・学術教科については、1言語系(英語、母国語、第三言語)、2文化教養系(経済、地理、歴史、文学、音楽、芸術など)、3理数系(物理、化学、生物、数学、コンピュータ活用など)の三領域に大別されている。これらは、Aレベルの試験科目ともなり、各学校種の試験内容の基準になる。</p> <p>香港</p> <p>香港のスタンダードに基づく段階評価がおこなわれている。各教科にはディメンションがあり、例えば2つの言語科目では、読み書き、聞き取り、会話のスキルに分かれている。数学では、数値、尺度、図形、データ、代数などのディメンションを含んでいる。ディメンションごとに正答した生徒の%が示される。</p> <p>フランス</p> <p>(1) 診断的評価テスト：共通基礎のコンピテンシーを評価、(2) CEDRE：学習指導要領で定められた教育内容を評価(学習指導要領は共通基礎を反映しつつある)</p> <p>台湾</p> <p>教育部国家教育研究院・「台湾學生學習成就評量資料庫」の学力調査では、「数学」では「知識力」としての内容領域(数と量、幾何、統計と確率、代数)ごとに「認識力」としての「概念理解力」「手続き執行力」「解題思考力」をそれぞれ求める問題の作成を意図している。また、「国語」では「注音符号応用能力」(発音)や「識字能力」のみならず「閲読能力」や「作文能力」を重視し、選択式の回答形式よりもPISA型の読解力を求める論述式の「問答題」や「短文題」を多く採用している。一方、地方政府(台北市)の学力調査では、国語については「注音符号の応用」「語彙と書き取り」「読解」「作文」等の領域、算数については「数と量」「幾何」「代数」「統計・確率」の領域を扱い、いずれも「九年一貫課程」の設定された第4学年までの「能力指標」を基本に構成されている。また、英語は「台北市国民小学語文學習領域英語課程綱要」の能力指標にもとづき、「聴く」「読む」「書く」の能力を重視して構成されている。なお、全教科とも世界的な学力調査におけるコンピテンシー能力を重視している。</p>
		□PISA型学力の導入は？	<p>アメリカ</p> <p>近年で、NAEPは国際的な各種の調査と連動するように開発・実施されている。例えば、算数・数学、読解、理科の評価の公表は、「国際作文リテラシー研究推進機関(Progress in International Reading Literacy Study: PIRLS)」、国際児童生徒学習到達度調査(Program for International Student</p>

<p>学力調査</p>	<p>内容</p>	<p>学力規定</p>	<p>□PISA 型学力の導入は？</p>	<p>Assessment: PISA)」、「国際理科数学教育動向調査 (Trends in International Mathematics and Science Study: TIMSS)」の評価の公表と連係している。ただし、TIMSS とのテストとしての類似性は指摘されているが、PISA の結果とはズレがあり、関連性がTIMSS ほどはないとも言われている。</p> <p>ドイツ</p> <p>導入有。PISA ショックの影響が大きかった。しかし、DeSeCo のキー・コンピテンシーなど、またこれを除外したとしても、90 年代から成熟した能力論議が進められてきた結果であって、PISA の学力規定をそのまま撰取したわけではなかったが、課題文化 (Aufgabenkultur) という言葉を生み出すほどテスト課題の設問の工夫には少なからず影響を与えたとみられる。他方、各設題の難易度は、コンピテンシーモデルにしたがい Ia・Ib から V まで 6 つの水準に分けられている。この設題の水準設定に、PISA 調査の手法が準用されている。</p> <p>フィンランド</p> <p>PISA 実施当初より、フィンランドの基本的な学力観と所謂 PISA 型学力との類似性が指摘されている(敢えて、導入するというものではない)。</p> <p>シンガポール</p> <p>各学校種で非常に意識されており、2006 年に新しいジュニアカレッジのカリキュラム「新 A レベルカリキュラム(The new 'A' level curriculum)」が導入。選択幅の拡大、弾力性、多様性、ホリスティック教育による思考力・コミュニケーション能力が重視された。</p> <p>香港</p> <p>実社会における知識の活用を重視するという意味において導入されている。香港では 2000 年に以降の教育改革の柱となる、『香港教育改革建議 (英語では、Lifelong Learning, Learning for Life)』が発表された。その目標には「生涯学習と全人的発達を目指す」としている。そしてこの考え方をベースに作成されたカリキュラム開発のベースとなる考え方が「Seven Learning Goals」である。</p> <p>7 つのゴールとは、1) 責任感、2) 国家アイデンティティ、3) 読書習慣、4) 言語スキル、5) 学習スキル、6) 幅広い知識、7) 健康的なライフサイクルであり、それぞれに 10 年間で達成すべき目標が示されている。各学校ではこうした方針をベースにしなが、学業の達成だけでなく、生徒らの社会性の育成についても目標を立て、その育成をおこなっている。</p> <p>フランス</p> <p>PISA 調査は、フランスでは長らく注目されてこなかった。ただし、2006 年の第 3 回 PISA 調査の結</p>
-------------	-----------	-------------	-----------------------	---

学力調査	内容	<p>学力規定</p> <p><input type="checkbox"/>PISA 型学力の導入は？</p>	<p>果が OECD 平均を初めて下回ったことを受け、第3回調査以来、PISA 調査への政策上の関心が高まっている。現在、PISA 調査の影響を受けた共通基礎のコンピテンシーが評価されている。</p> <p>台湾</p> <p>学力調査の設問の作成に際して、例えば数学はPISAやTIMSSを参考として「知識」(Knowing)「応用」(Applying)「推理」(Reasoning)の数学的リテラシー能力を重視し、「知識力」と「認知力」の相関性を問題作成の基本に置いている。</p>
	解析方法	<p><input type="checkbox"/>クロス集計及び因子分析は？</p>	<p>アメリカ</p> <p>行われている。NAEPでは、学力結果を比較分析するための理論の1つとして、「項目応答理論 (Item Response Theory)」が用いられている。これは、学力の年次的変化や異なる問題を受けた被調査者である児童生徒の集団同士を比較するために、それぞれの得点を同一尺度上で示すために活用される。例えば、「多肢選択式項目」の場合、解答は正解と不正解の2通りの可能性しかなく、これは「二値応答項目」と呼ばれる。ただし、実際には選択肢を2つ以上選んだり、無解答の場合があったりするし、その理由や傾向も様々であることが考えられる（無解答がテストのブロックのどのあたりで生じているのか、不正解の選択肢は全体の解答者のどの程度の頻度で選ばれているのか、など）。また、児童生徒の属性集団や選択肢の応答頻度にも違いがあることも考えられる。これらの点を考慮しながら分析していくことが重要となる。</p> <p>そして、質問項目の正答率を属性ごとに計算することで、集団による特定の項目の働きが異なっていることを調べてもいる。これは、「特異項目機能分析」と呼ばれている。</p> <p>さらに、NAEPは全ての児童生徒を対象とせず、かつ、テストを受ける児童生徒たち全員が同じ質問項目に解答するというタイプのテストでもないため、被調査者である児童生徒個人個人の能力値を推定する従来の統計手法を活用することに対しては、不正確かつ非効率という問題が生じる。そのため、NAEPでは、項目応答パラメタを推定するために、周辺最尤推定法を用いて、同じような背景情報を持ち、項目に同じように解答をした被調査者の当該教科科目の学力分布から被調査者ごとに5つの「推算値」を求め、推算値の分布が求める集団の尺度得点の分布と等しくなるように調整して、全米児童生徒の各教科科目における学力分布をできるだけ正確に推定しようとしている。この推算値の算出に関しては、被調査者である児童生徒の項目への解答と、児童生徒、教師、校長に対する質問紙調査項目（後述）への回答とが用いられている。こうした手法はNAEPが開発してきたものである。</p> <p>ドイツ</p>

学力調査	内容	解析方法	<input type="checkbox"/> クロス集計及び因子分析は？ 行われている。LVでは、州別・州間比較、到達水準、校種、性差・社会背景・移民背景・教員の力量形成履歴等に関し、多様な組み合わせでクロス集計が行われている。 フィンランド クロス集計、因子分析ともに実施している。 シンガポール Value-added 指標に基づき、児童・生徒の社会経済的要因が分析され、傾斜率にもとづき修学前・後の成績の向上割合が算出される。 香港 行われている。TSAの実施機関である考試及評核局は、学年と教科、実施年の3重クロスで公開。その後、報告書では、ディメンション（数、尺度、図形・・・）別に正答率が示される。データは各学校に送られ、学校内では、香港全土との比較において、自校の生徒の強み・弱みの分析がおこなわれる。 ※本報告書作成のために訪問した学校の場合、分析には、エクセルが用いられ、ディメンションごとに過去のデータとの比較、香港全土との違いの確認が、クロス集計表や折れ線グラフを使って、行われていた。分析は数学の教員がおこなっていた。 フランス (1) 診断的評価テスト：担任教師が各生徒の結果を分析することに主眼が置かれているため、結果の集計・統計的処理は行われていない。 (2) CEDRE：クロス集計は行われているが、因子分析は行われていない。男女別・落第経験の有無・公立私立・優先教育の学校と優先教育外の学校などの項目別に、習得レベル別の生徒の割合や平均点などが、5年間や6年間でどのように変化したかを分析している。 台湾 中央及び地方ともにさまざまな解析を行っている。例えば、中央の学力調査では主題別の正解率とともに学校単位、学級単位の「平均正解率」を示し、さらに「都市化等級」ごとの「平均正解率」を示している。
		データベース化	<input type="checkbox"/> データベース化の主体、構築方法 アメリカ 教育省に所属する全米教育統計センター（National Center for Education Statistic: NCES）が運営している「NAEP Data Explore」にて公表（ただし、同意書に同意した者が閲覧可能）。これらのデータはインターネット上で入手可能である。また、NAEPの調査結果は『全米調査報告書』（The Nation's

学力調査	内容	データベース化	<p><input type="checkbox"/>データベース化の主体、構築方法</p> <p><i>Report Card</i>) としても出され、その一部はインターネットでも確認できる。</p> <p>ドイツ IQB が発刊する調査報告書。HP でも公開。</p> <p>フィンランド データベース化は特に行っていない。</p> <p>シンガポール SEAB。</p> <p>香港 香港考試及評核局が運営している。教育局はデータを持たない。</p> <p>フランス (1) 診断的評価テスト：結果の集計を行っていないため、データベースも構築されていない。 (2) CEDRE：「評価・予測・成果局」が、<i>Note d'information</i> や <i>Dossier de la DEPP</i> という文書で公表。</p> <p>台湾 中央政府においては、教育部国家教育研究院は「台灣學生學習成就評量資料庫」がデータベース化の主体であり、各県市の児童生徒の学習表現資料を提供し、県市との共同のシステムを設け児童生徒の学力関係のデータベースの応用効益を拡大し、大学等との共同研究により構築方法を建都し、データベースの解析資料を国内外の関連の研究者にも提供している。</p>
		<input type="checkbox"/> データベースの内容	<p>アメリカ 主調査、動向調査、高校成績証明書研究 (High School Transcript Study：高校生の履修履歴等に関する調査)、全米インディアン教育研究 (National Indian Study：アメリカインディアンやアラスカ原住民の学習状況に関する調査) の4分類で分けられている。結果内容は、人種別 (白人、黒人、アジア系、ヒスパニック系、大洋州人、アメリカインディアン)、地域別 (北東部、南東部、中央部、西部)、居住地別 (都市中心部、地方大都市/都市周辺部、地方都市/郡部)、州別に区分して公開されている。</p> <p>ドイツ 調査結果の概要。調査の目的ごとの州間比較データとデータに基づく実態の詳述。</p> <p>フィンランド</p>

学力調査	内容	データベース化	<p>データベース化が図られていないため該当しない。</p> <p>シンガポール テストスコア並びに value-added 指標</p> <p>香港 TSA データは、香港考試及評核局が保有し、香港教育局はデータは保有しない。</p> <p>フランス CEDRE : テスト結果の全国的傾向として、解析方法のところで先述した分析の結果が公表されている。</p> <p>台湾 教育部国家教育研究院・台湾學生學習成就評量資料庫」のデータベースは、PISA や TIMSS による学力基準・リテラシー能力を基準に問題を作成し、基準ごとの学力集計を行っている。また、各学校における学級担任や教科担任が直接に活用できることを目的に有効な解析とデータの提供を行っている。</p>
		□データベースの内容	<p>□データベースへのアクセス方法</p> <p>アメリカ 報告書やインターネット上で入手可能。</p> <p>ドイツ IQB の HP による公開。公開情報へのアクセスに制限は設けられていない。</p> <p>フィンランド データベース化が図られていないため該当しない。</p> <p>シンガポール 学校順位等を MOE の HP で公開。</p> <p>香港 香港全土の TSA 平均点は、香港考試及評核局 (Hong Kong Examinations and Assessment Authority : HKEAA) の HP での公開。公開情報へのアクセスに制限は設けられていない。ただし、学校別 TSA データは各学校にのみ渡される。(他の学校は見ることができない)。</p> <p>フランス 国民教育省のホームページに掲載されており、誰でも閲覧することができる。</p> <p>台湾 中央の学力調査に関しては、当該の学校からネット上でアクセスコードを入力し、「台湾學生學習成</p>

学力調査	内容		就評量資料庫」にある関連データを閲覧できるシステムになっている。
		活用のための工夫	<p>□地方ごと、学校ごと、学年ごと、学級ごと、個人ごとのデータ？</p> <p>アメリカ 個人の学力測定が目的ではないので、学校や生徒に対して採点答案の返却は行っておらず、分析結果についても、州別よりも細分化された単位での分析は行われていない（IDなどもわからないようにしている）。なお、2002年以降は、いくつかの大都市学区からの成果も公開し始めており、これは、「試行的都市学区評価（Trial Urban District Assessment：TUDA）」と呼ばれている。TUDAの目的は、異なる規模と人口構成の都市に対するNAEPデータの有用性を評価するために、大都市部の学区にNAEPの結果の報告を認め、NAEPプログラムへの参加を認めることである。ただし、ここでも学校単位の結果は公開・公表されていない。</p> <p>ドイツ LV：州ごと。VERA：学校、学級、生徒の個別データに基づき、学校改善・授業改善を行う。</p> <p>フィンランド 公表されているデータは、全国平均・広域的な地域単位のもののみであるが、学校設置者である基礎自治体、さらに、調査におけるサンプル抽出の単位でもある学校には結果のフィードバックが行われるため、国レベルあるいは基礎自治体レベルでの教育政策・方針の立案、学校改善・授業改善等に用いられている。</p> <p>シンガポール 個人は進学のため。地域や学校は学校選択の基準。</p> <p>香港 TSA：学校ごと。個人ごとのデータは非公開。SA：個人ごとのデータに基づき、学校改善、授業改善をおこなう。</p> <p>フランス (1) 診断的評価テスト：生徒個人の結果を、担任教師が指導改善に役立てることが推奨されている。 (2) CEDRE：次回調査（基本的に5年後）に問題の一部を再利用するため、学校や生徒に対して採点答案の返却は行っていない。全国平均のデータの経年変化をもとに、生徒の課題の全国的傾向がわかり、学校改善や授業改善に活かせられる。</p> <p>香港 TSA：学校ごと。学年ごと。個人ごとのデータは非公開。SA：個人ごとのデータに基づき、学校改善、</p>

学力調査	内容	活用のための工夫	<p>授業改善をおこなう。</p> <p>台湾</p> <p>各学校における学級担任や教科担任が直接に活用できることを目的に有効な解析とデータの提供を行っている。中央の学力調査では主題別の正解率とともに学校単位、学級単位の「平均正解率」を示し、さらに「都市化等級」ごとの「平均正解率」を示している。</p>
		□学校（校区）の社会経済的差異を考慮しているか？	<p>アメリカ</p> <p>標本抽出の際に配慮し、人種別（白人、黒人、アジア系、ヒスパニック系、大洋州人、アメリカインディアン）、地域別（北東部、南東部、中央部、西部）、居住地別（都市中心部、地方大都市／都市周辺部、地方都市／郡部）、州別に区分して公開。</p> <p>ドイツ</p> <p>学力調査に連結させた形で、社会経済的差異に対し学校ごとに特別な行政措置をとるとの報告は確認できていない。一般に、移民背景を有する生徒には、生徒本人だけでなく親に対しても学習言語促進の機会が用意されている。</p> <p>フィンランド</p> <p>母語別・ジェンダー別・地域別・自治体種別（自治体の規模別）・広域的な地域別の分析等が行われているが、学校（校区）レベルのものではない。また、いずれにおいても、経済的差異については考慮されていない。</p> <p>シンガポール</p> <p>近年は value-added 指標の導入。</p> <p>香港</p> <p>学力調査に連結させた形では、社会経済的差異に対し学校ごとに特別な行政措置をとるといったようなことはおこなわれていない。ただし、学校ごとの教育品質の格差については教育局が監視している。</p> <p>フランス</p> <p>(1) 診断的評価テスト：学校の状況に応じた問題を担任教師が選択できる。</p> <p>(2) CEDRE：優先教育（éducation prioritaire）の学校のデータと、優先教育外の学校のデータを区分けして示している。優先教育の指定校には、学校の困難の状況に応じて、財政や人材が重点的に配分される。</p>

学力調査	内容	活用のための工夫	<input type="checkbox"/> 学校（校区）の社会経済的差異を考慮しているか？	台湾 「都市化等級」ごとの「平均正解率」を示している。この「都市化等級」とは、学校の所在地である校区のエリアの人口密度や住民の学歴状況さらに職種人口比などを参考に「都市化」のレベルを高度（都市・工商区）・中度（新興・伝統産業区）・低度（低度発展・辺境区）に区分し、その相対比較を重視し、学校側が同レベルの社会経済環境下にある学校との相対比較が学校単位で可能となることを重視している。
			<input type="checkbox"/> 問題解析及び指導資料の提示及び内容は？	アメリカ NAEPの問題や質問の開発の基盤となった「フレームワークス（frameworks）」と呼ばれるものが活用できる。「フレームワークス」とはNAGBがNAEPのために開発している設計図にあたるものであり、そこには、NAEPの評価手法の開発が示され、そこで評価されるべき内容が決定されている。フレームワークスは、教室の内外で児童生徒たちが出会す複雑な諸問題等に対処する上で必要とされるような教科内容や思考スキルの範囲を明確化しており、これは、今日の教育に必要なだと考えられている内容を保障する開発過程を経て決められている。また、そこで評価される内容は、教育の目標やカリキュラムの変化を映し出せるよう柔軟であるべきだとされているので、フレームワークスは、今日の授業実践と研究成果とのバランスを取りながら、先見的かつ反応的であるべきだともされている。つまりは、フレームワークスは、評価計画やカリキュラムの改訂に役立つガイドラインとして活用することができるし、調査される3つの学年の子どもたちに必要だとされる技能の情報を得て、革新的な手法でこれらの技能を測定するモデルとしても役立つと考えられている。 また、NCESは、NAEPのデータ活用に興味を持ってもらうためのセミナーを、定期的で開催している。そこでは、教育に関する研究的な質問に着目したり、NAEPに関連する方法論的・技術的課題の理解を深めてもらったり、NAEPデータを正確に統計分析するために必要な段階を見せたりしている。
				ドイツ LV：IQBが各州の学力状況を分析し、その分析した内容を各州に提示している。VERA：州教育研究所が分析し、指導資料を提示している。研究所内に学校からの問い合わせにアドバイスを与える専門部署が設置されている。
				フィンランド 基礎自治体（学校設置者）及び学校に結果のフィードバックを行っている。問題解析や指導資料の提示は行っていない。

学力調査	内容	活用のための工夫	<input type="checkbox"/> 問題解析及び指導資料の提示及び内容は？	<p>香港</p> <p>学校評価システム（external school review (ESR)）の中で、学力テストの結果解釈や結果への対応策について、教育局への報告資料として提示される。</p> <p>フランス</p> <p>(1) 診断的評価テスト：担任教師が問題を選ぶ参考として、問題の組み合わせ方の例を示した六つの冊子が提案されている。それは、a) 領域別の問題群、b) コンピテンシー別の問題群、c) いくつかの技能を活用する複雑な課題の問題群、d) a) の冊子の短縮版、e) b) の冊子の短縮版、f) c) の冊子の短縮版、である。ただし、これらの冊子の利用は義務ではない。</p> <p>(2) CEDRE: 前述した通り、男女別・落第経験の有無・公立私立・優先教育の学校と優先教育外の学校などの項目別に、習得レベル別の生徒の割合や平均点などが、5年間や6年間でどのように変化したかを分析している。この結果に基づいた指導資料は確認できない。</p> <p>台湾</p> <p>同一学校の同一学年において学級ごとの正解率について、個別な問題ごとの詳細な正解率を示し、学級単位の比較検討ができるデータを提供している。また、学力調査結果における個人成績データについても、国語全体の「正解率」のみならず「字句」「文法」「読解」ごとの主題別の正答率を示し、個々の児童の国語学力に応じた個別指導に有効なデータを提供している。さらに、個人成績に関して、「語句」「文法」「読解」の主題別の正解率の高低の組み合わせにより、個々の児童のいくつかの国語学力に応じた個別指導の類型（パターン）まで設定し、より教師の指導に活用できるデータを提供している。</p>
	実態	学校における活用実態	<input type="checkbox"/> 学力調査結果の活用において政策指示はあるか（学校現場の裁量か）？	<p>アメリカ</p> <p>既述のように、NAEP のデータクリーニング、集計、分析を行っている ETS 自体は、事実を単純に羅列するような形で結果等を報告しており、政策等に関する積極的な提言等を行わず、報告内容の解釈や判断は受け手に委ねられている。また、研究者に対しては、教育に関する様々な条件や変数のデータ等を提供している。</p> <p>ドイツ</p> <p>VERA においては学校現場の裁量を基本としつつ、州教育研究所が発行する手引書等を通して調査結果の活用方法が推奨されている。</p> <p>フィンランド</p>

学力調査	実態	学校における活用実態	<p>□学力調査結果の活用において政策指示はあるか（学校現場の裁量か）？</p> <p>基本的には、学校設置者（基礎自治体）と学校の裁量。</p> <p>シンガポール ある。ただし習熟度別授業編成などの学校裁量は認められる。</p> <p>香港 EDB（香港教育局）と HKEAA（香港考試及評核局）がテスト結果の活用法に関するセミナーを毎年開催。EDB は相談サービス、教師向け能力開発ネットワークなどを通じ、テスト結果を分析して学校単位でカリキュラムを見直す方法についてのサポートを行っている。</p> <p>フランス (1) 診断的評価テスト：基本的に学校現場の裁量に任されている。採点を行うのは担任教師であるため、テストの実施後、結果をすぐに分析し、指導改善に活用できる。 (2) CEDRE：基本的に学校現場の裁量に任されている。</p> <p>台湾 同一学校の同一学年において学級ごとの正解率について、個別な問題ごとの詳細な正解率を示し、学級単位の比較検討ができるデータを提供している。また、学力調査結果における個人成績データについても、国語全体の「正解率」のみならず「字句」「文法」「読解」ごとの主題別の正答率を示し、個々の児童の国語学力に応じた個別指導に有効なデータを提供している。</p>
		■学校評価に運営上反映されているか？	<p>アメリカ 2002年のNCLB法制定以後、各州には、「適正年次進捗度（Adequate Yearly Progress）」（以下、AYP）を独自に設定し、AYPが定める「習熟（proficient）」レベルへの到達を満たせない学校には、改善に向けて厳格に介入するよう規定が定められた。そうした中で、NAEPは各州が州独自に行っている学力テストとリンクする情報源の1つとして、そして州の説明責任を果たすツールとして位置づけられたことにより、学校評価と関連するデータとして大きな影響力を及ぼしてきたと考えられる。</p> <p>ドイツ VERAは、視学官による評価、外部・内部評価の有力なデータとして活用されている。</p> <p>フィンランド 反映されていない。（第三者による学校評価が行われることも通常ない。）</p> <p>シンガポール 学校選択等に直結。</p>

学力調査	実態	学校における活用実態	<p>■学校評価に運営上反映されているか？</p> <p>香港 反映されている。香港では、各学校は、2003年度に導入された School Development and Accountability (SDA：学校の開発と責務) に関する枠組み（毎年更新）に基づき、自己評価（School Self Evaluation：SSE）を通じて学校の質改善に取り組んでいる。自己評価の一環として TSA データが活用され、次年度の指導内容に反映される。</p>
		<p>■指導体制（能力別学級編制や補習指導体制など）に反映されているか？</p>	<p>ドイツ 学校として選択的に行っている指導体制の良否を判断するための有力な根拠としては反映されていると考えられる。</p> <p>フィンランド 反映することを期待しているものと思われるが、実態については、自治体/学校による。</p> <p>シンガポール 反映されている。</p> <p>香港 TSA は生徒単位の結果は明らかにされていないため、個々の生徒を対象とした支援体制には反映されていない。学校全体の指導体制には反映されている（前述）。</p> <p>台湾 データ結果を補習指導体制のクラス分け及び指導資料に活用。</p>
		<p>■個々の教師は日常の授業に活かしているか？</p>	<p>ドイツ 学び続ける学校（チーム）としての組織的な取り組みの考え方が浸透し始めたばかりの状況である。教師が受け持つ学級の生徒各人の学習状況の把握（経験に基づく評価）と調査結果のデータとを突き合せて、教師が自己の教育実践をリフレクションすることが奨励されているが、教育現場への浸透は未だ途上にある。</p> <p>フィンランド 教員用質問票に結果の活用について問うている項目があることから、反映することを期待しているものと思われるが、実態については、自治体/学校による。なお、調査が紙ベースで行われていた頃には、サンプルとして抽出された学校以外でも、希望する学校は問題用紙を入手し、その結果を自ら分析して日常の授業に活かす学校・教員が多く存在したという。</p> <p>シンガポール</p>

学力調査			<p>活かしている。</p> <p>香港</p> <p>活かせる体制がある。SAは、オンラインによるテストシステムで、生徒のニーズや学習状況に合わせてテスト内容を構成することが可能で、実施後すぐに結果が表示される。画期的なアプローチにより、ジュネーブ国際発明展 (Salon International Des Inventions 2005) で銀賞を受賞。</p>
	考察	<p>当該国の学力調査の特徴</p> <p><input type="checkbox"/> 我が国との比較で</p>	<p>アメリカ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主調査と動向調査といった形で、目的に応じて調査形態や手法を分けている ・全米の児童生徒一般の傾向を知るために、悉皆調査ではなく標本抽出調査で実施されている ・調査結果やさまざまなデータが公開されていて、多様な形で活用可能な状態にある ・動向調査を実施しているおかげで、長期的視野に立った経年的な（アメリカの児童生徒たちの）学力到達度の状況を比較し把握することができている ・結果やさまざまなデータを公開して、活用が可能となっている ・調査手法等の開発から調査の実施、結果・成果の公表に至るまで、さまざまな改善等を経て現在に至っており、そのデータ等の蓄積は膨大である ・近年では、国際的な各種の調査と連動するように開発・実施されている <p>ドイツ</p> <p>システムのモニタリング用の抽出型調査と生徒・学級・学校等の個別学習状況を把握するための悉皆型調査とを分け、二種類の学力・学習状況調査を実施している。前者は教育スタンダードに直結する学力状況の大きな傾向及び社会・文化・経済・移民背景など、マクロデータの集積を校種により3～5年の周期で調査するのに対し、後者はマイクロデータを毎年集積している。調査目的に応じ、二種類の調査の棲み分けを図っているところが異なる。次に、教育スタンダードのコンピテンシー段階水準モデルがしっかりと測定判定基準として機能している。</p> <p>フィンランド</p> <p>学力調査の目的を学校教育制度（教育の機会均等）と全国教育課程基準の実施状況のモニタリングに焦点を絞っている。実施方法（抽出調査）や、結果の報告方法（全国平均と各学校・自治体の状況をベンチマークする形で提示する手法）など、調査の枠組み、この目的に照らしたものとなっている。</p> <p>①国が実施する調査は、システムとして機能しているかに限定し、個人レベルの学習到達度（学習成果）の調査は、学校や自治体に委ねていること、②そうした姿勢に合わせた調査設計になっていること</p>

<p>学力調査</p>	<p>考察</p>	<p>当該国の学力調査の特徴</p>	<p>□我が国との比較で</p>	<p>と、フィンランドの特徴であると考え。また、全国教育課程基準の実施状況をモニタリングするという視点から、前回改訂時（2004年）に、①すべての教科を対象として調査を実施した点、②教育課程基準の効果を検証すべく、ある特定の学年について第1学年から追跡調査を実施した点、なども特徴的な点として挙げることができる。</p> <p>シンガポール</p> <p>①子どもの修了認定(certificate)、②政策評価、③教師の指導に活かす、という三つの次元の機能を、シンガポールの各ナショナルテスト(PSLE、GCE)は持っており、それらをSEABが一元的に管理し、教育政策のPDCAを進めている。これらの背景には、時間・予算面のコストパフォーマンスが大きな前提にあり、別途、コストを使って「質問紙調査」を実施するより、テスト結果をそのまま政策や経営のアセスメントに用いた方が合理的との判断による。学力調査は学力上位層を選抜するための制度だが、ただし、個々に応じた学力観の見直しが進んでいる。「修了認定試験」が、「学力調査」を兼ねていると言える（これはイギリスとも同じ）。ただし、初等教育で行われている各学期の試験は、選抜としての性質より、いくぶんアセスメントとしての役割があるようだが、近年、簡略化の傾向も見られ、節目にある「認定試験」が、やはり選抜機能を果たすとともに、政策・実践のアセスメントやフィードバックのための「調査事業」となっている。</p> <p>香港</p> <p>我が国と比較した場合の香港の学力調査の特徴は次の3点に集約される。1) 学力を調査することの目的が、「教育の質保証」にあり、学力調査における教育局の役割はそれを実現するための組織(ESR)や仕組み(オンラインアセスメントツール)の開発である 2) データの分析は学校に委ねられ、数学の教員がデータ分析のスキルを用いて、テストデータの解析をおこなっている。解釈は学校のマネジメントボードに委ねられるが、外部から監視する仕組みも存在する(ESR) 3) 学力テストの公開状況は我が国と似ているが、運営組織の役割が異なっている。カリキュラムを開発する機関(香港政府教育局)とその結果を政策的に評価する機関(考試及評核局)は違っており、評価機関は独立組織として存在し、政府の仕事だけではなく、企業や個人をも顧客とするテスト開発・運営事業全般を担っている。</p> <p>フランス</p> <p>(1) 診断的評価テスト：①担任教師が採点を行う。②全国統一問題による悉皆の全国学力テストを廃止した。各担任教師が生徒の実態に合わせて問題を選ぶ、診断的評価テストを実施するようになっ</p>
-------------	-----------	--------------------	------------------	---

学力調査	考察	当該国の学力調査の特徴 □我が国との比較で	た。③結果の集計・公表を行わず、各担任教師が結果を利用するようになった。 CEDRE：①基本的に5年ごとの継続調査であるため、学習状況の経年比較ができる。②抽出調査である。③優先教育の学校の結果と優先教育外の学校の結果を区別して出すなど、学力を規定する経済的・社会的要因にも配慮して結果を公表している。 台湾 学校での活用を強く意識した調査事業になっているとともに、学力向上の主要な政策課題である「補教教学」（補習授業体制）に直接につながるデータ活用になっている。
		学力調査の課題	■政策上及び実践上の問題や課題 アメリカ ・手間や費用の問題 NAEP 自身、その位置づけは連邦政府からの費用対効果を実証するために、説明責任を求められる形で変化してきた。評価の対象となる能力や領域が拡大し、それらを測定する技術や方策等の開発には、手間や費用が量的・質的に嵩むおそれ。 ・NCLB 法制定以後の位置づけの変化：役割の肥大化 NAEP 自身は、近年のアメリカの特徴である「ハイスティクス・テスト (high-stakes test)」＝「テスト結果が個人の将来の教育機会や職業機会に大きく影響するような強い利害関係や重大な結果をもたらす」体制を直接的にリードする関わり方をしているわけではない。しかし、NCLB 法で求められる州や学区ごとで提出する評価報告書を作成するためには、NAEP の州別調査の結果の公表が必須となる。それがなければ、AYP の達成度の有無をはかる指標を失い、改善を要する学校の指定なったとしても、連邦政府からの資金の追加や技術的な援助を受ける可能性がなくなるからである。しかも、NAEP の州別調査に参加するためには、各州は参加率を 85%以上に確保することが求められているため、各州とその州内の公立学校にとっては、85%以上の参加率でもって NAEP に参加することが死活問題となった。このようにして、NAEP 自身の役割も、この半世紀近くの間肥大化してきたといえる。 ドイツ 教育専門誌や新聞・雑誌記事等では、テストのための勉強の蔓延、行政側と現場教師との温度差、教員への評価圧力がもたらすストレス、芸術系教科を軽視する風潮を指摘するものもある。各学校・各教師の持ち味の通減、実践のスタンダード化（画一化）が懸念されている。 フィンランド

学力調査	考察	<p>学力調査の課題</p> <p>■政策上及び実践上の問題や課題</p>	<p>かつては、国の教育制度・政策（教育課程基準を含む）のモニタリングの一環である学習成果調査を、実施主体の国（国家教育委員会）自身が実施することについて、問題視する声も聞かれた。しかし、学習成果調査の実施主体が、国家教育委員会から教育評価センターへ移管されたことにより、緩和された。実際、担当者も、同じ機関内に評価部門が存在したところに比べ、影響が減ったと語っている。</p> <p>シンガポール</p> <p>インターナショナルスクールや外国籍児童、「第二言語としての英語」の学習が不十分な者の包摂、公立下位層へのフィードバックなど。</p> <p>香港</p> <p>中国本土から香港への移民の子どもが急増しており、広東語を離せない親子の教育支援が課題。低学力層が多いと考えられるが、個別の学力アセスメントからニーズにあわせた一連のサポートまでカバーできていない（第三屆兩岸四地學校輔導國際學術研討會, 2016）。</p> <p>昨年度、香港ではセカンダリースクールの生徒の自殺者数が増えたことが問題となっており、それが学力調査のプレッシャーによるものではないかという風評が流れた。これについて香港政府は学力調査と直接的な関係はないという調査結果を公表しているが、データの取り扱いや公表については今後も慎重な議論が必要だとしている。</p>
		<p>我が国への示唆・提言</p> <p><input type="checkbox"/>当該国の学力調査のメリット</p>	<p>アメリカ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自律的・独立的な学力評価システムを構築しているので、ある程度利害関係にとらわれない国家的な学力到達度の状況の把握が可能 ・動向調査のおかげで、経年的な学力到達度の状況も比較可能。 ・（後述する）質問紙調査と連動した結果を示すことによって、居住地域や学習習慣、民族性といった多様な観点から連動したデータ分析を実施できる ・簡単に測ることができない、多額の費用と技術的な工夫が必要とされるような「学力」への評価測定に対する積極的な取り組み ・サンプリングの工夫と高度な測定手法の組み合わせによって、一人ひとりの調査対象者に過度な負担のかからない多様な項目を用いた評価測定が可能 ・(NAEP を) 利用したいさまざまな人への報告書等、NAEP とその周辺で技術が開発されてきた <p>ドイツ</p>

<p>考察</p>	<p>我が国への示唆・提言</p>	<p>□当該国の学力調査のメリット</p>	<p>目的別に2つの学力調査（LVとVER）を実施している点が理にかなっている。</p> <p>経年的な学力水準の推移を把握するための抽出調査であり、対象学年に応じ3年ないし5年ごとに実施している。学力水準の経年推移の把握を目的とするのであればおそらく、毎年悉皆で実施する必要はなく、これで十分であろう。しかも同一問題での経年比較を原則にしているため、推移をより正確に把握することができる。この学力調査では、校種・性差、生徒・親（授業や学級の様子、就学前の経験、学校選択、社会・文化・経済・移民背景）、教師・管理職（研修歴、授業力、取組方等）等との要因分析が行われている。</p> <p>他方、VERAは、悉皆調査で毎年行われている。この調査は、授業の診断・改善を目的にしているからである。生徒一人ひとりの学習状況を教師が実践的に把握することも重要ではあるが、この経験知に対しVERAはエビデンスデータを提供し、両者を突き合わせることで教師の自己省察を促すところに教育的な導入意図を見出すことができる。エビデンスデータといえば、機械的にほじき出した血の通わないデータのように映るかもしれないが、経験知とエビデンスデータの接近・融合を図ろうとするドイツのチャレンジ精神をシステムの全体から読み取ることができる。しかしこれは運用が相当うまくいくことを前提にした実現可能性であり、道は決して平坦ではないと思われる。</p> <p>フィンランド</p> <p>①目的を限定し、それに見合った調査を実施することで合理的な制度設計になっている点。 ②全国教育課程基準の実施状況の調査という視点から、すべての教科を対象として調査を実施している点、追跡調査を長期的な形で行っている点。 ③観点の異なる調査を実施している点。</p> <p>シンガポール</p> <p>選抜機能の明確化により、高位学力層の確保と、PISA等の国際競争における上位成績の維持。ただし、格差やインクルージョンの視点、社会移動への配慮など課題も多い。シンガポールでは、PISA等に対しても「修了認定試験」が、「学力調査」を兼ねるという考えが取られており、PISAの結果を政策や実践に反映、のように、「学力試験」を教育政策等のアセスメントの機能としても併用していると言える。シンガポールはイギリスと同様に、以上の経緯から、生徒の成績に直結させ、かつ、学校の序列化にも明確に結びついている。その一方で、社会経済的要因に対する配慮は比較的高くなされており、「伸び率」が重視されてきている。人口が531万人で、全国に学校が350校程度しかないので、各種の試験で状況把握ができているという認識と、テストのコストを今の状況で保ちつつ、国際的な学</p>
-----------	-------------------	-----------------------	---

<p>考察</p>	<p>我が国への示唆・提言</p>	<p><input type="checkbox"/>当該国の学力調査のメリット</p>	<p>カテストをできる範囲で全てうまく使いたい、という意図があると言える。</p> <p>香港</p> <p>調査の目的が学校の教育内容や指導内容改善のためであることが明確に打ち出され、結果を教育内容に反映するためのサポートが手厚い点。具体的には、(1) 生徒にどのような学習が必要なのかをアセスメントすることができるため、テスト結果をすぐに指導の改善計画に役立てることができる。(2) そのデータの使い方については、オンラインネットワークやセミナーを通じたサポートがある。また、(3) アセスメント結果に基づいた改善が適切に行われていない場合には、香港教育局 QA がメンバーを学校に一定期間派遣し、改善指導がおこなわれている。</p> <p>フランス</p> <p>(1) 診断的評価テスト：①担任教師が採点するため、生徒の結果をすぐに分析し、指導の改善に役立てることができる。②コストが大幅に低い。評価問題群のデータベースを構築する費用しかかからない。このコストの節約を活かし、教員増などの学力向上改革を行うことができる。③地域・学校・生徒間の競争にテストを使うのではなく、指導を改善するために生徒の学力実態を把握するという目的のためにテストを使える。</p> <p>(2) CEDRE：①学力の経年比較ができ、教育制度改革の評価に用いることができる。②基本的に5年おきの実施かつ、抽出調査であるため、毎年の悉皆調査に比べるとコストが低い。その分、詳細な分析にコストを回せる。③教師・学校のみならず学力向上の責任を負わせるのではなく、学力を規定している生徒の経済的・社会的な背景の改善にも世論の関心を向けさせることができる。</p> <p>台湾</p> <p>学校での活用を強く意識した調査事業になっているとともに、学力向上の主要な政策課題である「補教教学」（補習授業体制）に直接につながるデータ活用になっている。</p>
-----------	-------------------	--	---

<p>学習状況 調査</p>	<p>制 度</p>	<p>種類</p>	<p>□児童生徒用質問紙調査、学校（校長、教師）用質問紙調査、保護者用質問紙調査、地方教育行政機関用質問紙調査はあるか？</p>	<p>アメリカ 児童生徒用、児童生徒の担任用、学校（調査に参加した）用、障害のある児童生徒（Students with Disabilities: SD）／英語力が限られている児童生徒（Limited English Proficiency）用（実際には、SD/LEPの担任が回答）に分かれる。</p> <p>ドイツ LV：教師用質問紙調査、校長用質問紙調査、生徒用質問紙調査、親用質問紙調査が用意されているが、実施状況は州により異なる。義務化している州と自由参加の州がある。 VERA：原則なし。コブレンツ・ランダウ大学実証的教育研究センターと連携し、同センターが提供するデータベースを利用する6州については、データ入力時に回答する教師用質問紙が用意されている。</p> <p>フィンランド 全国学習成果調査の一環として実施。校長用、教員用、生徒用の調査票（質問紙調査）がある。</p> <p>シンガポール ない。（なお、PISAにおける一部家庭環境に関わる調査への回答は行っているが、あくまでPISAとしての事業で学習状況調査としての扱いはなし）ただし、読み・書き・算の学習の補修支援のために初等学校入学初年度にスクリーニングテスト等が各校で行われ、必要に応じて小集団で支援プログラムが実施される。結果は非公開だが、補習対象の子どもは特定される。</p> <p>香港 生徒に学習状況を直接尋ねる調査で全国統一のものはないが、学校の自己評価を促すことを目的とした「ステークホルダーサーベイ」があり、保護者用・生徒用・教師用にわかれている。Non academicの領域に関する評価方法については、領域（自己概念、健康と幸福、ストレスマネジメント、対人関係、学校での態度、学習意欲、学習スキル、社会性、市民性、キャリアプランなど）ごとにゴールが示されているが、統一されたアセスメント資料は存在しない。一部の学校では児童の社会性を測定するアセスメントするツール（APASSO）を活用している。APASSOは数百のアセスメントの観点を含んでおり、学校が自校に必要な内容だけを選択してwebと紙で回答することができる。具体的な内容についてはコピーライトの問題があり原則非公開である。</p> <p>フランス 生徒用や教師用の質問紙調査は、特定のテーマに関する抽出調査として実施されている。質問紙調査には、①学力テストと一緒に実施するもの、②質問紙調査のみを行うもの、という二種類がある。</p>
--------------------	----------------	-----------	--	--

学習状況 調査	制 度	種類	<input type="checkbox"/> 児童生徒用質問紙調査、学校（校長、教師）用質問紙調査、保護者用質問紙調査、地方教育行政機関用質問紙調査はあるか？	<p>①の代表的なものが、前述の CEDRE である。2012 年の歴史・地理・市民性教育の調査と、2013 年の科学の調査、2014 年の数学の調査で、小学校では生徒用質問紙調査と教師用質問紙調査が、中学校では生徒用質問紙調査が実施された。また、2005 年の社会生活に対する態度の調査では、小学校と中学校でともに、生徒用質問紙調査と学校長用質問紙調査が行われた。②の例として、2011 年と 2013 年には、中学校の 1～4 年生を対象に、学校の風土に関する質問紙調査が行われた。</p> <p>台湾</p> <p>学習状況調査も中央政府（TASA）と地方政府の二者が行っている。TASA の学習状況調査は校長を回答者とする学校調査と児童生徒を対象とする学生調査を内容とする。学生調査は、「学生の反応を根拠として教育課程綱要（日本の学習指導要領に相当）及び教育政策の決定の根拠を策定し、さらに各学校の学力向上の実践に有効なデータを提供する」（「2013 年台湾學生學習成就評量資料庫・学校問卷」）ことを目的として、児童生徒の家庭背景、学習方法、学習態度及び放課後の活動などを調査している。</p>
		実施主体	<input type="checkbox"/> あれば上記の質問紙調査に関してその主体は？ 以下該当するそれぞれの質問紙調査に関して項目ごとにまとめる。（例；地方政府による学校用質問紙調査、学校による児童生徒用質問紙調査など） <input type="checkbox"/> 複数の場合それぞれの調査の役割と関係性は？	<p>アメリカ</p> <p>学力調査実施主体（全米調査統括委員会（National Assessment Governing Board: NAGB））と同様。</p> <p>ドイツ</p> <p>LV（全国・抽出）：教育制度の質開発研究所（IQB）が質問紙を開発・実施している。</p> <p>VERA（地方・悉皆）：コブレンツ・ランダウ大学実証的教育研究センターが提供するデータベースを利用する 6 州については、データ入力時に回答する教師用質問紙が実施されている。教師用質問紙は、VERA が提供するデータに対する個人や学校としての取り組み、授業方法や授業改善等に関する項目からなり、授業の質向上への教員各個人の行為状況を診断するためのものである。</p> <p>LV が全国及び州単位の大きな教育トレンドを明らかにするものであるのに対し、授業改善の促進をねらいにする VERA に付随する質問紙調査項目は、VERA の活用状況と学校や教師の日常的教育活動に限られており、授業診断の一環として実施されている（*VERA については共通のデータベースを利用する 6 州に限定）。</p> <p>フィンランド</p> <p>国立教育評価センター（KARVI）が全国学習成果調査と同時に実施。したがって、国が、校長用質問紙調査、教員用質問紙調査、生徒用質問紙調査を実施している。</p> <p>香港</p>

学習状況 調査	制 度			<p>学校の自己評価を促すことを目的とした「ステークホルダーサーベイ」については、学校独自調査。ステークホルダーサーベイは、生徒、教員、保護者に対しておこなわれる。</p> <p>フランス 「評価・予測・成果局」が質問紙調査を実施している。</p> <p>台湾 中央政府（TASA）と地方政府の二者が行っている。</p>
		規模（悉皆/抽出）	<input type="checkbox"/> 調査目的との関係性は？	<p>アメリカ 抽出（NAEP 学力調査と同様）。</p> <p>ドイツ LV：抽出調査であり、すべての回答、ないしは、一部の回答に対し参加自由と定めている州がある。地域格差、社会文化経済的背景がもたらす学力格差状況のモニタリングを目的にし、これらの学習背景と学力との相関関係を明らかにしている。</p> <p>フィンランド 抽出。</p> <p>香港 学校の自己評価を促すことを目的とした「ステークホルダーサーベイ」については、学校改善のための調査としてすべての学校で実施。外部の学校評価委員がとりまとめ、学校改善レポートに反映する。</p> <p>フランス 抽出。全国的傾向を把握するため。</p> <p>台湾 中央政府調査は抽出、地方政府の調査は抽出もしくは悉皆（規模により異なる）。</p>
		実施頻度	<input type="checkbox"/> 年回数	<p>アメリカ NAEP 学力調査と同様。</p> <p>ドイツ LV と同じ。</p> <p>フィンランド</p>

学習状況 調査	制度		<p>基本的には年1回。但し、定期的な形では行われていない。全国学習成果調査と同時に実施。</p> <p>香港 1回。</p> <p>フランス 1回もしくは数年間隔で。</p> <p>台湾 1回</p>
	実施時期	<input type="checkbox"/> 学年初期か学年末か（年1回の場合）？	<p>アメリカ NAEP 学力調査と同様。</p> <p>ドイツ LVと同じ。</p> <p>フィンランド 全国学習成果調査と同時に実施（通常、学年末の春）。</p> <p>香港 学年末</p> <p>フランス CEDREは学年末</p> <p>台湾 学年初め</p>
	公開性	<input type="checkbox"/> 公表の主体・媒体	<p>アメリカ NAEP 学力調査と同様。</p> <p>ドイツ LVと同じ。</p> <p>フィンランド 全国学習成果調査と同じ。</p> <p>香港 香港全土の公開資料はない。学校単位では、外部有識者からなる、Education System Review 委員会 が各学校の報告書をまとめ、当該学校の関係者（学校経営者、教師、保護者）、香港教育局に対して公</p>

学習状況 調査	制度		<p>開している。</p> <p>フランス 「評価・予測・成果局」が結果を集計・分析し、<i>Note d' information</i> や <i>Dossier de la DEPP</i> という文書で公開している。</p> <p>台湾 中央政府の公表は教育部国家教育研究院・「台湾學生學習成就評量資料庫」のサイト内のデータ閲覧、地方は教育局発行の報告書（例；『臺北市國民小學 10 4 年度基本學力檢測 計畫成果報告』）。</p>
		公開性	<p><input type="checkbox"/>公表内容（制限）</p> <p>アメリカ 教育省に所属する全米教育統計センター（National Center for Education Statistic: NCES）が運営している「NAEP データ探索（NAEP Date Explore）」にて、NAEP の教科領域に関するテストと連動して公表されている。</p> <p>ドイツ LV と同じ。</p> <p>フィンランド 全国学習成果調査と同じ。なお、フィンランドでは、個人情報保護の観点から、質問紙調査において、児童・生徒のプライバシーにかかわる項目を設定することができない（例えば、「週末に何をしているか」等）。これは、近隣諸国と比較しても特殊であるという。</p> <p>フランス CEDRE の公開内容は、質問紙調査の結果の全国的傾向である。<i>Note d'information</i> や <i>Dossier de la DEPP</i> は国民教育省のホームページに掲載されており、誰でも閲覧することができる。</p> <p>台湾 学校ごと、個人ごとのデータはアクセス権をもつ調査対象校のみ閲覧可。</p>
	内容	目的	<p><input type="checkbox"/>当該質問紙調査導入の目的は？</p> <p>アメリカ NAEP の質問紙調査の目的は、児童生徒の学力を彼・彼女らの背景と照らし合わせ、児童生徒が属する集団間の優位な比較が可能となるような追加的な情報を集めることである。つまり、NAEP は教科領域の学力を測るだけでなく、被調査者である児童生徒と教員、学校からも情報を収集しており、これらの情報は、児童生徒の学力と関連した非認知的（non-cognitive）・背景的質問紙調査を通して把握されることにある。ここでは、全ての児童生徒のニーズを教育がどれだけ満たしているかを判断する</p>

<p>学習状況 調査</p>	<p>内容</p>	<p>目的</p>	<p>□当該質問紙調査導入の目的は？</p>	<p>ために、特定のグループに関する学力結果に関する情報（人種やエスニシティ、社会経済的地位、ジェンダー、障害、英語学習者などによって報告される情報など）が収集されており、このことは合衆国憲法において規定されていることでもある。</p> <p>また、質問紙調査はNAGSによって2003年に開発され、動向調査時の2004年に実施され、その後主調査でも実施されるようになった。児童生徒たちの回答時間は15分であり、全ての質問に回答する必要はないし、回答したくない質問は飛ばすことができる。</p> <p>なお、NAEPの教科領域の調査と同様に、質問紙調査も開始の1～2年前の段階でパイロットテストが行う予備調査が実施されている。</p> <p>1. <児童生徒用>：児童生徒の（調査した）教科目に対する興味を探る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の人口統計学的な背景情報（人種／民族／学校の出席状況／成績への期待／家庭で使われている主な言語／保護者の最終学歴／家庭で読まれている活字媒体／テレビあるいは宿題に費やす時間、等） ・教室（学校）の内外で学習する機会 ・教育を受けてきた経験 <p>※学業成績、児童生徒の教育状況と経験、評価に関する児童生徒の努力、評価の難しさと重要性和連動する要因に関する情報を提供するものであり、将来的にはオンラインで回答予定</p> <p>2. <教師用>：教科目、学年ごとに異なる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人種／性別などの人口統計学的背景情報 ・学歴 ・専門分野 ・教授年数や特別なトレーニングの有無 ・通常の宿題の量、など <p>※4年生と8年生の教員が回答（オンライン）し、12年生の教員情報は収集されない</p> <p>3. <学校用>：校長や副校長が回答（オンライン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校方針や特色 <p>※チャーター・スクール用もある</p> <p>ドイツ</p> <p>LV:社会・経済・文化・移民・使用言語の背景。国際学力調査で指摘された「格差」のモニタリング</p>
--------------------	-----------	-----------	------------------------	--

学習状況 調査	内容	目的	<input type="checkbox"/> 当該質問紙調査導入の目的は？	<p>に限らず、各州で構築されている教育制度の強みと弱みをモニタリングによって明らかにし、強みを学校のプロフィールづくり（構築型の特色ある学校づくり）に活かし、弱みを補強・改善することを通じた学校と授業の質向上。</p> <p>VERA：教師の実践的認識（子ども一人ひとりにたいする経験的見とり）と到達度データとの照合により、自らの教育実践の省察を促し、両者のズレを中心とした授業診断能力の向上を各教師にもたらすことが意図されている。</p> <p>フィンランド 全国学力調査の導入に際して、学習の背景的要因に関する調査を実施し、これらと学力の関係性について精査するため。</p> <p>香港 学校の自己評価、セルフマネジメント力の強化を狙った施策の一環。※各学校は、2003年度に導入された School Development and Accountability (SDA：学校の開発と責務)に関する枠組み（毎年更新）に基づき、自己評価 (School Self Evaluation：SSE) を通じて学校の質改善に取り組んでいる。</p> <p>フランス CEDRE の一部の調査では、学力調査に加えて質問紙調査がなされている。生徒用質問紙調査の目的は、教科に対する生徒の態度やイメージ、学習環境、学習習慣を明らかにするため。教師用質問紙調査の目的は、学習指導要領の実施に関する教師の意見や実践の現状を明らかにするため。</p> <p>台湾 学力調査との相関性を重視するため。</p>
		解析方法	<input type="checkbox"/> クロス集計及び因子分析は？	<p>フィンランド クロス集計・因子分析ともに実施している。</p> <p>ドイツ LVと同じ。</p> <p>フランス CEDRE の質問紙調査において、因子分析は行っていないが、クロス集計は行っている。歴史・地理と科学と数学の生徒用質問紙調査では、結果（回答の全国平均）が前回調査（5年前か6年前）からどのように変化したかが分析されている。社会生活に対する態度の生徒用質問紙調査では、優先教育の学校と優先教育外の学校、私立と公立、男女別に、テーマごとの点数（質問文への同意の指標）が出さ</p>

学習状況調査	内容	解析方法	<input type="checkbox"/> クロス集計及び因子分析は？ れている。 歴史・地理の教師用質問紙調査では、自由記述の回答の因子分析も行っている。分析の手法は次の通りである。①言葉の雲：回答に使われた言葉の出現の頻度を可視化する。よく出て来る言葉ほど、雲（活字の一式）の高いところに表れる。②類似性の分析：①で高いところに表れた言葉を組み合わせたテーマ（「学習指導要領・歴史・地理」「学習指導要領・時間・不足している」「学習指導要領・生徒・難しさ・資料」など）ごとに、回答で使われている言葉のグループとつながり（近さと遠さ）を図解化する。③回答の言葉をコード化（同じ語の単数形と複数形をまとめる、同義語をまとめる、接続詞や副詞を取り除く）し、よく使われている言葉とその頻度を抽出して表にする。④③の語彙表に出て来る言葉（回答によく出てきた言葉）の因子分析を行い、言葉同士の近さと遠さを抽出する。⑤回答者の変数（性別や公立・私立など）と回答の言葉との因子分析を行う。 台湾 児童生徒質問紙調査では、児童の属性や家庭環境の次元では「誕生日（出生時期）」「性別」「両親の出生地」「兄弟構成」「家庭における蔵書量」などを内容としている。また、児童の学習行為の次元では、「学校での読書時間の読書の選定」（自分で選択するか、教師が推薦するか）「読書への嗜好度」など、「読書」を重視した内容となっている。それらと学力調査結果の相関性を重視している。また、校長を対象とする質問紙調査では、学校の文化風土、教師集団のふんいき、保護者の協力関係、学校の改革動向、校長のリーダーシップなどが設定され、学力調査結果との相関が検討されている。
		データベース化	<input type="checkbox"/> データベース化の主体、構築方法 アメリカ NAEP 学力調査と同様。 ドイツ IQB が公開情報を作成しているが、本委託研究で定義する学習状況調査に限定したデータベースは特に設けられていない。 フィンランド データベース化を行っていないため、該当しない。 シンガポール 該当なし。ただし、学力調査の value-added 指標作成の際に、社会経済的観点からのデータのポイント化などにはあり。無償給食や親の収入など。 香港

学習状況 調査	内容	データベース化	<p>学校評価については External School Review System (for all school) として行われているが、データ管理の主体は各校である。</p> <p>フランス 「評価・予測・成果局」が、<i>Note d' information</i> や <i>Dossier de la DEPP</i> という文書で公表。</p> <p>台湾 学力調査事業と同様。</p>
		<input type="checkbox"/> データベースの内容	<p>アメリカ NAEP 学力調査と同様。質問紙の内容も、インターネットで入手することが可能。</p> <p>ドイツ 本委託研究で定義する学習状況調査に限定したデータベースは特に設けられていない。</p> <p>フィンランド 該当しない。</p> <p>フランス 結果の全国的傾向として、解析方法のところで先述した分析の結果の一部が公表されている。質問紙調査の項目や数値のすべては公開されていない。</p>
		<input type="checkbox"/> データベースへのアクセス方法	<p>アメリカ NAEP 学力調査と同様。</p> <p>ドイツ ここで定義する学習状況調査に限定したデータベースは特に設けられていない。</p> <p>フィンランド 該当しない。</p> <p>フランス <i>Note d' information</i> や <i>Dossier de la DEPP</i> は国民教育省のホームページに掲載されており、誰でも閲覧することができる。</p> <p>台湾 学力調査と同様。</p>
		活用のための工夫	<p><input type="checkbox"/>地方ごと、学校ごと、学年ごと、学級ごと、個人ごとのデータ？</p> <p>アメリカ NAEP 学力調査と同様。</p>

学習状況調査	内容	活用のための工夫	<input type="checkbox"/> 地方ごと、学校ごと、学年ごと、学級ごと、個人ごとのデータ？	ドイツ LV では抽出調査であり、州ごとのデータのみ公開している。 フィンランド 全国学習成果調査と同じ。 フランス 全国平均のデータの一部が公開される。 台湾 児童生徒質問紙調査では、児童の属性や家庭環境の次元では「誕生日（出生時期）」「性別」「両親の出生地」「兄弟構成」「家庭における蔵書量」などを内容としている。また、児童の学習行為の次元では、「学校での読書時間の読書の選定」（自分で選択するか、教師が推薦するか）「読書への嗜好度」など、「読書」を重視した内容となっている。それらと学力調査結果の相関性を重視している。また、校長を対象とする質問紙調査では、学校の文化風土、教師集団のふんいき、保護者の協力関係、学校の改革動向、校長のリーダーシップなどが設定され、学力調査結果との相関が検討されている。
			<input type="checkbox"/> 学校（校区）の社会経済的差異を考慮しているか？	アメリカ NAEP 学力調査と同様。 ドイツ 抽出調査のため学校（校区）ごとのデータはない。 フィンランド 母語別・ジェンダー別・地域別・自治体種別（自治体の規模別）・広域的・地域別の分析等は行われているが、学校（校区）レベルのものではない。また、いずれにおいても、経済的差異については考慮されていない。 シンガポール 該当なし。ただし、学力調査の value-added 指標作成の際に、社会経済的観点からのポイント化などはあり。 フランス 社会生活に対する態度の生徒用質問紙調査では、優先教育の学校と優先教育外の学校別に、テーマごとの点数が出されている。また、歴史・地理の教師用質問紙調査において、自由記述の回答の因子分析では、回答した教員の属性（私立・公立、優先教育の学校と優先教育外の学校など）と回答の言

学習状況調査	内容	活用のための工夫		<p>葉との相関が分析されている。その他の質問紙調査では、学校の社会経済的差異は基本的に考慮されていない。</p> <p>香港 学校単位のため、該当しない。</p>
			□問題解析及び指導資料の提示及び内容は？	<p>アメリカ NAEP 学力調査と同様。質問紙調査を実施していることで、児童生徒の教育的経験（学習習慣など）や、教室の内外で学んできた経験に関するような背景情報（contextual information）が収集され、児童生徒たちがどのようにしてNAEP で成果を示しているのかを知り、かつ、異なる集団に属する児童生徒たちが長きに渡って成果を挙げてきたのかといったパターンを探ることが可能。こうした作業はアメリカにおける教育成果を測り、教育を改善していく上で重要な段階だとみなされており、このように、教科に関する学習経験だけでなく、児童生徒たちの学習機会に関する質問も行うことで、NAEP は、教育関係者や政策立案者、研究者に対して児童生徒が学んでいる背景を一層深く分析できるような重要な情報を提供している。</p> <p>ドイツ 特定群ごとに解答傾向は明らかにされている。</p> <p>フィンランド 該当しない。</p> <p>シンガポール 該当なし。ただし、学力調査の value-added 指標作成の際に、社会経済的観点からのポイント化などはあり。</p> <p>フランス 結果の全国平均の一部が公開される。結果をふまえた指導資料は確認できない。</p> <p>香港 ESR のための委員会があり、そこで問題解析がおこなわれる。年に一回、香港のすべての学校についての評価結果のレビューが報告書としてまとめられている。報告書は教育局 QA 部門への提出が義務付けられている。</p>
	実態	学校における活用実態	□学習状況調査結果の活用において政策指示はあるか（学校現場の裁量か）？	<p>アメリカ 特になし。質問紙調査も悉皆調査ではなく標本抽出調査であり、個々人や個々の学校の動向を把握</p>

学習状況 調査	実 態	学校における活用実態	□学習状況調査結果の活用において政策指示はあるか（学校現場の裁量か）？	<p>することを目的としていないため、データの活用方策はそれぞれの学区や学校、教員の裁量に委ねられている。</p> <p>ドイツ なし。</p> <p>フィンランド 基本的には、学校設置者（基礎自治体）と学校の裁量。</p> <p>香港 EDB（香港教育局）と HKEAA（香港考試及評核局）がテスト結果の活用法に関するセミナーを毎年開催。EDBは相談サービス、教師向け能力開発ネットワークなどを通じ、テスト結果を分析して学校単位でカリキュラムを見直す方法についてのサポートを行っている。学校でのインタビューによると、例えば「集団生活」に関する調査項目が①調査した学校の教員の認識 ②他の項目 ③他の学校 といった3点とギャップが見られる場合、次年度には集団生活に関するガイダンスの時間を増やしている。</p> <p>フランス 活用は学校現場の裁量に任されている。</p>
			■学校評価に運営上反映されているか？	<p>ドイツ なし。</p> <p>フィンランド 反映されていない（第三者による学校評価が行われることも通常ない）。</p> <p>香港 反映されている。（前述）</p>
			■指導体制（能力別学級編制や補習指導体制など）に反映されているか？	<p>ドイツ なし。</p> <p>フィンランド 学級規模や特別支援・学習支援に関する項目もあり、反映することを期待しているものと思われるが、実態については、自治体/学校による。</p> <p>シンガポール 該当なし。ただし、言語習得状況（第二言語としての英語）に応じて、個別の支援が行われている。</p> <p>香港</p>

学習状況調査	実態	学校における活用実態	<p>■指導体制（能力別学級編制や補習指導体制など）に反映されているか？</p> <p>個々の生徒の実情に応じた支援策はない（ステークホルダーサーベイは無記名であるため）。集計された結果については、指導体制に反映されている。例えば、保護者調査の中では「あなたの子どもは学校に行くのが好き」「あなたの子どもは興味を持って学習している」「あなたの子どもは学習に自信がある」「あなたの子どもは学校の他の子との関係はうまくいっている」といった項目がある。こうした保護者調査、教員調査、生徒調査の結果をまとめ、ESRが学校にレビューをおこない、次年度の学校経営に反映する。</p>
			<p>■個々の教師は日常の授業に活かしているか？</p> <p>ドイツ なし。</p> <p>フィンランド 反映することを期待しているものと思われるが、実態については、自治体／学校による。</p>
	考察	<p>当該国の学習状況調査の特徴</p> <p><input type="checkbox"/>我が国との比較で</p> <p>アメリカ</p> <ul style="list-style-type: none"> 抽出調査であること（悉皆ではない） 結果やさまざまなデータを公開して、活用可能 調査の対象者も児童生徒だけでなく、教員と学校（校長や副校長）にも及んでいる 質問項目の内容が多様（人種・民族の属性から、指導法や研修体制のことまで幅広い） <p>フィンランド</p> <p>抽出調査として実施され、学習成果調査と関連付けられている点（但し、相関がみられる項目は必ずしも多くないという）、指導方法について、教員用と児童・生徒用双方に共通の項目を設定し、認識の相違・類似を検証している点。学習状況に関する国レベルの調査としては、唯一のものであるため、データを蓄積していく上で意義のある試みであると考えられている。</p> <p>ドイツ</p> <p>移民背景や使用言語背景が多角的に調査されている。他方、出身国間で学力差が大きいことを理由に、移民背景の差の指摘が別の差別感を助長しかねないことが危惧されている。</p> <p>シンガポール</p> <p>あくまで、学力調査の選抜機能に向けた「value-added 指標」という明確なねらいがある。</p> <p>香港</p> <p>統一された学習状況調査は存在しないが、学校評価の一環としておこなわれた保護者調査や児童生徒調査によって学習状況の一部を測定している。各学校単位で必要だと思われる調査がおこなわれて</p>	

学習状況調査	考察	当該国の学習状況調査の特徴	<input type="checkbox"/> 我が国との比較で おり、内容は学校の裁量に委ねられている。 フランス ①悉皆の学習状況調査（質問紙調査）は行われていない。特定のテーマに関する抽出調査として質問紙調査が実施されている。②生徒用質問紙調査だけではなく、教師用質問紙調査も行っている。③選択肢の項目だけではなく、自由記述の項目もある。④教科の学力テストと関連づけた質問紙調査が行われている。 台湾 学力調査と相関性を高く意識している。
		我が国への示唆・提言	<input type="checkbox"/> 当該国の学力状況調査のメリット アメリカ ・自律的・独立的な学力評価システムを構築しているので、ある程度利害関係にとらわれない国家的な学習状況の把握が可能 ・児童生徒や教員、管理職といった立場の人たちに質問を行い、その内容も属性から指導法・カリキュラムや研修体制のことまで幅広く、多様な観点からNAEP 学力調査の結果とリンクして分析することが可能。 ドイツ 家庭での使用言語を調査することで、学習言語の習得の遅れなどの問題状況を緩和するためのきめ細やかな行政サービスを提供することができる。 フィンランド 目的を限定し、それに見合った調査を実施することで合理的な制度設計になっている点。質問紙調査を、校長、教師、児童・生徒という三者に、教育環境・学習環境（指導方法等を含む）に焦点化した形で実施することにより、これらの実態を包括的に把握することができる。 シンガポール 学力観の見直しなどで、社会経済指標が重視されるとともに、社会経済的背景を考慮した上で、各学校の努力量やパフォーマンスが評価される制度になっている。 香港 評価結果はあくまで学校改善のために使用することを目的としており、この目的に必要な支援が教育局からおこなわれている。(1) 結果提示の方法やデータの使い方についての研修が行われている点。(2) すべて学校の置かれた状況が異なるため、自校の調査項目については、学校と評価委員との間

学習状況調査	考察	我が国への示唆・提言	□当該国の学力状況調査のメリット	<p>で決定されるオリジナルな項目となっている点。(3) 学校評価の回答者に、保護者や教員外の職員が含まれ、同じ側面について多角的に評価している点。このように、学校教員だけですべてのデータマネジメントを行うのではなく、スキルが不足している点については専門家がサポートしている点が特徴である。</p> <p>フランス</p> <p>①コストが低い。その分、さまざまなテーマについて実施できる。②抽出調査であるので、勤務評定に使われる恐れを教師に抱かせることがなく、対教師調査を行うことができる。教育実践上の困難を捉えられ、教育制度の改善や教員の支援策に活かせる。③選択肢問題だけでは捉えきれない生徒や教師の考えや習慣を、自由記述の回答から捉えることができる。④生徒の学習態度一般ではなく、当該の教科の学習に対する生徒の関心・意欲・態度や学習習慣を知ることができ、教科の特性に即した生徒への支援に活かすことができる。</p> <p>台湾</p> <p>学力向上に直接に影響を与える因子を重視し、学校での活用を意識した内容となっている。</p>
		調査の課題	■政策上及び実践上の問題や課題	<p>アメリカ</p> <p>基本的には、NAEP 学力調査(教科領域)の調査で述べたことと同様。ただ、仮に我が国の全国学力・学習状況調査を、悉皆から標本抽出に変えたり、手法を開発するシステムを構築したりするといった体制に変えたとしても、それだけで、「ハイスティクス・テスト」体制下における「テスト志向の授業」への変質とその負の影響を防ぐことになるわけではないと考えられる。NAEP 自身、アカウントビリティ(説明責任)を巡ってその位置づけが変わってきた歴史があるが、その点を踏まえるならば、アカウントビリティ(説明責任)という概念と実践そのものを捉え直すことが求められると思われる。アカウントビリティ(説明責任)を「契約の論理(logic of contract)」つまり、事前に特定されているやり方で行為することが義務として期待され、実行に移すことに先行して期間や条件が設定されていると想定すると、自由裁量の余地はほとんど残されていない。その結果、学力の向上の指標をテストの成果(結果)を重視する形で、学校や教師に対する外的な圧力が強まれば、「テスト志向の授業」へと変貌してしまうことになりかねない。こうした視点が喚起されることそれ自身が、我が国にとっても有益な知見でもあると思われる。</p> <p>ドイツ</p> <p>移民背景のセンシティブな問題に対し、波紋を巻き起こすことがある。学力調査の結果公表時に、</p>

学習状況調査	考察	調査の課題	<p>■政策上及び実践上の問題や課題</p>	<p>マスコミ等で「敗者は外国人！」等として流される極端な情報が、特定の移民背景を持つセクターに対し「社会の厄介者」として、新たな社会的分断の芽をはぐくむ可能性を否定できない。家庭の社会・経済・文化的背景はそれを明らかにしたからといって、学校や教師がとりうる教育上の措置は限られていることから、教育現場において現状追認の理由に利用されることがある。</p> <p>フィンランド</p> <p>生徒用の質問紙調査において、生活習慣等、家庭生活に関する項目は、個人情報保護関連法の規定により、設定できないこと。</p> <p>シンガポール</p> <p>「学習状況調査」という日本の文脈がシンガポールにどれほど当てはまるかは不明。学力測定を厳密にするために、社会経済的指標によって、学力に傾斜をかけて、測定し、児童・生徒と学校を序列化する目的のために、社会経済的状況の調査が実施されている。これらの背景には個別の学校のパフォーマンスを測定し、競争をより公平に行うとのねらいと、個々の生徒の努力（学習＝学業到達度）量として入学後から卒業時までの「伸び率」を正確に測定し、それらに対する学校の貢献度を測定するという欧米の学校効果性研究の影響が明確に見られる。</p>
--------	----	-------	------------------------	---

(■の項目は現地調査が可能な国のみ)

資料 3-2 世界の学習状況調査質問項目

アメリカ

1. 教師用質問項目 (2015年、4年生)

パート I

背景・教育・養成：読解、算数・数学、理科

1. あなたは、ヒスパニック系もしくはラテン系ですか？当てはまる選択肢を全て選んで下さい。
 - A. いいえ。私はヒスパニック系でもラテン系でもありません。
 - B. はい。私はメキシコ人かメキシコ系アメリカ人、もしくはチカーノです。
 - C. はい。私はプエルトリコ人もしくはプエルトリコ系アメリカ人です。
 - D. はい。私はキューバ人もしくはキューバ系アメリカ人です。
 - E. はい。私は他のヒスパニック系もしくはラテン系の出身です。

2. 次の中で、あなたのことを最もふさわしく説明しているのはどれですか。選択肢を1つ以上選んでください。
 - A. 白人
 - B. 黒人もしくはアフリカ系アメリカ人
 - C. アジア人
 - D. アメリカ先住民もしくはアラスカ・ネイティブ
 - E. ハワイ先住民もしくは他の太平洋諸島島民

3. 実習生の期間を除いて、今年を含めて、あなたは初等学校もしくは中等学校の教師として勤務してきた期間はどれぐらいですか？
 - A. 1年未満
 - B. 1～2年

- C. 3～5年
- D. 6～10年
- E. 11～20年
- F. 21年以上

4. 現在教職にある学校から終身在職権利〔終身雇用〕を得ていますか？

- A. はい
- B. いいえ
- C. 現勤務校は終身在職権利〔終身雇用〕を提供しない

5. 現在教職に就いている州で有効な普通免許状もしくは標準免許状 **regular or standard certificate** を持っていますか？

- A. はい、終身免許状を持っています。
- B. はい、仮免許状を持ってしています（このタイプの免許状は、追加のコースワークと実習経験等が必要になる）
- C. いいえ、しかし現在免許状取得に向けて活動しているところです。
- D. いいえ、免許状を取得する計画はありません。

6. 免許状取得課程のオルタナティブ・ルートで教職に就きましたか？

（免許状取得課程のオルタナティブ・ルートとは、教員ではない人材を教職に就くよう促すために設計されている課程のことであり、例えば、州や学区、大学が提供している。）

- A. はい
- B. いいえ

7. あなたは、少なくとも1つの〔教科〕内容領域において、全米教職専門職基準委員会〔**National Board for Professional Teaching Standards**〕から認可を受けていますか？

（全米教職専門職基準委員会は、全米委員会資格証〔**National Board certification**〕、すなわち、高度な専門職基準を満たした教師たちに認証する無償の国家的評価プログラムを管理する非政府組織である。認証を得るために、志望者は少なくとも教室実践のポートフォリオを完成させ、1つ以上の

〔教科〕内容知識のテストを合格しなければならない)

- A. はい, 全米教職専門職基準委員会から問題なく認証を受けています。
- B. 現在, 全米委員会資格証の取得に取り組んでいるところです。
- C. いいえ

8. あなたの最終学歴は?

- A. 高等学校卒業
- B. 準学士/専門学校卒業 Associate's degree/vocational certification
- C. 学士
- D. 修士
- E. 修士課程修了後に1年以上教育学の専門士ないし専門職免許課程 Educational specialist's or professional diploma を修了
- F. 博士
- G. 専門職学位 Professional degree (M. D, LL.B, J. D, D.D.S., など)

9. あなたが学部課程のコースワークで, 主専攻, 副専攻もしくは特に力を入れた教科は, 以下の中でどれですか? 各列から1つ選んで下さい。

	はい, 主専攻です	はい, 副専攻ないし特に力を入れました	いいえ
a. 読解, 言語技術, もしくはリテラシー教育	A	B	C
b. 英語	A	B	C
c. 他の言語技術と関連する教科	A	B	C
d. 算数・数学教育	A	B	C
e. 算数・数学	A	B	C
f. 他の算数・数学と関連する教科(統計のように)	A	B	C

g. 生物学ないし他の生命科学	A	B	C
h. 物理, 化学, もししくは他の物理化学	A	B	C
i. 地球ないし宇宙科学	A	B	C
j. 他の科学関連教科	A	B	C
k. 科学〔理科〕教育	A	B	C
l. 工学ないし工学教育	A	B	C
m. 教育学 (初等ないし幼児を含む)	A	B	C
n. 特別支援教育 (障害のある児童生徒を含む)	A	B	C
o. 英語学習	A	B	C

10. 学部課程を修了後、大学院課程を受講したことがありますか？

A. はい

B. いいえ→質問 11 は該当しないので回答しないでください。

11. あなたが**大学院**課程のコースワークで、主専攻、副専攻もしくは特に力を入れた教科は、以下の中でどれですか？各列から**1つ**選んで下さい。

	はい, 主専攻です	はい, 副専攻ないし特に力を入れました	いいえ
a. 読解, 言語技術, もしくはリテラシー教育	A	B	C
b. 英語	A	B	C
c. 他の言語技術と関連する教科	A	B	C
d. 算数・数学教育	A	B	C
e. 算数・数学	A	B	C
f. 他の算数・数学と関連する教科 (続	A	B	C

計のように)			
g. 生物学ないし他の生命科学	A	B	C
h. 物理, 化学, もしおくは他の物理化学	A	B	C
i. 地球ないし宇宙科学	A	B	C
j. 他の科学関連教科	A	B	C
k. 科学〔理科〕教育	A	B	C
l. 工学ないし工学教育	A	B	C
m. 教育学 (初等ないし幼児を含む)	A	B	C
n. 特別支援教育 (障害のある児童生徒を含む)	A	B	C
o. 英語学習	A	B	C

12. 最近の**2年間**に、あなたが参加した現職研修の活動全てについて考えてください。次の各トピックについて、あなたはどの程度学んできましたか？各列から**1つ**選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 児童生徒が読解を学ぶ方法	A	B	C	D
b. 読解における内容のスタンダード	A	B	C	D
c. 読解 (単元, テキスト) で利用可能なカリキュラムの教材	A	B	C	D
d. 読解授業のための指導法	A	B	C	D
e. 読解での児童生徒の評価方法	A	B	C	D
f. 学区・州評価に向けた児童	A	B	C	D

生徒の準備				
g. 多様な背景(英語学習者も含む)の児童生徒に読解を教えるための方策	A	B	C	D

13. 最近の2年間に、あなたが参加した現職研修 professional development の活動全てについて考えてください。次の各トピックについて、あなたはどの程度学んできましたか?各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 児童生徒が算数・数学を学ぶ方法	A	B	C	D
b. 算数・数学の理論や応用	A	B	C	D
c. 算数・数学の内容スタンダード	A	B	C	D
d. 算数・数学(単元 テキスト)で利用可能なカリキュラムの教材	A	B	C	D
e. 算数・数学授業のための指導法	A	B	C	D
f. 算数・数学指導における積み木 ^{訳注1} の有効な活用	A	B	C	D
g. 算数・数学の指導における計算機の有効な活用	A	B	C	D
h. 算数・数学の指導におけるコンピューターや他のテク	A	B	C	D

^{訳注1} 原語は manipulatives。「立体図形を教える教材としての積み木」(『リーダーズ英和辞典』)として訳した。

ノロジーの活用				
i. 算数・数学での児童生徒の評価方法	A	B	C	D
j. 学区・州評価に向けた児童生徒の準備	A	B	C	D
k. 算数・数学における能力別編成と関連する課題	A	B	C	D
l. 多様な背景（英語学習者も含む）の児童生徒に読解を教えるための方策	A	B	C	D

14. 最近の**2年間**にあなたが参加した現職研修の活動全てについて考えてください。次の各トピックについて、あなたはどの程度学んできましたか？各列から**1つ**選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 児童生徒が理科を学ぶ方法	A	B	C	D
b. 科学的探究及び/もしくは科学技術設計	A	B	C	D
c. 理科の内容スタンダード	A	B	C	D
d. 理科（単元、テキスト）で利用可能なカリキュラムの教材	A	B	C	D
e. 理科授業のための指導法	A	B	C	D
f. 科学技術設計のための指導法	A	B	C	D
g. 理科の指導における実験活動の有効な活用	A	B	C	D

h. 理科の指導における情報・コミュニケーション技術 (ICT) の有効な活用	A	B	C	D
i. 理科での児童生徒の評価方法	A	B	C	D
j. 学区・州評価に向けた児童生徒の準備	A	B	C	D
k. 多様な背景 (英語学習者も含む) の児童生徒に読解を教えるための方策	A	B	C	D

15. 最近の2年間で、あなたは言語技術 language arts, 理科, もしくは算数・数学と関連する現職研修の活動に参加もしくは指導する立場にありましたか? 言語技術とは、読解 reading, 作文 writing, 文学 literature, そして関連するトピックのことを言います。当てはまるものを全て選んで下さい。

	はい、言語技術に関して	はい、理科に関して	はい、算数・数学に関して	いいえ
a. 最初に免許を取得後に大学の課程を受講	A	B	C	D
b. ワークショップや訓練セッション	A	B	C	D
c. カンファレンスや専門職団体の会合	A	B	C	D
d. 他の学校を訪問・観察	A	B	C	D
e. 公式な取り組みの一部として、メンタリング及び/もしくは同僚同士の観察 peer observation とコーチング	A	B	C	D
f. カリキュラムや指導, 児童生	A	B	C	D

徒の評価をテーマとする委員会やタスクフォース				
g. 定期的開催される協議会や研究グループ	A	B	C	D
h. 教師の協働やネットワーク(外部人材やインターネットを通して組織するといった)	A	B	C	D
i. 個人ないし共同研究	A	B	C	D
j. 定期的独自で文献を読む(例えば、教育関係雑誌や文献、インターネット)	A	B	C	D
k. 共同授業/チーム授業	A	B	C	D
l. 教科専任との相談	A	B	C	D

16. 最近2年間で、先の質問(質問15)の項目に挙がっている活動を企画・運営したことがありますか?

- A. はい
- B. いいえ

17. 最近2年間で、以下に示す領域と関わる内容の研修を受けたことがありますか?各列から1つ選んで下さい。

	はい、すでに十分修得済みです。	いいえ、まだです。	はい
a. 基本的なコンピューター訓練	A	B	C
b. ソフトウェアの活用	A	B	C
c. インターネットの利用	A	B	C
d. 他のテクノロジーの活用——例え	A	B	C

ば、通信衛星のアクセス、無線ウェブ、双方向映像、閉回路テレビ、ビデオ会議			
e. コンピューターと他のテクノロジーを学級指導に組み込む	A	B	C

2. 児童生徒用質問項目 (算数・数学 (Mathematics) 2015 年。4 年生)

セクション 3^{訳注2}

このセクションでは、あなたとあなたのご家族のことについて回答して下さい。学校に通っている年度内にあなたが時間のほとんどを過ごしている場所に基づいて、あなたの家庭のことに関する質問に答えて下さい。回答はあなたの冊子に記入して下さい。他に指示がある場合を除いて、各質問の回答は 1 つだけです。

1. あなたは、ヒスパニック系もしくはラテン系ですか? 楕円 [選択肢]^{訳注3}を 1 つ以上選んでください。

- F. いいえ。私はヒスパニック系でもラテン系でもありません。
- G. はい。私はメキシコ人かメキシコ系アメリカ人、もしくはチカーノです。
- H. はい。私はプエルトリコ人もしくはプエルトリコ系アメリカ人です。
- I. はい。私はキューバ人もしくはキューバ系アメリカ人です。
- J. はい。私は他のヒスパニック系もしくはラテン系の出身です。

^{訳注2} このセクションの質問 (1~11) は、読解 (Reading) 及び理科 (Science) と同じ。

^{訳注3} 各選択肢はアルファベット順に表記され、それぞれのアルファベットは楕円で囲まれている。以下、本訳稿では「選択肢」と意識する。また、原文で太字の箇所は訳文ではゴシックで示す。

2. 次の中で、あなたのことを最もふさわしく説明しているのはどれですか。選択肢を1つ以上選んでください。

- F. 白人
- G. 黒人もしくはアフリカ系アメリカ人
- H. アジア人
- I. アメリカ先住民もしくはアラスカ・ネイティブ
- J. ハワイ先住民もしくは他の太平洋諸島島民

3. 自宅には本が何冊ぐらいありますか？

- A. ほとんどない (0~10冊)
- B. 1つの棚に収まるぐらい (11~25冊)
- C. 1つの本棚に収まるぐらい (26-100冊)
- D. 複数の本棚に収まるぐらい (100冊以上)

4. 自宅には、あなたが使うコンピューターはありますか？

- A. ある
- B. ない

5. 以下のものがあなたの家にはありますか〔できますか〕？当てはまる選択肢を全て選んで下さい。

- A. インターネットへのアクセス
- B. 家族のためだけの衣類乾燥機
- C. 食器洗浄機
- D. 浴室が1つ以上
- E. 自分自身の寝室

6. 学校でする読書と、宿題のためにする読書で、1日に何ページぐらい読みますか？

- A. 5 ページかそれ以下
- B. 6～10 ページ
- C. 11～15 ページ
- D. 16～20 ページ
- E. 20 ページ以上

7. 家族の誰かと、学校で勉強したことについてどれぐらい話をしていますか？

- A. 全然もしくはほとんどない
- B. 数週間に1回
- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日

8. 先月は、学校を何日ぐらい休みましたか？

- A. 全く休んでいない
- B. 1日か2日
- C. 3日か4日
- D. 5～10日
- E. 10日以上

9. あなたの家族の人たちがお互いに話をするとき、英語以外の言葉で話す時間はどれぐらいですか？

- A. 全くない
- B. たまに
- C. 半分ぐらいの時間
- D. 全てもしくはほとんどの時間

10. 次に挙げる人は、あなたの自宅で生活していますか？当てはまる選択肢を全て選んで下さい。

- A. 母親
- B. 継母
- C. 養母もしくは他の女性の法的保護者
- D. 父親
- E. 継父
- F. 養父もしくは他の男性の法的保護者

11. 下の囲みにあなたの自宅の郵便番号を書きなさい。

□□□□□

ここで止まる

セクション4

1. あなたは、学校で算数・数学に取り組む際に、コンピューターをどの程度使いますか？
 - A. 全くつかわないか、ほとんど使わない
 - B. 数週間に1回ぐらい
 - C. 週に1回ぐらい
 - D. 週に2, 3回
 - E. 毎日使うか、ほとんど毎日使う

2. あなたは、自宅で算数・数学の宿題に取り組む際に、コンピューターを使いますか？
 - A. はい
 - B. いいえ

質問3～19. 以下の質問に対しては、算数・数学のためにあなたがずっとしていることすべてについて考えて下さい。家庭や学校、その他の場所で行っていることも含みます。

3. 算数・数学の練習やドリルのためにコンピューターを使いますか？
 - A. はい
 - B. いいえ

4. 算数・数学のゲームで遊ぶためにコンピューターを使いますか？
 - A. はい
 - B. いいえ

5. 算数・数学で図やグラフを作成するためにコンピューターを使いますか？

- A. はい
- B. いいえ

6. 算数・数学に関する事項等を学ぶためにコンピューターを使いますか？

- A. はい
- B. いいえ

7. 計算機を使う機会はどれぐらいありますか？

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. たまに
- C. ほとんど毎日

8. 算数・数学のテストや小テストを受ける時に, 計算機を使う機会はどれぐらいありますか？

- A. 全くない
- B. 時々
- C. いつもある

9. 学校外で, もしくは放課後に, 手助けされたり指導を受けたりしながら算数・数学に取り組む機会はどれぐらいありますか？

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 月に1, 2回
- C. 週に1, 2回
- D. 毎日, もしくはほとんど毎日

10. 教室での算数・数学の学習が難しすぎる, と感じる機会はどれぐらいありますか？

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 時々
- C. よくある
- D. いつもある, もしくは, ほとんどいつもある

11. 教室での算数・数学の学習が易しすぎる, と感じる機会はどれぐらいありますか?

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 時々
- C. よくある
- D. いつも, もしくは, ほとんどいつも

12. 算数・数学を教室で学習することが好きだと感じる機会はどれぐらいありますか?

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 時々
- C. よくある
- D. いつも, もしくは, ほとんどいつも

13. 算数・数学の宿題をうまくできたと感じる機会は, どれぐらいありますか?^{訳注4}

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 時々
- C. よくある
- D. いつも, もしくは, ほとんどいつも

14. 算数・数学のテストがうまくいったと感じる機会は, どれぐらいありますか?^{訳注5}

^{訳注4} この質問は, 理科 (Science) の質問 24 と同じ。

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 時々
- C. よくある
- D. いつも, もしくは, ほとんどいつも

15. 算数・数学が好きだと感じる機会は, どれぐらいありますか?

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 時々
- C. よくある
- D. いつも, もしくは, ほとんどいつも

16. 算数・数学が好きな教科の1つだと感じる機会は, どれぐらいありますか?

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 時々
- C. よくある
- D. いつも, もしくは, ほとんどいつも

17. 今年度に学校で受けてきたテストと比べて, このテストはどれぐらい難しかったですか?^{訳注6}

- A. 他のテストよりも簡単
- B. 他のテストと同じぐらい
- C. 他のテストよりも難しい
- D. 他のテストよりもかなり難しい

^{訳注5} この質問は, 理科 (Science) の質問 23 と同じ。

^{訳注6} この質問は, 読解 (Reading) の質問 18 と同じ。

18. 今年度に学校で受けてきたテストの頑張りと比べて、このテストをどれぐらい頑張って受けましたか？^{訳注7}

- A. 他のテストほど頑張らなかった
- B. 他のテストと同じぐらい頑張った
- C. 他のテストよりも頑張った
- D. 他のテストよりもかなり頑張った

19. このテストで良い点を取ることは、あなたにとって大事なことでしたか？^{訳注8}

- A. ほとんど大事ではない
- B. ある程度は大事
- C. 大事
- D. とても大事

ここで止まる

^{訳注7} この質問は、読解 (Reading) の質問 19 と同じ。

^{訳注8} この質問は、読解 (Reading) の質問 20 及び理科 (Science) の質問 32 と同じ。

パートⅡ

学級運営・指導 Classroom Organization and Instruction : 読解

次の各質問は、読解や言語技術の指導を対象とするあなたの学級運営について尋ねるものです。「読解」や「言語技術」、「読解／言語技術」について質問される場合には、あなたが教えている読解や言語技術の授業について考えてください。もし4年生の授業を1つ以上担当している場合は、学級運営に関する質問に回答するための基礎情報として活用できる学級を1つ選んでください。

1. 読み方／言語技術のクラスを教える役割として、あなたのことを最も適切に説明しているのは以下のうちどれですか？言語技術とは、読解、作文、文学、そしてそれらと関連するトピックのことを言います。1つ選んで下さい。
 - A. 私はこのクラスで読解／言語技術を教えていない。
 - B. 私は全てもしくはほとんどの教科を教えており、その中に読解／言語技術が含まれている。
 - C. 私が教えている教科は、読解／言語技術だけだ。
 - D. 私たちはチームで教えており、私は読解／言語技術の授業の主たる責任者である。

2. このクラスの児童は何名ですか？
 - A. 15名以下
 - B. 16～18名
 - C. 19～20名
 - D. 21～25名
 - E. 26～30名
 - F. 31～35名
 - G. 36名以上

3. 普段、このクラスで言語技術の指導に費やす総時間数は、週にどれぐらいですか？言語技術とは、読解、作文、文学、そしてそれらと関連するトピックのことを言います。
 - A. 3時間未満

- B. 3～4.9 時間
- C. 5～6.9 時間
- D. 7～9.9 時間
- E. 10 時間以上

4. 言語技術の指導はどのように運営されていますか？最も適切に説明しているものを1つ選んで下さい。言語技術とは、読解、作文、文学、そしてそれらと関連するトピックのことを言います。

- A. 言語技術は、原則として個別の教科として教えられており、他の教科の指導とほとんどないし全く統合されていない。
- B. 他の教科と統合されている言語技術もあれば、個別の教科として提示されているものもある。
- C. 言語技術のレッスンは、主として他の教科の指導と統合されている。

5. 今年度の読解／言語技術のクラスにおいて、次のような指導をこれまでに行ったことがありますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. フィクション	A	B	C	D
b. 文芸的ノンフィクション	A	B	C	D
c. 詩	A	B	C	D
d. 演劇 exposition	A	B	C	D
e. 議論と説得	A	B	C	D
f. [議事・訴訟等の] 手続きに関するテキストと文書 procedural texts and documents	A	B	C	D

6. 担当する児童たちと物語を読むとき、以下のようなことを児童たちに行うよう要求する機会はどれぐらいありますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くないしほとんどない	ときどき	よくする	常もしくはほぼ常に

a. 作品の一節を要約	A	B	C	D
b. 作品の一節の意味を解釈	A	B	C	D
c. 登場人物の動機や感情について尋ねる	A	B	C	D
d. 作品の一節の主たるテーマを確認	A	B	C	D

7. このクラスで読解を指導する際、その一環として次のことを行う機会はどれぐらいありますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くないしほとんどない	ときどき	よくする	常もしくはほぼ常に
a. 声に出して読むように児童生徒に求める	A	B	C	D
b. 読んだことについて書くように児童生徒に求める	A	B	C	D
c. 読んだ内容についてグループ活動やプロジェクトを行うよう児童生徒に求める	A	B	C	D
d. 読んだ内容について説明したり、理解したことを裏付けるよう児童生徒に求める	A	B	C	D
e. 読解のワークブックやワークシートを使って活動するよう児童生徒に求める	A	B	C	D
f. 自分で選んだ本を読む時間を与える	A	B	C	D
g. 映画やビデオを視聴させたり、オーディオ教材を聴かせ	A	B	C	D

たりする				
h. 児童生徒が新しい言葉を理解する手助けをする	A	B	C	D

8. クラスで情報関係及び文学関係のテキストを読む際、次の認知プロセスをあなたほどの程度強調してきましたか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 配置 locate/想起	A	B	C	D
b. 統合/解釈	A	B	C	D
c. 批評/評価	A	B	C	D

9. コンピューターは、あなたやあなたの児童たちが読解/言語技術の指導のために活用できる状態にありますか？

- A. はい、コンピューターは私の児童たちと私が活用できる状態にあります。
- B. はい、私が活用できます。児童たちは活用しません。
- C. いいえ、児童も私も、学校でコンピューターを活用していません。

10. クラスのための準備を除いて、読解の指導及び/もしくは読解の活動のために、学校でコンピューターや他のテクノロジー関連機器を活用する機会はどれぐらいありますか？

- A. 全くない
- B. 年に数回
- C. 1カ月に1~2回
- D. 週に1~2回
- E. 毎日もしくはほぼ毎日

11. 今年度の4年生の読解/言語技術のクラスにおいて、次のそれぞれを実施するためにコンピューターや他のテクノロジー関連機器を活用する機会はどれぐらいありますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くないしほとんどない	月に1, 2回	週に1, 2回	毎日もしくはほぼ毎日
a. 語彙力形成と活用	A	B	C	D
b. 流暢な読解と理解力の向上	A	B	C	D
c. 綴と文法の練習	A	B	C	D
d. 読解と関連するウェブサイトへのアクセス (例えば, 推薦図書のリストを示すサイト)	A	B	C	D
e. 読解プロジェクト研究の実施	A	B	C	D

12. 読解/言語技術の指導においてあなたが必要とする教材及び関連資料を, あなたの学校システムはどの程度提供してくれていますか? 最も適していると思われるものを選んで下さい。

- A. 必要な資料がない。
- B. 必要な資料はある程度ある。
- C. 必要な資料はほとんどある。
- D. 必要な資料はすべてある。

13. 4年生のクラスに読解/言語技術を教えるとき, 次のことをしていますか? 各列から1つを選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 一部の児童生徒を対象に異なる指導法を用いる	A	B	C	D
b. 一部の児童生徒を対象に, 通常のカリキュラムに加えて	A	B	C	D

別の教材を補足				
c. 一部の児童生徒のために授業の進度を変える	A	B	C	D
d. 別の学級活動に一部の児童性を取り組ませる	A	B	C	D
e. 一部の児童生徒を対象とする到達基準を設ける	A	B	C	D

14. 読解の指導及び／もしくは読解の活動を行う際に、以下の方策をどの程度活用しますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くないしほとんどない	月に1, 2回	週に1, 2回	毎日もしくはほぼ毎日
a. 私は、学級全体の活動として読解を教えている。	A	B	C	D
b. 私は、同程度の能力の集団を編成している。	A	B	C	D
c. 私は、無作為割り当てで集団を編成している。	A	B	C	D
d. 私は、児童生徒が自分で集団を選ぶことを認めている。	A	B	C	D
e. 私は、読解のために個別指導を実施している。	A	B	C	D
f. 児童生徒は、与えられた計画や目標に対して、個別に取り組んでいる。	A	B	C	D
g. 児童生徒は、自分で選んだ目標に対して、個別に取り組んでいる。	A	B	C	D

h. その他 (具体的に)	A	B	C	D
---------------	---	---	---	---

次の各質問は、算数・数学の指導を対象とするあなたの学級運営について尋ねるものです。もし4年生の授業を1つ以上担当している場合は、学級運営に関する質問に回答するための基礎情報として活用できる学級を1つ選んでください。

1. 算数・数学のクラスを教える役割として、あなたのことを最も適切に説明しているのは以下のうちどれですか？^{訳注9}

- A. 私はこのクラスで算数・数学を教えていない。
- B. 私は全てもしくはほとんどの教科を教えており、その中に読解／言語技術が含まれている。
- C. 私が教えている教科は、読解／言語技術だけだ。
- D. 私たちはチームで教えており、私は読解／言語技術の授業の主たる責任者である。

2. このクラスの児童は何名ですか？^{訳注10}

- A. 15名以下
- B. 16～18名
- C. 19～20名
- D. 21～25名
- E. 26～30名
- F. 31～35名
- G. 36名以上

3. あなたが教える児童たちが数学の指導を受ける時間は、1週間にどれぐらいですか？^{訳注11}

- A. 3時間未満

^{訳注9} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問 1 と同じ。

^{訳注10} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問 2 と同じ。

^{訳注11} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問 3 と同じ。ただし、選択肢の時間の区切り方は異なっている。

- B. 3時間以上, 5時間未満
- C. 5時間以上, 7時間未満
- D. 7時間以上

4. このクラスの生徒たちは、能力別に編成されていますか？

- A. はい
- B. いいえ

5. 能力別を基本にして算数・数学を指導するために、このクラスの中でグループをつくっていますか？

- A. はい
- B. いいえ

6. 今年度の算数・数学のクラスにおいて、次のような指導をこれまでにやったことがありますか？各列から1つ選んで下さい。^{訳注12}

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 多項目選択式テスト	A	B	C	D
b. 問題設定	A	B	C	D
c. 短い（例：フレーズや文章） もしくは長い（例：複数の文 章や段落）回答を書く	A	B	C	D
d. 個人もしくはグループでの プロジェクトや発表	A	B	C	D

7. 毎日、このクラスの児童たちに出す算数・数学の宿題の量〔時間〕は、だいたいどれぐらいですか？

^{訳注12} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問5と同じタイプ。ただし、選択肢の項目は異なっている。

- A. なし
- B. 15分
- C. 30分
- D. 45分
- E. 1時間
- F. 1時間以上

8. 算数・数学の課題に取り組んでいるときに、計算機の使用をどの程度認めていますか？

- A. 限定せず使用する [ことを認めている]
- B. 限定して使用する [ことを認めている]
- C. 計算機 [の使用] は認めていない

9. 算数・数学の課題に取り組んでいるときに、児童たちが通常用いる計算機はどのようなタイプのものですか？

- A. なし [使用していない]
- B. 基本的な四則 [計算機] (加法減法)
- C. 科学計算用 [計算機] (グラフ計算機ではない)
- D. グラフ計算機

10. 数学のテストや小テストを実施する際、生徒たちが計算機を使う機会はどれぐらいですか？

- A. 使用しない
- B. 時々
- C. 常に

11. 1年間全体にわたる算数・数学のクラスの計画について考えて下さい。以下に示すことを、どれぐらいテーマに据えましたか？もしくは、据えようとしてありますか？各列から1つ選んでください。

	ほとんどないし 全くない	ある程度	かなりの程度
a. 数と計算	A	B	C
b. 測量	A	B	C
c. 幾何	A	B	C
d. データ分析, 統計, 確率 (概念を日常的なものと結びつけて導入)	A	B	C
e. 代数と関数 (概念を日常的なものと結びつけて導入)	A	B	C

12. コンピューターは、あなたやあなたの児童たちが活用できる状態にありますか?^{訳注13}

- A. はい、コンピューターは私の児童たちと私が活用できる状態にあります。
- B. はい、私が活用できます。児童たちは活用しません。
- C. いいえ、児童も私も、学校でコンピューターを活用していません。

13. 今年度の4年生の算数・数学のクラスにおいて、次のそれぞれを実施するためにコンピューターや他のテクノロジー関連機器を活用する機会はどれくらいありますか?各列から1つ選んで下さい。^{訳注14}

	全くないしほと んどない	月に1, 2回	週に1, 2回	毎日もしくはほ ぼ毎日

^{訳注13} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問 9 と同じ。

^{訳注14} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問 11 と同じ。ただし、選択肢の項目は異なっている。

a. コンピューターを使った算数・数学のトピックの練習や復習	A	B	C	D
b. コンピューターを使って、充実した活動を伴う算数・数学の発展学習	A	B	C	D
c. コンピューターを使った算数・数学の研究	A	B	C	D
d. 幾何学的な図形を描くためのプログラムの活用	A	B	C	D
e. 算数・数学的なコンピューターゲームで遊ぶ	A	B	C	D

14. 算数・数学の指導においてあなたが必要とする教材及び関連資料を、あなたの学校システムはどの程度提供してくれていますか？最も適していると思われるものを選んで下さい。^{訳注15}

- A. 必要な資料がない。
- B. 必要な資料はある程度ある。
- C. 必要な資料はほとんどある。
- D. 必要な資料はすべてある。

15. 4年生のクラスに算数・数学を教えるとき、次のことをしていますか？各列から1つを選んで下さい。^{訳注16}

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
--	------	-------	-----	--------

^{訳注15} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問 12 と同じ。

^{訳注16} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問 13 及び理科 (Science) : 教師用の質問 13 と同じ。ただし、選択肢の項目が一部入れ替わっている。

a. 一部の児童生徒を対象とする到達基準を設ける	A	B	C	D
b. 一部の児童生徒を対象に、通常のカリキュラムに加えて別の教材を補足	A	B	C	D
c. 別の学級活動に一部の児童性を取り組ませる	A	B	C	D
d. 一部の児童生徒を対象に異なる指導法を用いる	A	B	C	D
e. 一部の児童生徒のために授業の進度を変える	A	B	C	D

16. 算数・数学に関する個々の児童の進み具合を評価するために、以下に示すことをどの程度〔頻度〕行っていますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くないしほとんどない	年に数回	月に1, 2回	週に1, 2回	毎日ないしほぼ毎日
a. 児童の現在の成績水準について話し合う	A	B	C	D	E
b. 個別の進み具合で児童が達成できそうな目標設定	A	B	C	D	E
c. すでに設定している目標に対する児童の進み具合について話し合う	A	B	C	D	E
d. 現時点での児童の学習上のニーズに合い、これから先の児童の目標に反映させるための自ら	A	B	C	D	E

の指導方策を判断する					
------------	--	--	--	--	--

次の各質問は、理科の指導を対象とするあなたの学級運営について尋ねるものです。もし4年生の授業を1つ以上担当している場合は、学級運営に関する質問に回答するための基礎情報として活用できる学級を1つ選んでください。

1. 理科のクラスを教える役割として、あなたのことを最も適切に説明しているのは以下のうちどれですか？^{訳注17}

- A. 私はこのクラスで算数・数学を教えていない。
- B. 私は全てもしくはほとんどの教科を教えており、その中に読解／言語技術が含まれている。
- C. 私が教えている教科は、読解／言語技術だけだ。
- D. 私たちはチームで教えており、私は読解／言語技術の授業の主たる責任者である。

2. このクラスの児童は何名ですか？^{訳注18}

- A. 15名以下
- B. 16～18名
- C. 19～20名
- D. 21～25名
- E. 26～30名
- F. 31～35名
- G. 36名以上

3. あなたが教える児童たちが数学の指導を受ける時間は、1週間にどれぐらいですか？時間と分を書いて下さい。^{訳注19}

^{訳注17} この質問は、読解 (Reading) : 教師用及び算数・数学 (Mathematics) の質問1と同じ。

^{訳注18} この質問は、読解 (Reading) : 教師用及び算数・数学 (Mathematics) の質問2と同じ。

^{訳注19} この質問は、読解 (Reading) : 教師用及び算数・数学 (Mathematics) の質問3と同じ。ただし、回答の方法が異なっている (選択式ではなく記述式になっている)。

週に_____時間と_____分

4. このクラスの生徒たちは、成績の水準に応じて編成されていますか？^{説注20}

- A. はい
- B. いいえ

5. 教室で理科の指導を行うために、次のような形で児童の集団編成をどの程度行っていますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 理科や理科に関連するトピックへの児童たちの興味に基づいて集団を編成	A	B	C	D
b. 児童の学習上の好みやスタイルに基づいて集団を編成	A	B	C	D
c. 児童のレディネスや成績水準に基づいて集団を編成	A	B	C	D

6. 理科での児童の進み具合を診断 assess するために、次のことをどの程度 [頻度] 行ったことがありますか？各列から1つ選んで下さい。^{説注21}

	全くないしほとんどない	月に1, 2回	週に1, 2回	ほぼ毎日
--	-------------	---------	---------	------

^{説注20} この質問は、算数・数学 (Mathematics) : 教師用の質問 4 と同じ。ただし、設問の表現が一部異なっている (算数・数学では「能力別に [by ability]」だが、理科では「成績の水準に応じて [by achievement level]」となっている)。

^{説注21} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問 5 及び算数・数学 (Mathematics) : 教師用の質問 6 と同じタイプ。ただし、選択肢の項目等は異なっている。

a. 多項目選択式テスト	A	B	C	D
b. 短い回答を書く（フレーズや文）	A	B	C	D
c. 長い回答を書く（例：複数の文章や段落）	A	B	C	D
d. パフォーマンススペースの評価	A	B	C	D
e. グループプロジェクト	A	B	C	D

7. このクラスで、理科の次の領域に対してどの程度時間を掛けていますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 生命化学	A	B	C	D
b. 地球・宇宙科学	A	B	C	D
c. 物理科学	A	B	C	D
d. 工学・テクノロジー	A	B	C	D

8. 次に示していることを、あなたが理科を教えている児童はどの程度行っていますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くないしほとんどない	月に1, 2回	週に1, 2回	毎日ないしほぼ毎日
a. 理科の教科書を読む	A	B	C	D
b. 理科に関する本や雑誌を読む	A	B	C	D
c. 理科の活動やプロジェクトに、他の児童たちと一緒に取り組む	A	B	C	D
d. 理科の報告書作成の準備	A	B	C	D

e. 理科に関する映画やビデオ, DVD の視聴	A	B	C	D
f. 教師が理科の活動を実施しているのを見る	A	B	C	D
g. 理科に関する体験的活動や調査の実施	A	B	C	D
h. 児童の体験的活動による測定や結果について話し合う	A	B	C	D
i. 理科のテストや小テストを受ける	A	B	C	D
j. 理科に関する調査で対処している問題の確認	A	B	C	D
k. 技術者が解決可能な問題のタイプについて議論	A	B	C	D
l. 理科に関する問題を解決する様々な方法を理解	A	B	C	D
m. 理科について学んできたことを発表	A	B	C	D

9. 4年生のクラスで理科を教える際に、次に示す目標をどの程度テーマとして掲げていますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 理科に対する児童の興味・関心を高める	A	B	C	D
b. 日常生活における理科の重要性への気付きを高める	A	B	C	D
c. 環境問題に理科〔科学〕を適用することを学ぶ	A	B	C	D

d. 科学的事実と原理を教える	A	B	C	D
e. 科学的な方法を教える	A	B	C	D
f. 上級学年で学ぶ理科に必要な知識と技能を児童に身につけてもらう	A	B	C	D
g. 体系的な観察技法を育てる	A	B	C	D
h. 探究的能力を育てる	A	B	C	D
i. 実験に必要な能力を育てる	A	B	C	D
j. 問題解決能力を育てる	A	B	C	D
k. 科学的に記述する能力を育てる	A	B	C	D

10. あなたの〔勤める〕学校のシステム（自校とそれが属する学区も含みます）は、次に示すものをどの程度提供していますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 理科の教科書（オンライン教科書のような電子版も含む）	A	B	C	D
b. 理科に関する雑誌と文献（オンライン雑誌と文献のような電子版も含む）	A	B	C	D
c. 理科に関する実演的な活動に必要な備品等	A	B	C	D
d. 理科に関する実験的な活動に必要な備品等	A	B	C	D
e. 理科の実験を実施する空間	A	B	C	D
f. クラスで児童たちが使用するコンピューター	A	B	C	D

g. コンピューター実験室	A	B	C	D
h. 教師が使用するコンピューター	A	B	C	D
i. 教室で活用するためのコンピューター制御による理科の実験室	A	B	C	D
j. 視聴覚教材	A	B	C	D
k. 理科キット	A	B	C	D
l. 理科に関する測定道具（例：望遠鏡，顕微鏡，温度計，天秤ばかり）	A	B	C	D

11. 4年生のクラスで理科を教える際に、次に示すテクノロジー関係の資料をどの程度活用していますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. デスクトップコンピューター	A	B	C	D
b. ラップトップコンピューター	A	B	C	D
c. タブレットコンピューター	A	B	C	D
d. デジタル投影機（LCD のような発表内容や授業内容実演しているものを示すために、コンピューターに接続する機器）	A	B	C	D
e. CD-ROM	A	B	C	D
f. オンラインのソフトウェア	A	B	C	D
g. デジタル音楽機器（MP3 のよ	A	B	C	D

うな音声ファイルの再生・創作のポケットサイズの音楽プレーヤー)				
h. ケーブル／衛星／閉回路テレビ	A	B	C	D
i. DVD プレーヤーと DVD	A	B	C	D
j. デジタルカメラ	A	B	C	D
k. グラフ計算機	A	B	C	D
l. 手で扱う機器 (携帯端末やスマートフォンのようなポケットサイズのコンピューター機器)	A	B	C	D
m. データ収集検出器／探査機 (手で扱う機器やグラフ計算機と結びついて、動作や pH, 温度, 光などを検知する機器)	A	B	C	D
n. オンライン版の課程管理システム (情報や宿題, 学年, 議論を調整するために用いられるウェブ版のソフトウェア)	A	B	C	D
o. 電子黒板 (伝統的なチョーク型の黒板と似ており, 指先で指示したり, 双方向的な共有空間を創り出すことが可能なコンピューター化されたディスプレイパネル)	A	B	C	D

12. クラスで教えるのに必要な指導用の教材及び関連資料を、あなたの学校システムはどの程度提供してくれていますか？最も適していると思われるものを選んで下さい。^{訳注22}

- A. 必要な資料はすべてある。
- B. 必要な資料はほとんどある。
- C. 必要な資料はある程度ある。
- D. 必要な資料がない。

13. 4年生のクラスに理科を教える際に、以下のことを行っていますか？各列から1つ選んで下さい。^{訳注23}

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 一部の児童を教える際に、異なる方法を用いる	A	B	C	D
b. 一部の児童を対象に、通常のカリキュラムに加えて教材を補充する	A	B	C	D
c. 一部の児童を対象に、指導の進度を変える	A	B	C	D
d. 一部の児童を別の教室や活動に取り組みさせる	A	B	C	D
e. 一部の児童を対象にした到達度を設定する	A	B	C	D

14. 児童の理科の活動を振り返ったり、進み具合を評価したりするために、児童と1対1で面談する機会はどれぐらいありますか？

^{訳注22} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問 12 及び算数・数学 (Mathematics) : 教師用の質問 14 と同じ。

^{訳注23} この質問は、読解 (Reading) : 教師用の質問 13 及び算数・数学 (Mathematics) : 教師用の質問 15 と同じ。ただし、選択肢の表現が変わっていたり、項目が一部入れ替わったりしている。

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 年に数回
- C. 月に1, 2回
- D. 週に1, 2回
- E. 毎日ある, もしくは, ほぼ毎日ある

15. 理科に関する個々の児童の進み具合を評価するために, 以下に示すことをどの程度〔頻度〕行っていますか? 各列から1つ選んで下さい。^{訳注24}

	全くないしほとんどない	年に数回	月に1, 2回	週に1, 2回	毎日ないしほぼ毎日
a. 児童の現在の成績水準について話し合う	A	B	C	D	E
b. 個別の進み具合で児童が達成できそうな目標設定	A	B	C	D	E
c. すでに設定している目標に対する児童の進み具合について話し合う	A	B	C	D	E
d. 現時点での児童の学習上のニーズに合い, これから先の児童の目標に反映させるための自らの指導方策を判断する	A	B	C	D	E

16. 理科を学ぶ際に, 通常の教室での指導に加えて, 以下のことを活用して4年生の児童たちに取り組ませる機会はどれぐらいありますか? 各列から1つ

^{訳注24} この質問は, 算数・数学 (Mathematics) : 教師用の質問 16 と同じ。ただし, 設問の表現や選択肢の順番が一部異なっている。

選んで下さい。

	全くない	年に1, 2回	年に3回以上
a. 理科〔科学〕のフェア	A	B	C
b. 理科〔科学〕の大会	A	B	C
c. 理科〔科学〕と関連する遠足 (博物館, 動物園, 水族館, 科学センターや他の類似施設 も含む)	A	B	C

3. 児童生徒用質問紙 (理科 (Science) 2015年 4年生)

セクション3^{訳注25}

このセクションでは、あなたとあなたのご家族のことについて回答して下さい。学校に通っている年度内にあなたが時間のほとんどを過ごしている場所に基づいて、あなたの家庭のことに関する質問に答えて下さい。回答はあなたの冊子に記入して下さい。他に指示がある場合を除いて、各質問の回答は1つだけです。

12. あなたは、ヒスパニック系もしくはラテン系ですか? 楕円〔選択肢〕^{訳注26}を1つ以上選んでください。

- K. いいえ。私はヒスパニック系でもラテン系でもありません。
- L. はい。私はメキシコ人かメキシコ系アメリカ人、もしくはチカーノです。
- M. はい。私はプエルトリコ人もしくはプエルトリコ系アメリカ人です。
- N. はい。私はキューバ人もしくはキューバ系アメリカ人です。

^{訳注25} このセクションの質問 (1~11) は、読解 (Reading) 及び理科 (Science) と同じ。

^{訳注26} 各選択肢はアルファベット順に表記され、それぞれのアルファベットは楕円で囲まれている。以下、本訳稿では「選択肢」と意識する。また、原文で太字の箇所は訳文ではゴシックで示す。

O. はい。私は他のヒスパニック系もしくはラテン系の出身です。

13. 次の中で、あなたのことを最もふさわしく説明しているのはどれですか。選択肢を1つ以上選んでください。

K. 白人

L. 黒人もしくはアフリカ系アメリカ人

M. アジア人

N. アメリカ先住民もしくはアラスカ・ネイティブ

O. ハワイ先住民もしくは他の太平洋諸島島民

14. 自宅には本が何冊ぐらいありますか？

E. ほとんどない (0~10冊)

F. 1つの棚に収まるぐらい (11~25冊)

G. 1つの本棚に収まるぐらい (26-100冊)

H. 複数の本棚に収まるぐらい (100冊以上)

15. 自宅には、あなたが使うコンピューターはありますか？

C. ある

D. ない

16. 以下のものがあなたの家にはありますか〔できますか〕？当てはまる選択肢を全て選んで下さい。

F. インターネットへのアクセス

G. 家族のためだけの衣類乾燥機

H. 食器洗浄機

I. 浴室が1つ以上

J. 自分自身の寝室

17. 学校でする読書と、宿題のためにする読書で、1日に何ページぐらい読みますか？

- F. 5ページかそれ以下
- G. 6～10ページ
- H. 11～15ページ
- I. 16～20ページ
- J. 20ページ以上

18. 家族の誰かと、学校で勉強したことについてどれぐらい話をしていますか？

- F. 全然もしくはほとんどない
- G. 数週間に1回
- H. 週に1回ぐらい
- I. 週に2, 3回
- J. 毎日

19. 先月は、学校を何日ぐらい休みましたか？

- F. 全く休んでいない
- G. 1日か2日
- H. 3日か4日
- I. 5～10日
- J. 10日以上

20. あなたの家族の人たちがお互いに話をするとき、英語以外の言葉で話す時間はどれぐらいですか？

- E. 全くない
- F. たまに

- G. 半分ぐらいの時間
- H. 全てもしくはほとんどの時間

21. 次に挙げる人は、あなたの自宅で生活していますか？当てはまる選択肢を全て選んで下さい。

- G. 母親
- H. 継母
- I. 養母もしくは他の女性の法的保護者
- J. 父親
- K. 継父
- L. 養父もしくは他の男性の法的保護者

22. 下の囲みにあなたの自宅の郵便番号を書きなさい。

□□□□□

ここで止まる

セクション4

20. 今年度、理科の活動やプロジェクトをどれぐらいしてきましたか？
- F. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
 - G. 数週間に1回ぐらい
 - H. 週に1回ぐらい
 - I. 週に2, 3回
 - J. 毎日, もしくは, ほとんど毎日してきた
21. 今年度、生物（例えば、植物、動物、細菌）について学習するような活動やプロジェクトをしたことがありましたか？
- C. はい
 - D. いいえ
22. 今年度、電気（例えば、回路、バッテリー、電球）について学習するような活動やプロジェクトをしたことがありましたか？
- C. はい
 - D. いいえ
23. 今年度、化学（例えば、水に塩や砂糖を混ぜること）について学習するような活動やプロジェクトをしたことがありましたか？
- C. はい
 - D. いいえ
24. 今年度、岩石や鉱物（例えば、異なる岩石を見る）について学習するような活動やプロジェクトをしたことがありましたか？
- C. はい
 - D. いいえ

25. 今年度、科学的道具（例えば、望遠鏡、顕微鏡、温度計、天秤ばかり^{訳注27}）について学習するような活動やプロジェクトをしたことがありましたか？
- A. 全くなかった、もしくは、ほとんどなかった
 - B. 数週間に1回ぐらい
 - C. 週に1回ぐらい
 - D. 週に2, 3回
 - E. 毎日、もしくは、ほとんど毎日してきた
26. 今年度、理科の教科書を読んだ機会はどれぐらいありましたか？
- A. 全くなかった、もしくは、ほとんどなかった
 - B. 数週間に1回ぐらい
 - C. 週に1回ぐらい
 - D. 週に2, 3回
 - E. 毎日、もしくは、ほとんど毎日
27. 今年度、理科に関する本や雑誌を読んだ機会はどれぐらいありましたか？
- A. 全くなかった、もしくは、ほとんどなかった
 - B. 数週間に1回ぐらい
 - C. 週に1回ぐらい
 - D. 週に2, 3回
 - E. 毎日、もしくは、ほとんど毎日
28. 今年度、コンピューターを使って理科に関する本を読んだ機会はどれぐらいありましたか？

^{訳注27} 原文では「weighing scale」とあったが、「weighting scale」のことだと思われる。

- A. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
- B. 数週間に1回ぐらい
- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日, もしくは, ほとんど毎日

29. 今年度, 理科に関する映像やビデオ, DVD を視聴した機会はどれぐらいありましたか?

- A. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
- B. 数週間に1回ぐらい
- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日, もしくは, ほとんど毎日

30. 今年度, 理科に関する新しい話題について議論した機会はどれぐらいありましたか?

- A. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
- B. 数週間に1回ぐらい
- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日, もしくは, ほとんど毎日

31. 今年度, 理科の活動やプロジェクトで, 他の児童たちと一緒に活動した機会はどれぐらいありましたか?

- A. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
- B. 数週間に1回ぐらい
- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日, もしくは, ほとんど毎日

32. 今年度、自分のクラスの人たちに、理科について学んできたことを発表する機会はどれぐらいありましたか？
- A. 全くなかった、もしくは、ほとんどなかった
 - B. 数週間に1回ぐらい
 - C. 週に1回ぐらい
 - D. 週に2, 3回
 - E. 毎日、もしくは、ほとんど毎日
33. 今年度、理科のテストや小テストをどの程度受けてきましたか？
- A. 全くなかった、もしくは、ほとんどなかった
 - B. 数週間に1回ぐらい
 - C. 週に1回ぐらい
 - D. 週に2, 3回
 - E. 毎日、もしくは、ほとんど毎日してきた
34. 今年度、自分がしてきた理科の活用やプロジェクトで達成したことや成果について話す機会は、どれぐらいありましたか？
- A. 全くなかった、もしくは、ほとんどなかった
 - B. 数週間に1回ぐらい
 - C. 週に1回ぐらい
 - D. 週に2, 3回
 - E. 毎日、もしくは、ほとんど毎日
35. 今年度、自分がしてきた理科の活動やプロジェクトについて書くように求められる機会は、どれぐらいありましたか？
- A. 全くなかった、もしくは、ほとんどなかった
 - B. 数週間に1回ぐらい

- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日, もしくは, ほとんど毎日

36. 今年度, 理科のテストや宿題の問題に対して, 長い文による解答(複数の文や段落)を書くように求められる機会は, どれぐらいありましたか?

- A. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
- B. 数週間に1回ぐらい
- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日, もしくは, ほとんど毎日

37. 今年度, 理科で行っている方法について, あなたの[担当の]先生と話す機会はどれぐらいありましたか?

- A. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
- B. 数週間に1回ぐらい
- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日, もしくは, ほとんど毎日

38. 今年度, 理科のために学校の図書館やメディアセンターの資料を使った機会は, どれぐらいありましたか?

- A. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
- B. 数週間に1回ぐらい
- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日, もしくは, ほとんど毎日

39. 今年度, 理科のためにコンピューターを使う機会はどれぐらいありましたか?

- A. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
- B. 数週間に1回ぐらい
- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日, もしくは, ほとんど毎日

40. 学校の活動とは関係のないような理科の活動をする機会は, どれぐらいありましたか?

- A. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
- B. 数週間に1回ぐらい
- C. 週に1回ぐらい
- D. 週に2, 3回
- E. 毎日, もしくは, ほとんど毎日

41. 理科の授業時に, 教師が話す内容を理解できる意図感じる機会は, どれぐらいありましたか?

- A. 全くなかった, もしくは, ほとんどなかった
- B. 時々
- C. よくあった
- D. 毎日, もしくは, ほとんど毎日あった

42. 理科のテストがうまくいったと感じる機会は, どれぐらいありますか?^{訳注28}

- E. 全くない, もしくは, ほとんどない
- F. 時々
- G. よくある

^{訳注28} この質問は, 算数・数学 (Mathematics) の質問 14 と同じ。

H. いつも、もしくは、ほとんどいつも

43. 理科の宿題をうまくできたと感じる機会は、どれぐらいありますか？^{訳注29}

E. 全くない、もしくは、ほとんどない

F. 時々

G. よくある

H. いつも、もしくは、ほとんどいつも

44. 理科はどれぐらい好きですか？

E. ほとんど好きではない

F. ある程度

G. 少し

H. とても

45. 理科が好きな教科の1つだと感じる機会は、どれぐらいありますか？^{訳注30}

E. 全くない、もしくは、ほとんどない

F. 時々

G. よくある

H. いつも、もしくは、ほとんどいつも

46. 今年度、理科クラブや理科に関するフェア、もしくは理科の大会に参加したことがありますか？

^{訳注29} この質問は、算数・数学 (Mathematics) の質問 13 と同じ。

^{訳注30} この質問は、算数・数学 (Mathematics) の質問 16 と同じ。

- A. はい
- B. いいえ

47. 今年度、遠足で理科のことについて学習するために、博物館や動物園、水族館を訪れたことはありましたか？

- A. はい
- B. いいえ

48. 今年度、遠足ではない形で、理科のことについて学習するために、博物館や動物園、水族館を訪れたことはありましたか？

- A. はい
- B. いいえ

49. 今年度に学校で受けてきたテストと比べて、このテストはどれくらい難しかったですか？^{訳注31}

- E. 他のテストよりも簡単
- F. 他のテストと同じくらい
- G. 他のテストよりも難しい
- H. 他のテストよりもかなり難しい

50. 今年度に学校で受けてきたテストの頑張りと比べて、このテストをどれくらい頑張っていましたか？^{訳注32}

- E. 他のテストほど頑張らなかった
- F. 他のテストと同じくらい頑張った
- G. 他のテストよりも頑張った
- H. 他のテストよりもかなり頑張った

^{訳注31} この質問は、読解 (Reading) の質問 18 及び算数・数学 (Mathematics) の質問 17 と同じ。

^{訳注32} この質問は、読解 (Reading) の質問 19 及び算数・数学 (Mathematics) の質問 18 と同じ。

51. このテストで良い点を取ることは、あなたにとって大事なことでしたか？^{訳注33}

- E. ほとんど大事ではない
- F. ある程度は大事
- G. 大事
- H. とても大事

^{訳注33} この質問は、読解 (Reading) の質問 20 及び算数・数学 (Mathematics) の質問 19 と同じ。

ドイツ

別紙報告データに記載した通り、ドイツでは国レベルで抽出の「州間比較テスト (IV)」(2015 年以後は「教育トレンド調査」と改称)が、基礎学校第 3 学年を対象に 5 年に 1 回、中等学校第 8 学年を対象に 3 年に 1 回実施されている。この調査と同時に、質問紙調査も実施されている。質問紙調査の対象は、①教師、②生徒、③親、④学校管理職である。

これらを対象とした質問紙調査用紙に記された質問項目は、一部に質問内容を変えるところはあるが、経年比較は同一項目で行うことから、ドイツ国内においても非公開の措置が厳密に取られている。

訪問調査により、質問紙調査を作成した IQB との固い約束の下、2011 年と 2012 年の質問紙調査用紙を入手することができたが、ここに訳出することは許可されていないので、許容される範囲で概略のみを以下にまとめることとする。

①2011 年版教師用質問紙調査の概略

1. あなた (教師) について : 6 項目
2. 受けた教員養成教育について : 8 項目
3. 受けた教員継続教育 (研修等) について : 5 項目 (例えば、第 16 項目には 19 の細目、第 17 項目には 5 つの細目が用意されている。)
4. あなたの学級について : 1 項目 (4 の細目有り)
5. 教師としてのあなた : 1 項目 (10 の細目有り)
6. 学習状況調査に対するあなたの受け止め方 : 5 項目 (例えば、第 22 項目には 7 つの細目、第 24 項目には 12 の細目有り)
7. 教科ドイツの教師 : 2 項目
8. コンピテンシーに関連する生徒の活動 : 3 項目
9. 言語の促進 : 2 項目
10. 教科数学の教師 : 3 項目
11. コンピテンシーに関連する生徒の活動 : 1 項目 (第 37 項目の細目として 15 項目有)

②2011 年版生徒用質問紙調査の概略

1. あなた (生徒) について : 5 項目
2. あなた (生徒) と、あなたの家族・家庭について : 12 項目 (例えば、第 11 項目は 11 の細目有り)
3. 学校と授業について : 5 項目 (例えば、第 18 項目は 7 つの細目有)
4. あなたとあなたの学級 : 1 項目

③2011年版親用質問紙調査の概略

1. 記入者属性：1項目
2. 就学前について：4項目
3. 就学期について：4項目
4. 学校選択について：4項目
5. 親の教育と職業：7項目（例えば、第14項目には10の細目有り）
6. 家庭背景：9項目
7. 学校と家庭：1項目（18の細目）

④2011年版学校管理職用質問紙調査の概略

1. 記入者について：3項目
2. 学校と環境：12項目
3. 継続教育：2項目
4. 学校で提供しているもの：2項目
5. 言語促進：8項目
6. 学習状況調査に対するあなたの受け止め方：4項目（例えば、第31項目には20の細目有り）

香港

ステークホルダサーベイ 教師アンケート (小中学校用)

アンケートの記入にあたって注意事項：

・本アンケートは教育局が設計したものです。学校に対するみなさんの意見を集め、学校教育の質の向上に役立つことを目的としています。

・アンケートは無記名です。

・以下の項目から、質問について最もあなたの考え方を表す項目を一つ選んでください。

- 5) 強く同意する
- 4) 同意する
- 3) どちらでもない
- 2) 同意しない
- 1) まったく同意しない

いずれの設問項目についても、もし状況を知らなかったり理解していなかったりする場合や、当てはまらない場合は、「わからない/無回答」を選んでください。

・全部で27項目あります。すべての項目をお答えください。

・鉛筆もしくは黒のボールペンにて、該当する項目を黒く塗ってください。一つの質問に対して一つだけ選んでください。

強く同意する	同意する	どちらでもない	同意しない	まったく同意しない
○	○	○	●	○

教師アンケート（小中学校用）

学校名： _____ 日付： _____

本校の在職期間を選択してください （計算方法：6か月および以上の場合は一年として計算；6か月未満は0年として計算する。例えば、アンケートを記入する際、任期が5年5か月の場合は0-5年を選択する；もし5年6か月の場合は6-10年を選択する。）	0-5年	6-10年	11年以上
	○	○	○

I. 私が学校管理に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意しない	わからない／あてはまらない
1. 学校には明確なビジョンがある	○	○	○	○	○	○
2. 学校はビジョンに沿って戦略的に今後の計画を立てている	○	○	○	○	○	○
3. 学校の決定事項は透明性がある	○	○	○	○	○	○
4. 学校は校内職務の進行を効果的にアセスメントすることができている	○	○	○	○	○	○
5. 学校は体系的に生徒の学習と教師の指導に関するデータを収集し、児童・生徒の学業成績や進捗を観察している	○	○	○	○	○	○
6. 学校は積極的に教師、児童・生徒及び保護者に学校評価の結果を知らせている	○	○	○	○	○	○

II. 私が学校管理職に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意しない	わからない／あてはまらない
7. 校長は学校を持続的に発展させるためのリーダーシップを発揮している	○	○	○	○	○	○
8. 校長は監督者としての役割を効果的に発揮することができる	○	○	○	○	○	○
9. 校長は学校の資源を有効に配分することができる	○	○	○	○	○	○
10. 校長は教師が自分の能力や長所が発揮できるようにしている	○	○	○	○	○	○
11. 校長は教師と良い関係を築いている	○	○	○	○	○	○
12. 副校長は各教科部の仕事を効果的に統括することができる	○	○	○	○	○	○
13. 副校長は各教科部の仕事を効果的に観察することができる	○	○	○	○	○	○
14. 副校長は各教科部間の協力と意思疎通を効果的に促進することができる	○	○	○	○	○	○
15. 副校長は管理職と教師の意思疎通を効果的に促進することができる	○	○	○	○	○	○
16. 教科主任は教科の仕事が上手く行えるように効果的なリーダーシップを発揮することができる。	○	○	○	○	○	○
17. 教科主任は教科の成果を効果的に調べるることができる	○	○	○	○	○	○
18. 教科主任は教師間の専門的な交流と意思疎通を促すことができる	○	○	○	○	○	○

19. 教科主任はその教科の教師達とよい関係を保っている	<input type="radio"/>					
------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

III. 私が教師の専門性の発展に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意ない	わからない／あてはまらない
20. 学校は教師の個人や仕事上での成果に対して積極的に表彰している	<input type="radio"/>					
21. 学校が教師の専門性を高めるために行う活動は私の仕事に役立っている	<input type="radio"/>					
22. 学校には専門性を活かした交流ができるような雰囲気がすでに形成されている。	<input type="radio"/>					
23. 学校の業績評価は教師の専門性の育成と発展を目標としている	<input type="radio"/>					
24. 学校の業績評価制度は教師の仕事を公平に評価することができる。	<input type="radio"/>					
25. 学校の業績評価は教師自身の専門性の発展に繋がる	<input type="radio"/>					

IV. 私が学校カリキュラムと評価に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意ない	わからない／あてはまらない
26. 学校カリキュラムは、社会のニーズや教育のトレンドを踏まえた上で、開発されている	<input type="radio"/>					
27. 学校カリキュラムの目標及び方針ははっきりしている。	<input type="radio"/>					

28. 学校では各学習領域のカリキュラムの推進を支援するための資源配分が効果的にできている。	<input type="radio"/>					
29. 学校は児童・生徒の能力、興味、ニーズに応じて、それぞれの学習方法及び学習機会を計画的に提供する。	<input type="radio"/>					
30. 学校はカリキュラムの実施を効果的にアセスメントすることができている	<input type="radio"/>					
31. 各教科ではカリキュラムの実施状況をアセスメントすることができる。例えば生徒の学習と教師の指導の資料や評価から得たデータを体系的に運用し、カリキュラムにフィードバックしている。	<input type="radio"/>					
32. 各教科で使用している学習評価の方法は児童・生徒を効果的に評価することができる。	<input type="radio"/>					

V. 授業に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意しない	わからない／あてはまらない
33. 私は常に児童・生徒で学習方法の指導をしている。 例えば事前学習、概念図、参考書及びインターネット情報の活用など	<input type="radio"/>					
34. 私は常に児童・生徒と共に学習状況を検討し、生徒らが自己の学習実態や進捗状況が分かるようにしている	<input type="radio"/>					

35. 授業中、私は常に多様な側面から児童・生徒に質問をしている	○	○	○	○	○	○
36. 授業中、私は常に児童・生徒が自主的に知識を探求し、構成できるようにしている	○	○	○	○	○	○
37. 授業中、私は常に児童・生徒の学習進捗状況に応じて、授業内容や方法を調整している	○	○	○	○	○	○
38. 授業中、私は常にグループ議論や口頭発表などの多様な学習活動に取り組んでいる	○	○	○	○	○	○
39. 授業の雰囲気は良好である	○	○	○	○	○	○

VI. 私が児童・生徒に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意ない	わからない／あてまらぬ
40. 児童・生徒は学習に深い興味がある	○	○	○	○	○	○
41. 児童・生徒は自主的・自発的に学習することができる	○	○	○	○	○	○
42. 児童・生徒は学習に自信がある	○	○	○	○	○	○
43. 児童・生徒は常にまじめに宿題をする	○	○	○	○	○	○
44. 児童・生徒は読書を好んでいる	○	○	○	○	○	○
45. 児童・生徒は常に様々な学習資源を活用している	○	○	○	○	○	○

VII. 私が児童・生徒の成長支援に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意ない	わからない／あてまらぬ
46. 学校の生徒指導は児童・生徒の成長に対応している	○	○	○	○	○	○

じて必要な支援をおこなっている						
47. 学校は児童・生徒がリーダーシップを発揮できるように十分な機会を提供している	○	○	○	○	○	○
48. 学校は児童・生徒が良い人間関係を築けるように支援している	○	○	○	○	○	○
49. 学校は児童・生徒が正しい価値観を確立できるよう、積極的な支援を与えている。	○	○	○	○	○	○
50. 学校は児童・生徒を積極的に課外活動に参加させている	○	○	○	○	○	○
51. 学校の課外活動は児童・生徒の学習を豊かにすることができる	○	○	○	○	○	○

VIII. 学校の雰囲気に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意ない	わからない／あてはまらない
52. 教職員たちの仲が良い	○	○	○	○	○	○
53. 教職員たちのチームワークが良い	○	○	○	○	○	○
54. 教師と児童・生徒の仲が良い	○	○	○	○	○	○
55. 教職員たちの士気が高い	○	○	○	○	○	○
56. 私は学校のビジョンに同意している	○	○	○	○	○	○
57. 私は本校での仕事に満足している	○	○	○	○	○	○

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

ステークホルダサーベイ生徒アンケート(小中学校用)

アンケートの記入にあたっての注意事項：

・本アンケートは教育局が設計したものです。学校に対するみなさんの意見を集め、学校教育の質の向上に役立つことを目的としています。

・アンケートは無記名です。

・以下の項目から、質問について最もあなたの考え方を表す項目を一つ選んでください。

- 6) 強く同意する
- 4) 同意する
- 3) どちらでもない
- 2) 同意しない
- 1) まったく同意しない

いずれの設問項目についても、もし状況を知らなかったり理解していなかったりする場合や、当てはまらない場合は、「わからない／無回答」を選んでください。

・全部で27項目あります。すべての項目をお答えください。

・鉛筆もしくは黒のボールペンにて、該当する項目を黒く塗ってください。一つの質問に対して一つだけ選んでください。

例：

強く同意する	同意する	どちらでもない	同意しない	まったく同意しない
○	○	○	●	○

生徒アンケート(小中学生用)

学校名： _____ 日付： _____

私の学年は：	1	2	3	4	5	6	7
	<input type="radio"/>						

私の性別は：	男	女
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

I. 教師の授業に関して思ったこと	同意する	やや同意する	どちらでもない	やや不同意	不同意	わからない/あてはまらない
1. 先生は常に授業以外の学習活動にも取り組んでいる。例えば特別研修、参観、野外学習など	<input type="radio"/>					
2. 先生は常に学習方法の指導を行っている。例えば事前予習、概念図、参考書及びインターネット情報の活用など	<input type="radio"/>					
3. 先生は常に生徒の学習の進み具合や学習上の問題を指摘している	<input type="radio"/>					
5. 授業中、先生は生徒を啓発する質問をしている	<input type="radio"/>					
5. 授業中、先生は生徒が課題に対する探求的活動を行うようにしている	<input type="radio"/>					

6. 授業中、先生は常にグループでの議論や口頭発表などの多様な学習活動に取り組んでいる	○	○	○	○	○	○
7. 授業中、先生は常に生徒を励ましてくれる	○	○	○	○	○	○

II. 児童・生徒の学習に関して思ったこと	同意する	やや同意する	どちらでもない	やや不同意	不同意	わからない／不適切
8. 私は自主的・自覚的に学習することができる	○	○	○	○	○	○
9. 私は学習に自信がある	○	○	○	○	○	○
10. 私は常にまじめに宿題をする	○	○	○	○	○	○
11. 私は空き時間に常に読書をしている（例えば課外書籍や新聞雑誌等）	○	○	○	○	○	○
12. 私は自分の学習目標を定めることができる	○	○	○	○	○	○
13. 私は（複数の）学習方法を活用することができる。例えば、事前予習、概念図、参考書、インターネット情報の活用など	○	○	○	○	○	○
14. 私は常にテスト成績や先生からの意見、例えば連絡帳での評価、授業態度等に基づいて自己の学習状況を検討している	○	○	○	○	○	○

III. 私が児童・生徒の成長支援に関して思ったこと	同意する	やや同意する	どちらでもない	やや不同意	不同意	わからない／不適切
15. 先生は私たちが成長する中で出会う、心身の	○	○	○	○	○	○

発達、友人関係や学業上の課題など、様々な問題の解決を援助してくれる						
16. 同級生たちは自律的に規律を守っている	○	○	○	○	○	○
17. 学校は生徒のリーダーシップスキルを育てることに力を入れている。	○	○	○	○	○	○
18. 学校は他者と良い人間関係を保てるよう、積極的に指導している	○	○	○	○	○	○
19. 学校は児童生徒が良い道徳とマナーを身につけるように積極的に指導している	○	○	○	○	○	○
20. 同級生たちは積極的に課外活動に参加している	○	○	○	○	○	○
21. 私は学校の課外活動への参加を通じて、知識やライフスキルなど、より多くの学習の機会を得ることができている	○	○	○	○	○	○

IV. 私が学校の雰囲気に関して思ったこと	同意する	やや同意する	どちらでもない	やや不同意	不同意	わからない/不適切
22. 同級生たちは先生を尊敬している	○	○	○	○	○	○
23. 私は学校が好きだ	○	○	○	○	○	○
24. 私は同級生たちと仲が良い	○	○	○	○	○	○
25. 先生は私に関心を払っている	○	○	○	○	○	○
26. 先生は我々に大きな期待をしている	○	○	○	○	○	○
27. 学校は児童・生徒の意見に対して積極的に対応してくれる	○	○	○	○	○	○

アンケートは以上で終わりました。
ご協力ありがとうございました。

ステークホルダサーベイ 保護者アンケート(小中学校用)

アンケートの記入にあたっての注意事項：

・本アンケートは教育局が設計したものです。学校に対するみなさんの意見を集め、学校教育の質の向上に役立つことを目的としています。

・アンケートは無記名です。

・以下の項目から、質問について最もあなたの考え方を表す項目を一つ選んでください。

- 7) 強く同意する
- 4) 同意する
- 3) どちらでもない。
- 2) 同意しない
- 1) まったく同意しない

いずれの設問項目についても、もし状況を知らなかったり理解していなかったりする場合や、当てはまらない場合は、「わからない／無回答」を選んでください。

・全部で23項目あります。すべての項目をお答えください。

・鉛筆もしくは黒のボールペンで、該当する項目を黒く塗ってください。一つの質問に対して一つだけ選んでください。

例：

強く同意する	同意する	どちらでもない	同意しない	まったく同意しない
○	○	○	●	○

・ _____ までに学校へ提出するようお願いします。

保護者アンケート(小中学校用)

学校名： _____ 日付： _____

注：2人以上のお子さんが本校に在学する場合、年上の子どもを調査対象として回答してください。

我が子の学年は：	1	2	3	4	5	6	7
	<input type="radio"/>						

我が子の性別は：	男	女
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

I. 児童・生徒の学習に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意しない	わからない／あてはまらない
2. 我が子は学習に対して深い興味がある	<input type="radio"/>					
3. 我が子は自主的・自発的に学習することができる	<input type="radio"/>					
4. 我が子は学習に自信がある	<input type="radio"/>					
6. 我が子は常にまじめに宿題をする	<input type="radio"/>					
7. 我が子は常に空き時間に読書をしている（例えば課外書籍や新聞雑誌等）	<input type="radio"/>					

II. 児童・生徒の成長支援に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意しない	わからない／あてはまらない
6. 学校は我が子が成長する中で出会う、心身の発達、友人関係や学業上の課題など、様々な問題の解決を援助してくれる	○	○	○	○	○	○
7. 学校は我が子が自律的に規律を守れるようにしている	○	○	○	○	○	○
8. 学校は我が子が他者と良い人間関係を保てるようにしている	○	○	○	○	○	○
9. 学校は我が子が良い道徳とマナーを身につけられるようにしている	○	○	○	○	○	○
10. 我が子は、学校の課外活動への参加を通じて、知識やライフスキルなど、より多くの学習の機会を得ることができている	○	○	○	○	○	○

III. 私が学校の雰囲気に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意しない	強同意しない	わからない／あてはまらない
11. この学校の児童・生徒は先生を尊敬している	○	○	○	○	○	○
12. 我が子は学校が好きだ	○	○	○	○	○	○
13. 我が子は同級生と仲が良い	○	○	○	○	○	○
14. 先生は我が子に関心をはらっている	○	○	○	○	○	○
15. 我が子は学校の活動や運営に参加するのが好き	○	○	○	○	○	○

だ						
16. 私は喜んで我が子をこの学校に在学させている	<input type="radio"/>					

IV. 私が学校と家庭の連携に関して思ったこと	強同意	同意	どちらでもない	同意ない	強同意ない	わからない／あてまらない
17. 学校は保護者に学校の状況と今後の展開を常に知らせている	<input type="radio"/>					
18. 学校に意見を伝える十分なツールがある。例えば保護者日、学校ホームページ、学校ポスト等	<input type="radio"/>					
19. 学校は喜んで保護者の意見を聞いている	<input type="radio"/>					
20. 保護者会は保護者と学校的意思疎通を促進している	<input type="radio"/>					
21. 学校は常に保護者を学校活動に参加するよう誘っている	<input type="radio"/>					
22. 私は学校や保護者会でおこなう活動に積極的に参加している	<input type="radio"/>					
23. 私と学校との関係は良好である	<input type="radio"/>					

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

アメリカ

学校用 パート I 学校の特色と方針

この質問は、学校長が回答してください。

1. 貴校で教える対象の学年について、当てはまるものを**全て**選んで下さい。
 - A. [年少] 幼稚園 Pre-K
 - B. [年長] 幼稚園 Kindergarten
 - C. 1年生
 - D. 2年生
 - E. 3年生
 - F. 4年生
 - G. 5年生
 - H. 6年生
 - I. 7年生
 - J. 8年生
 - K. 9年生
 - L. 10年生
 - M. 11年生
 - N. 12年生

2. 貴校を最も説明しているものは次のうちどれですか？当てはまるものを**全て**選んで下さい。
 - A. 小学校
 - B. ミドルスクールもしくはジュニアハイスクール
 - C. 中等学校 Secondary school
 - D. マグネット・プログラムを備えた普通学校

- E. マグネット・スクールもしくは特別プログラムを備えた学校：例えば、理科・数学学校、芸能学校、才能・英才学校、外国語イマージョン学校
- F. 特別支援教育学校：障害のある児童生徒たちが主たる対象
- G. オルタナティブスクール：オルタナティブもしくは非伝統的教育を提供するよう構成されるカリキュラムがあり、普通教育や特別教育、職業教育としてはっきりと分類されないもの。
- H. 私立学校
- I. 私設型チャーター・スクール
- J. 地方学区が管理するチャーター・スクール
- K. その他（詳細に）：_____

3. 現在の貴校の在籍者数は？

□, □□□

4. 今年度の貴校における4年生の割合は、最新でおおよそ何%ですか？

□□□%

5. 現在貴校に在籍している児童生徒のうち、限定的英語熟達度 **limited-English proficient** として確認されている児童生徒は何%ですか？

- A. 0%
- B. 1～5%
- C. 6～10%
- D. 11～25%
- E. 26～50%
- F. 51～75%
- G. 76～90%
- H. 90%以上

6. 昨年度、新学年度の始業日以降に入学してきた児童生徒は、おおよそ何%ですか？

- A. 0%
- B. 1～3%
- C. 4～6%
- D. 7～10%
- E. 11～20%
- F. 20%以上

7. 昨年度、学年度の終業日前に貴校を退学した児童生徒は、およそ何%ですか？

- A. 0%
- B. 1～3%
- C. 4～6%
- D. 7～10%
- E. 11～20%
- F. 20%以上

8. 貴校の児童生徒の欠席率は、平均で約何%ですか？（この割合の計算は、欠席の届け出があるか否かを問わずに含めて行ってください）

- A. 0～2%
- B. 3～5%
- C. 6～10%
- D. 10%以上

9. 貴校の教員の欠勤率は、平均で約何%ですか？（この割合の計算は、全ての欠勤を含めて行ってください）

- A. 0～2%
- B. 3～5%
- C. 6～10%
- D. 10%以上

10. 今年度の4年生のうち、留年措置で4年生に再度在籍した児童生徒は、およそ何%ですか？
- A. 0～2%
 - B. 3～5%
 - C. 6～10%
 - D. 10%以上
11. 貴校は全米学校給食プログラム National School Lunch Program に参加していますか？
- A. はい
 - B. いいえ→質問12～14は該当しないので回答しないで下さい。
12. 貴校はそのプログラムをどのように運営していますか？
- A. 児童生徒の受給資格は個々で決定され、受給資格のある児童生徒は無料ないし低価格で給食をとることができる。→質問13は該当しないので回答しないで下さい。
 - B. 校内の全児童生徒が、特別項の下で無料給食をとっている（例えば、第2項^{訳注34}ないし第3項^{訳注35}）
13. もし貴校が第2項ないし第3項の下で全児童生徒に無料給食の措置をとっているならば、個々の受給資格のある児童生徒たちを集約した基準年はいつでしたか？

^{訳注34} 第2項 [Provision 2] は次の通り。This Provision reduces application burdens and simplifies meal counting and claiming procedures. It allows schools to establish claiming percentages and to serve all meals at no charge for a 4 year period. Schools must serve meals to all participating children at no charge for a period of 4 years. (<https://www.fns.usda.gov/school-meals/provisions-1-2-and-3> より)

^{訳注35} 第3項 [Provision 3] は次の通り。This Provision reduces application burdens and meal counting and claiming procedures. It allows schools to simply receive the same level of Federal cash and commodity assistance each year, with some adjustments, for a 4 year period. Schools must serve meals to all participating children at no charge for a period of 4 years. (<https://www.fns.usda.gov/school-meals/provisions-1-2-and-3> より)

- A. 本校は第2項及び第3項に該当する児童生徒たちすべてに無料給食をとらせていない——受給資格は毎年決定される。
- B. 2014年度
- C. 2013年度
- D. 2012年度
- E. 2011年度
- F. 2010年度
- G. 2009年度もしくはそれ以前

14. 今年度の中に、全米学校給食プログラムを通して貴校の児童生徒たちが無料ないし低価格給食の受給を受けた割合は、およそ何%ですか？

- A. 0%
- B. 1～5%
- C. 6～10%
- D. 11～25%
- E. 26～50%
- F. 51～75%
- G. 76～99%
- H. 100%

15. 貴校はタイトルIの基金を受けていますか？（タイトルIとは、教育サービスを提供する連邦政府資金による計画のことで、低所得世帯が高い割合で集中している地域に居住する子どもたちを対象に、読解や算数・数学の補習的措置といったことを行います。）

- A. いいえ
- B. はい、本校は資金の提供を受けており、それらは受給対象となる児童生徒たちに活用されています。
- C. はい、本校は資金の提供を受けており、それらは学校全体の目的達成のために活用されています。

16. 貴校のおよそ何%の児童生徒が、以下に示すサービスを受けていますか？各列から1つ選んで下さい。1つ以上のサービスを受けている児童生徒がいる場合は、その子たちが受けている各サービスを数に入れて下さい。この質問用紙に回答している日の時点で、以下の各サービスを受けている児童生徒の割合を報告して下さい。

	なし	1~5%	6~10%	11~25%	26~50%	51~75%	76~90%	90%以上
a. タイトル1 サービス対象	A	B	C	D	E	F	G	H
b. 英才・才能プログラム	A	B	C	D	E	F	G	H
c. 児童生徒の家庭語による指導	A	B	C	D	E	F	G	H
d. 第二外国語としての英語（バイリンガル教育プログラムではなく）	A	B	C	D	E	F	G	H
e. 特別支援教育	A	B	C	D	E	F	G	H

17. 典型的な1週間において、定期的に決まった形で貴校の活動に参加する保護者を含めたボランティアの方々は、合わせてどれぐらいですか？

- A. 0名
- B. 1~5名
- C. 6~10名
- D. 11~15名
- E. 16~25名
- F. 25名以上

18. 貴校の児童生徒のうち、その子らの親や保護者が以下の各活動を行っている割合は、およそ何%ですか？各列から1つ選んで下さい。

	当てはまらない	0~10%	11~25%	26~50%	50%以上
a. 教室や学校の他の場所で定期的に手助けするボランテ	A	B	C	D	E

イア					
b. 教師・保護者会に参加	A	B	C	D	E

質問 19 の回答は、全教員に対するものです。

以下の教師たちを含めてください。

- ・正教員
- ・特別領域ないし専門教員 (例えば、特別支援教育、タイトル1、美術、音楽、体育)
- ・長期臨時教員

以下の教師たちも含めてください。

- ・貴校で非常勤として教えている巡回教員 *itinerant teachers*
- ・貴校で非常勤として担当を持っている場合は、このセクションの他の項目で報告されている雇用者

以下の教師たちは含めないでください。

- ・実習生
- ・短期臨時教員
- ・〔年少児〕幼稚園 Pre-K ないし成人教育のみを教えている教師

19. 10 月の初旬に、貴校では、正教員職または非常勤職ないしそうした立場で担当をもつ教員たちはどれぐらいいましたか？ もしいなかった場合は、欄に「0」と記して下さい。

a. 正教員

□□□名の正教員

b. 非常勤

□□□名の非常勤教員

20. 貴校は、教員たちを終身雇用にする場合が多いですか？

- A. はい
- B. いいえ

21. 昨年度末の時点で、貴校の正教員たちを以下のように分類するならば、その中で今年度に正教員として在職した教員の割合は何%ですか？各列から1つ選んで下さい。

	なし	1~5%	6~10%	11~25%	26~50%	51~75%	76~90%	90%以上
a. 最低1年間教えていた非終身雇用教員	A	B	C	D	E	F	G	H
b. 終身雇用教員	A	B	C	D	E	F	G	H

22. 昨年度、貴校に新たに着任した正教員数は？

□□□名

もし0名ならば、質問23は該当しないので回答しないで下さい。

23. 昨年度、貴校に新たに着任した正教員のうち、今年度も正教員として在職している割合は何%ですか？

- A. 0~10%
- B. 11~25%
- C. 26~50%
- D. 51~75%
- E. 76~90%
- F. 90%以上

パートⅡ

読解

1. 最近2年間で、貴校では以下に挙げることを主眼にした現職研修の活動を、教員たちにどの程度提供しましたか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. カリキュラムを横断した言語技術の活用	A	B	C	D
b. 文学の解釈と分析	A	B	C	D
c. 情報関連テキストの解釈と分析	A	B	C	D
d. 読解や作文を行う過程の理解	A	B	C	D
e. 児童生徒の活動を評価するルーブリックの活用	A	B	C	D
f. 言語技術を教えるための指導上の方策	A	B	C	D
g. 読解指導におけるテクノロジーの有効な活用	A	B	C	D

質問2～5は、読解専科担当の職員とリテラシー指導員に尋ねるものです。

読解専科担当 *reading specialists* とは、児童生徒に対して指導上の追加的支援を行い、読解に関する児童生徒の長所とニーズを評価し診断する専門的知識を有する方のことです。

リテラシー・コーチ *literacy coach* とは教員と一緒に活動し、授業時において児童生徒の読み書きの能力を向上させる方策を教員たちが実施して活用

するのを手助けする方のことです。

学校によっては、名称にかかわらず、1人の方が両方の役割を担っていることもあるかと思われます。この文で定義された役割に基づいて、質問2～5を回答して下さい。

2. 貴校では、4年生の児童に対して、読解専科担当が対応できていますか（正教員ないし非常勤として）？
- A. はい、正規〔の読解専科担当〕が4年生の児童に対応できています。
B. はい、非常勤〔の読解専科担当〕が4年生の児童に対応できています。
C. いいえ →質問3は該当しないので、回答しないで下さい。
3. 貴校の4年生の児童に対応できている読解専科担当は、以下に示すことに対して、どの程度まで責任を負っていますか？各列から1つ選んでください。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 多様なトピックに基づいて児童生徒に読解の指導を提供する	A	B	C	D
b. 多様な能力水準に応じて児童生徒に読解の指導を提供する	A	B	C	D

4. 貴校では、4年生の児童に対してリテラシー・コーチが対応できていますか（正教員ないし非常勤として）？
- A. はい、正規〔のリテラシー・コーチ〕が4年生の児童に対応できています。
B. はい、非常勤〔のリテラシー・コーチ〕が4年生の児童に対応できています。
C. いいえ →質問5は該当しないので、回答しないで下さい。
5. 貴校の4年生の児童に対応できているリテラシー・コーチは、以下に示すことに対して、どの程度まで責任を負っていますか？各列から1つ選んでく

ださい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 読解の内容や読解の授業について個々の教員の補佐をしたり支援する	A	B	C	D
b. 読解の内容や読解の授業について、教員集団を対象とする現職研修を行う	A	B	C	D

6. 貴校の読解プログラムは、以下に示す資料等にどの程度まで沿っていますか？

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 州のカリキュラム・スタンダードないし枠組み	A	B	C	D
b. 学区のカリキュラム・スタンダードないしカリキュラムガイド	A	B	C	D
c. 州/学区の評価結果	A	B	C	D
d. 学内のカリキュラム枠組みと学習のためのスタンダード	A	B	C	D
e. 学校評価の結果	A	B	C	D
f. 学校の読解/言語技術部からの提案	A	B	C	D
g. 個々の教師の自由裁量	A	B	C	D
h. 市販のプログラム	A	B	C	D
i. インターネット資料	A	B	C	D

7. 貴校の4年生の読解カリキュラムは、以下の評価形態に対してどの程度準備していますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 州の評価	A	B	C	D
b. 学区の評価	A	B	C	D
c. 学校の評価	A	B	C	D

8. 読解の教員に加えて貴校には、障害のある students with disabilities (SD) 4年生の児童生徒に対して、読解の指導を支援する職員はいますか？以下に当てはまる職員がいれば、各列から1つ選んで下さい。

	はい	いいえ
a. 特別支援教育教員（また関連するサービス提供者）	A	B
b. 読解専科教員もしくはリテラシー・コーチ	A	B
c. 言語療法士	A	B
d. 障害のある児童生徒と一緒に活動する訓練を受けた専門職の助手もしくは教員助手	A	B
e. 障害のある児童生徒と一緒に活動する訓練を受けていない専門職の助手もしくは教員助手	A	B
f. 保護者ボランティア	A	B

9. 読解の教員に加えて、貴校には、英語学習者である (ELL) 4年生の児童生徒に対して読解の指導を支援する職員はいますか？以下に当てはまる職員がいれば、各列から1つ選んで下さい。

	はい	いいえ
a. 資格のある ELL/バイリンガル教育の教員	A	B
b. 読解専科担当ないしリテラシー・コーチ	A	B
c. 言語療法士	A	B

d. ELL である児童生徒と一緒に活動する訓練を受けた専門職の助手もしくは教員助手	A	B
e. ELL である児童生徒と一緒に活動する訓練を受けていない専門職の助手もしくは教員助手	A	B
f. 保護者ボランティア	A	B

パートⅡ

学級運営・指導 Classroom Organization and Instruction : 読解

次の各質問は、読解や言語技術の指導を対象とするあなたの学級運営について尋ねるものです。「読解」や「言語技術」、「読解／言語技術」について質問される場合には、あなたが教えている読解や言語技術の授業について考えてください。もし4年生の授業を1つ以上担当している場合は、学級運営に関する質問に回答するための基礎情報として活用できる学級を1つ選んでください。

17. 読み方／言語技術のクラスを教える役割として、あなたのことを最も適切に説明しているのは以下のうちどれですか？言語技術とは、読解、作文、文学、そしてそれらと関連するトピックのことを言います。1つ選んで下さい。

- E. 私はこのクラスで読解／言語技術を教えていない。
- F. 私は全てもしくはほとんどの教科を教えており、その中に読解／言語技術が含まれている。
- G. 私が教えている教科は、読解／言語技術だけだ。
- H. 私たちはチームで教えており、私は読解／言語技術の授業の主たる責任者である。

18. このクラスの児童は何名ですか？

- H. 15名以下
- I. 16～18名
- J. 19～20名
- K. 21～25名

- L. 26～30名
- M. 31～35名
- N. 36名以上

19. 普段、このクラスで言語技術の指導に費やす総時間数は、週にどれぐらいですか？言語技術とは、読解、作文、文学、そしてそれらと関連するトピックのことを言います。

- F. 3時間未満
- G. 3～4.9時間
- H. 5～6.9時間
- I. 7～9.9時間
- J. 10時間以上

20. 言語技術の指導はどのように運営されていますか？最も適切に説明しているものを1つ選んで下さい。言語技術とは、読解、作文、文学、そしてそれらと関連するトピックのことを言います。

- D. 言語技術は、原則として個別の教科として教えられており、他の教科の指導とほとんどないし全く統合されていない。
- E. 他の教科と統合されている言語技術もあれば、個別の教科として提示されているものもある。
- F. 言語技術のレッスンは、主として他の教科の指導と統合されている。

21. 今年度の読解／言語技術のクラスにおいて、次のような指導をこれまでに行ったことがありますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. フィクション	A	B	C	D
b. 文芸的ノンフィクション	A	B	C	D
c. 詩	A	B	C	D
d. 演劇 exposition	A	B	C	D
e. 議論と説得	A	B	C	D

f. 〔議事・訴訟等の〕手続きに関するテキストと文書 procedural texts and documents	A	B	C	D
--	---	---	---	---

22. 担当する児童たちと物語を読むとき、以下のようなことを児童たちに行うよう要求する機会は何れぐらいありますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くないしほとんどない	ときどき	よくする	常もしくはほぼ常に
a. 作品の一節を要約	A	B	C	D
b. 作品の一節の意味を解釈	A	B	C	D
c. 登場人物の動機や感情について尋ねる	A	B	C	D
d. 作品の一節の主たるテーマを確認	A	B	C	D

23. このクラスで読解を指導する際、その一環として次のことを行う機会は何れぐらいありますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くないしほとんどない	ときどき	よくする	常もしくはほぼ常に
a. 声に出して読むように児童生徒に求める	A	B	C	D
b. 読んだことについて書くように児童生徒に求める	A	B	C	D
c. 読んだ内容についてグループ活動やプロジェクトを行うよう児童生徒に求める	A	B	C	D
d. 読んだ内容について説明したり、理解したことを裏付け	A	B	C	D

るよう児童生徒に求める				
e. 読解のワークブックやワークシートを使って活動するよう児童生徒に求める	A	B	C	D
f. 自分で選んだ本を読む時間を与える	A	B	C	D
g. 映画やビデオを視聴させたり、オーディオ教材を聴かせたりする	A	B	C	D
h. 児童生徒が新しい言葉を理解する手助けをする	A	B	C	D

24. クラスで情報関係及び文学関係のテキストを読む際、次の認知プロセスをあなたはどの程度強調してきましたか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 配置 locate/想起	A	B	C	D
b. 統合/解釈	A	B	C	D
c. 批評/評価	A	B	C	D

25. コンピューターは、あなたやあなたの児童たちが読解/言語技術の指導のために活用できる状態にありますか？

- D. はい、コンピューターは私の児童たちと私が活用できる状態にあります。
- E. はい、私が活用できます。児童たちは活用しません。
- F. いいえ、児童も私も、学校でコンピューターを活用していません。

26. クラスのための準備を除いて、読解の指導及び/もしくは読解の活動のために、学校でコンピューターや他のテクノロジー関連機器を活用する機会はどれぐらいありますか？

- F. 全くない
- G. 年に数回
- H. 1カ月に1～2回
- I. 週に1～2回
- J. 毎日もしくはほぼ毎日

27. 今年度の4年生の読解/言語技術のクラスにおいて、次のそれぞれを実施するためにコンピューターや他のテクノロジー関連機器を活用する機会はどれぐらいありますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くないしほとんどない	月に1, 2回	週に1, 2回	毎日もしくはほぼ毎日
a. 語彙力形成と活用	A	B	C	D
b. 流暢な読解と理解力の向上	A	B	C	D
c. 綴りと文法の練習	A	B	C	D
d. 読解と関連するウェブサイトへのアクセス (例えば, 推薦図書のリストを示すサイト)	A	B	C	D
e. 読解プロジェクト研究の実施	A	B	C	D

28. 読解/言語技術の指導においてあなたが必要とする教材及び関連資料を、あなたの学校システムはどの程度提供してくれていますか？最も適していると思われるものを選んで下さい。

- E. 必要な資料がない。
- F. 必要な資料はある程度ある。
- G. 必要な資料はほとんどある。
- H. 必要な資料はすべてある。

29. 4年生のクラスに読解／言語技術を教えるとき、次のことをしていますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くない	少しの程度	中程度	かなりの程度
a. 一部の児童生徒を教える際の異なる方法の活用	A	B	C	D
b. 一部の児童生徒を対象に、通常のカリキュラムに加えて別の教材を補足	A	B	C	D
c. 一部の児童生徒のために授業の進度を変える	A	B	C	D
d. 別の学級活動に一部の児童性を取り組ませる	A	B	C	D
e. 一部の児童生徒を対象とする到達基準を設ける	A	B	C	D

30. 読解の指導及び／もしくは読解の活動を行う際に、以下の方策をどの程度活用しますか？各列から1つ選んで下さい。

	全くないしほとんどない	月に1, 2回	週に1, 2回	毎日もしくはほぼ毎日
a. 私は、学級全体の活動として読解を教えている。	A	B	C	D
b. 私は、同程度の能力の集団を編成している。	A	B	C	D
c. 私は、無作為割り当てで集団を編成している。	A	B	C	D
d. 私は、児童生徒が自分で集団を選ぶことを認めている。	A	B	C	D

e. 私は、読解のために個別指導を実施している。	A	B	C	D
f. 児童生徒は、与えられた計画や目標に対して、個別に取り組んでいる。	A	B	C	D
g. 児童生徒は、自分で選んだ目標に対して、個別に取り組んでいる。	A	B	C	D
h. その他（具体的に）	A	B	C	D

児童生徒用質問項目

読解 (Reading、2015年 4年生)

セクション3

このセクションでは、あなたとあなたのご家族のことについて回答して下さい。学校に通っている年度内にあなたが時間のほとんどを過ごしている場所に基づいて、あなたの家庭のことに関する質問に答えて下さい。回答はあなたの冊子に記入して下さい。他に指示がある場合を除いて、各質問の回答は1つだけです。

23. あなたは、ヒスパニック系もしくはラテン系ですか？**楕円〔選択肢〕**^{訳注36}を1つ以上選んでください。

- P. いいえ。私はヒスパニック系でもラテン系でもありません。
- Q. はい。私はメキシコ人かメキシコ系アメリカ人、もしくはチカーノです。
- R. はい。私はプエルトリコ人もしくはプエルトリコ系アメリカ人です。
- S. はい。私はキューバ人もしくはキューバ系アメリカ人です。
- T. はい。私は他のヒスパニック系もしくはラテン系の出身です。

24. 次の中で、あなたのことを最もふさわしく説明しているのはどれですか。**選択肢を1つ以上選んでください。**

- P. 白人
- Q. 黒人もしくはアフリカ系アメリカ人
- R. アジア人
- S. アメリカ先住民もしくはアラスカ・ネイティブ
- T. ハワイ先住民もしくは他の太平洋諸島島民

^{訳注36} 各選択肢はアルファベット順に表記され、それぞれのアルファベットは楕円で囲まれている。以下、本訳稿では「選択肢」と意識する。また、原文で太字の箇所は訳文ではゴシックで示す。

25. 自宅には本が何冊ぐらいありますか？

- I. ほとんどない (0~10冊)
- J. 1つの棚に収まるぐらい (11~25冊)
- K. 1つの本棚に収まるぐらい (26-100冊)
- L. 複数の本棚に収まるぐらい (100冊以上)

26. 自宅には、あなたが使うコンピューターはありますか？

- E. ある
- F. ない

27. 以下のものがあなたの家にはありますか〔できますか〕？当てはまる選択肢を全て選んで下さい。

- K. インターネットへのアクセス
- L. 家族のためだけの衣類乾燥機
- M. 食器洗浄機
- N. 浴室が1つ以上
- O. 自分自身の寝室

28. 学校でする読書と、宿題のためにする読書で、1日に何ページぐらい読みますか？

- K. 5ページかそれ以下
- L. 6~10ページ
- M. 11~15ページ
- N. 16~20ページ
- O. 20ページ以上

29. 家族の誰かと、学校で勉強したことについてどれぐらい話をしていますか？

- K. 全然もしくはほとんどない
- L. 数週間に1回
- M. 週に1回ぐらい
- N. 週に2, 3回
- O. 毎日

30. 先月は、学校を何日ぐらい休みましたか？

- K. 全く休んでいない
- L. 1日か2日
- M. 3日か4日
- N. 5～10日
- O. 10日以上

31. あなたの家族の人たちがお互いに話をするとき、英語以外の言葉で話す時間はどれぐらいですか？

- I. 全くない
- J. たまに
- K. 半分ぐらいの時間
- L. 全てもしくはほとんどの時間

32. 次に挙げる人は、あなたの自宅で生活していますか？当てはまる選択肢を全て選んで下さい。

- M. 母親
- N. 継母
- O. 養母もしくは他の女性の法的保護者
- P. 父親

Q. 継父

R. 養父もしくは他の男性の法的保護者

33. 下の囲みにあなたの自宅の郵便番号を書きなさい。

□□□□□

ここで止まる

セクション4

52. 読むことは私の好きな活動の1つだ。

- F. そうではない。
- G. 少しそうだ。
- H. かなりそうだ。

53. 学校以外で、もしくは放課後に読書する際、手助けしてもらったり個人指導を受けたりする機会は、どれぐらいありますか？

- E. 全くない、もしくは、ほとんどない
- F. 月に1, 2回
- G. 週に1, 2回
- H. 毎日、もしくはほぼ毎日

54. 自由時間に楽しむのために本を読む機会は、どれぐらいありますか？

- E. 全くない、もしくは、ほとんどない
- F. 月に1, 2回
- G. 週に1, 2回
- H. ほとんど毎日

55. 読んだ本のことについて、自分の友達や家族と話す機会はどれぐらいありますか？

- D. 全くない、もしくは、ほとんどない
- E. 月に1, 2回
- F. 週に1, 2回
- G. ほとんど毎日

56. 読んできた本のことについてクラスで発表するように、とあなたの〔担任の〕先生から頼まれる機会はどれぐらいありますか？

- D. 全く、もしくは、ほとんどない
- E. 時々
- F. よくある
- G. いつも、もしくは、ほとんどいつも

57. 雑誌や新聞の記事や話を読むように、とあなたの〔担任の〕先生から頼まれる機会はどれぐらいありますか？

- E. 全くない、もしくは、ほとんどない
- F. 時々
- G. よくある
- H. いつも、もしくは、ほとんどいつも

58. 声を出して読むように、とあなたの〔担任の〕先生から頼まれる機会はどれぐらいありますか？

- E. 全くない、もしくは、ほとんどない
- F. 時々
- G. よくある
- H. いつも、もしくは、ほとんどいつも

59. 声を出さずに読むように、とあなたの〔担任の〕先生が求める機会はどれぐらいありますか？

- E. 全くない、もしくは、ほとんどない
- F. 時々
- G. よくある
- H. いつも、もしくは、ほとんどいつも

60. 自分で選んだ本を読むように、とあなたの〔担任の〕先生から頼まれる機会はどれぐらいありますか？
- A. 全くない、もしくは、ほとんどない
 - B. 時々
 - C. よくある
 - D. いつも、もしくは、ほとんどいつも
61. 自分で読んだ本のことについて何か書くように、とあなたの〔担任の〕先生から頼まれる機会はどれぐらいありますか？
- I. 全くない、もしくは、ほとんどない
 - J. 時々
 - K. よくある
 - L. いつも、もしくは、ほとんどいつも
62. 新しい単語の意味や難しい単語について議論するように、とあなたの〔担任の〕先生から頼まれる機会はどれぐらいありますか？
- I. 全くない、もしくは、ほとんどない
 - J. 時々
 - K. よくある
 - L. いつも、もしくは、ほとんどいつも
63. 今年度、あなたが読んできた本のことについて、ペアで活動したり小グループで活動したりする機会はどれぐらいありましたか？
- A. 全くない、もしくは、ほとんどない
 - B. 年に数回
 - C. 月に1, 2回
 - D. 週に最低1回
64. 今年度、授業で読んできたことについてクラスで議論する機会はどれぐらいありましたか？

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 年に数回
- C. 月に1, 2回
- D. 週に最低1回

65. 授業の中である物語を読むとき, 自分自身の言葉でその話を説明するように, とあなたの先生から頼まれる機会はどれぐらいありますか?

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 時々
- C. よくある
- D. いつも, もしくは, ほとんどいつも

66. 授業の中である物語を読むとき, 登場人物がしたり感じたりすることについて話すように, とあなたの先生から頼まれる機会はどれぐらいありますか?

- A. 全くない, もしくは, ほとんどない
- B. 時々
- C. よくある
- D. いつも, もしくは, ほとんどいつも

67. 今年度, 読書と関連するテストや宿題の問題に対して, 長い〔文章の〕解答を書くように, とあなたの先生から頼まれる機会はどれぐらいありましたか?

- A. 全くない
- B. 今年の中で1回か2回
- C. 月に1回か2回
- D. 週に最低1回

68. 今年度、物語や記事、本を読むために、コンピューターやそれに類するデバイスをどれぐらい活用しましたか？

- A. 全くない
- B. 今年の中で1回か2回
- C. 月に1回か2回
- D. 週に最低1回

69. 今年度に学校で受けてきたテストと比べて、このテストはどれぐらい難しかったですか？

- I. 他のテストよりも簡単
- J. 他のテストと同じぐらい
- K. 他のテストよりも難しい
- L. 他のテストよりもかなり難しい

70. 今年度に学校で受けてきたテストの頑張りと比べて、このテストをどれぐらい頑張って受けましたか？

- I. 他のテストほど頑張らなかった
- J. 他のテストと同じぐらい頑張った
- K. 他のテストよりも頑張った
- L. 他のテストよりもかなり頑張った

71. このテストで良い点を取ることは、あなたにとって大事なことでしたか？

- I. ほとんど大事ではない
- J. ある程度は大事
- K. 大事
- L. とても大事

フランス

「教科に関する抽出評価サイクル (cycle des évaluations disciplinaires réalisées sur échantillon : CEDRE)」における質問紙調査のうち、調査項目などが詳細に公表されている、「社会生活に対する態度」の調査と、歴史・地理・市民性教育の調査の内容を報告する。波線は、特徴的な項目であると判断した箇所である。

(1) 2005年の「社会生活に対する態度 (attitudes à l'égard de la vie en société)」

*この調査に限り、一回で終了しており、経年比較はされていない。

1) 生徒用の質問紙調査の目的は、社会生活の様々な状況に対する生徒の態度や考えを調査するとともに、生徒の学習・生活環境を明らかにすることである。

2) 生徒用の質問紙項目のテーマ

小学校は七つのテーマ、中学校は八つのテーマ。

- ・クラスメイトとの行動：友だちグループの中での生徒の態度。とくに、自分の意見を言う力や、他の人を説得する力、他の人の意見が説得力に富むときに自分の意見を変える力。
- ・エコロジー・環境：環境を害する人間の行動や、技術進歩の副作用に対する懸念など。
- ・公共の自由：投票の重要性や、デモの権利、表現の自由に対する意見など。
- ・法律と規則：既存の法律や規則（一般社会のものと校則）に従って行動する性向。
- ・団結：共通の利益をめざす、グループや、社会、団体のつながり。
- ・生徒代表：クラス代表の役割や有用性

テーマ	小学校	中学校
クラスメイトとの行動	12	14
エコロジー・環境	8	9
公共の自由	3	4
法律と規則	23	35
団結	3	5

寛容	15	17
学校生活	7	9
生徒代表		12

3) 生徒用の質問紙項目の形式は、次の3パターンである

①「～と考える人がいる」や「～という人がいる」という文章に対して、「全くもって同意する」「どちらかといえば同意する」「どちらかといえば同意しない」「全く同意しない」のいずれか、または「全く間違いである」「どちらかといえば間違いである」「どちらかというところ正解である」「全くもって正解である」のいずれかを選択する。

例)「私の友だちグループから誰かが仲間外れされることがあった」

「小学校5年生は小学校1年生によい見本を見せなければならないという人がいる」

②ある意見を示す文章に対して、「受け入れられる」か「受け入れられない」か、「深刻である」か「深刻でない」か、または「普通である」か「普通でない」か、のいずれかを選択する。

例)「選挙に行くか行かないかは重要なことではないと思いつながら投票する人がたくさんいると考えている人がいる」

「労働者が自身の給料に満足しないので、デモに参加する」

③ある具体的な状況に直面したときに、どのように行動するかを記述する(自由記述)。

3) 生徒用の質問紙項目の数

小学校は89問、中学校は131問。比較のため、71問が、小中の共通問題。

(2) 2012年の歴史・地理・市民性教育の調査

●生徒用質問紙調査(小学校)

1) 質問紙項目のテーマ

- ・歴史・地理・市民性教育に対する興味
- ・学ぶ楽しさ
- ・この教科の学習方法

2) 質問紙項目の形式：ある意見や習慣を示す文に対して、「全く同意しない」「同意しない」「同意する」「全くもって同意する」といった選択肢のいずれかを選択する。

例 1：学校

「学校で、地理よりも歴史の方が好き」

「授業で学ぶのが好き」

「資料調査をするのが好き」

「活動に参加するのが好き」

「クラスにいて気分がいい」

歴史・地理教育は重要である（質問文のことばは不明）

歴史・地理教育の授業外での自習を週あたり何時間するか（質問文のことばは不明）

例 2：家庭

「勉強するようにいわれる」

「私の学習ノートを見てくれる」

「説明をしてくれたり、私の質問に答えてくれたりする」

「家庭学習を終えたのを確認してくれる」

例 3：学校外での教科への興味

「関連する本や雑誌、新聞を読む」

「インターネットで情報を探す」

「博物館や歴史的建造物、地理的な場所を訪れる」

「テレビのドキュメンタリーを見る」

例 4：グループの中での役割

「学習の決定権を握っているのはあなただ」

「言い合いになったとき、友だちをなだめることがよくある」

「何か決めないといけないとき、自分の観点を受け入れさせることがよくある」

「友だちに決定を任せておくことがよくある」

「みんなの前で話す人を決めないといけないとき、友だちがあなたを選ぶことがよくある」

「友だちと同じ意見ではないとき、あなたが正しいと友だちを説得しようとする」

例 5：CEDRE

「この質問紙調査に、クラスの通常の学習と同じくらい熱心に取り組んだ」

●教師用質問紙調査（小学校）

*生徒用質問紙調査に答えた生徒の担任教師が回答する。

1) 質問紙の項目の形式

①ある意見や習慣を示す文に対して、「全くない」「ほとんどない」「頻繁に」「とても頻繁に」のいずれかを選択する。

例1：学校の他の教員との交流

「教育方法の交換」「文化的な場所の訪問」「交換授業」「学習プロジェクトの開発」

例2：使っている情報リソース

「研修担当者に会う」「展示する場所の訪問」「雑誌や機関紙、月刊誌、新聞」「指導教員の指導」「インターネットで見つけた資料」「教科書」

例3：評価の種類

「クラスで扱ったテーマに関する発問をする」「授業中に短い説明文を作らせる」「授業外の課題を出す」「資料を用いた個人的調査を求める」「知識を問うテストをする」

②あるテーマに関する複数の選択肢から一つを選ぶ。

例1：学習指導要領に関して

「すべての期間と各期間のあらゆる点を扱っている」「あらゆる期間を扱っている。深く学習する期間と、さっと手短かに学習する期間があるが、あらゆる点を扱っている」「あらゆる期間を扱っているが、各期間のすべての点を扱っていないことを認める」「あらゆる期間を扱っていないことを認める」「学習指導要領は生徒に求めすぎているので、考慮していない」「無回答」のいずれかを選択。

例2：教科に対する生徒の興味

「すべての生徒が興味か好奇心を示している」「生徒の大半が興味か好奇心を示している」「生徒の半分が興味か好奇心を示している」「ほとんどの生徒が興味も好奇心も示していない」「無回答」のいずれかを選択。

③歴史・地理教育の困難を述べる自由記述

(3) 考察

フランスの質問紙調査項目の特徴は、次の三点である

1) 教科ごとに質問紙調査がなされている。

日本の児童生徒質問紙調査でも、算数と国語の学習に関する関心・意欲・態度や学習習慣を尋ねる項目はある。しかし、新学習指導要領の柱の一つである教科学習でのアクティブ・ラーニングに関する項目は、教科横断的な一般的な学習習慣を尋ねる項目（47～55）にほぼ限られている。一方、フランスの質

問紙調査には、歴史・地理・市民性教育の学習におけるグループの中での役割を尋ねる項目など、特定の教科におけるアクティブ・ラーニングに関する項目がある。アクティブ・ラーニング型授業の実施状況やアクティブ・ラーニングへの児童生徒の関心が、教科によってどのように異なるのかを捉えることができる。

2) 自由記述問題がある。

日本の学習状況調査はすべて選択肢問題である。他方、フランスの質問紙調査では、ある具体的な状況に直面したときに、どのように行動するかを記述する生徒用の自由記述の項目や、歴史・地理教育の困難を述べる教員用の自由記述の項目がある。調査が抽出であり、数年に一度の実施であるため、自由記述の回答を分析することが可能となっている。これにより、生徒や教師が感じていることや習慣を、選択肢問題よりも詳細に捉えられる。

3) 生徒用質問紙調査だけではなく、教員用質問紙調査もある。

日本の学習状況調査には、教員用質問紙調査はない。一方、フランスの質問紙調査では、学校の他の教員との交流や、使っている情報リソース、評価の種類、学習指導要領の扱い方などに関する教員用質問紙調査も、教科の学力調査とセットでなされている。これにより、教員の実践の教科ごとの特徴を捉えることができる。

フィンランド

校長用質問票（母語調査：2015年度）

基礎教育の「母語と文学」の学習成果評価 第9学年 2014年春

学校名と学校番号： _____

教育組織

1. 学校に設置されている学年： 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
2. 第7－第9学年には、学級数が合計 _____ あります。
3. 「母語と文学」の第9学年の学級数は、合計 _____ あります。
4. 平均的な学級規模（1学級の生徒数）は、 _____ 人です。 _____
5. 現在第9学年の生徒の「母語と文学」の各学年における週当たりの平均授業時間数
第7学年： _____ 第8学年： _____ 第9学年： _____ （例：3、2、3）
6. 今年度は何学期制を採っていますか。
学期制を採っていない：
学期制を採っている： 2・3・4・5・6以上
7. 学期制を採っている場合、現在第9学年の生徒が、「母語と文学」を教わらない学期の数
第7学年： _____ 学期 第8学年： _____ 学期 第9学年： _____ 学期
8. 「母語と文学」のカリキュラムは：
 コースに分かれています コースに分かれていません。
9. 2012年度に、第7－第9学年の生徒が、「母語と文学」担当教員による補習を受けた時間の合計は、 _____ 時間です。
10. 2012年度、第7－第9学年の生徒がパートタイムの特別支援を受けたのは、 _____ 時間です。
11. 「母語と文学」の特別支援に費やしたのは、 _____ 時間です。
12. 特別支援教員が「母語と母語文学」の第7－第9学年の生徒を支援している頻度
全くない 不定期 月に1度 週に1度
13. 現在、第9学年の「第二言語としてのフィンランド語」を履修している生徒の数は、 _____ 人です。
14. あなたの学校では、バイリンガルやマルチリンガルの生徒に対して、フィンランド語の支援を実施していますか。「母語と文学」のみに限定して答え

ないでください。

15. 学校内、若しくは、500メートル以内に図書館がありますか？

いいえ はい

16. あなたの学校では、2011年の8月以降、学習成果評価の結果に影響を与えるような構造的な変化がありましたか（例えば、学級の統合、教室の変化）

いいえ はい _____

17. 昨年度（2012年度）学校の生徒福祉グループが関わったいじめの数は、_____ 件です。

18. 評価の実施に関するあなたのフィードバックを求めています。例えば、情報、ガイダンス、評価、リソースの配分など。

19. あなたの学校や自治体では、あなたの学校が今参加している、あるいは過去に参加した学習成果評価のフィードバックをどのように使っていますか、あるいは使おうと考えていますか。

学校マネジメント

職務内容、マネジメントスキルに関する次の項目について、考えて下さい。

20. あなた自身について、5－10の6段階で評価して下さい。

- | | | | | | | |
|---------------------------|----|----|----|----|----|-----|
| A. あなた自身及びあなた自身の業務のマネジメント | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| B. 一般事務 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| C. 人事管理 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| D. 財務 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| E. 教育マネジメント | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| F. 学校関係者との連携 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| G. 開発業務 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| H. 戦略的計画 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| I. 評価 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| J. 情報 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| K. 教職員の監督 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| L. 自身の教育業務 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| M. 手続き・決裁 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| N. 生徒に関すること | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |
| O. その他 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 | ○10 |

教員用質問票（母語調査：2015年度）

この質問票は、第9学年の生徒の「母語と文学」の学習成果評価に付随したものであり、2014年4月9日（水）に実施します。この質問票は、今年度、第9学年の「母語と文学」を担当している教員が回答します。ここでは、例えば、「母語と文学」の指導の背景や見解などについて述べていただきます。質問は、「母語と文学」の授業に関するものであり、特に第9学年の学習に焦点を当てています。評価データは、校長や学習成果調査の対象となった生徒からも収集しています。

学校と教員に関する情報の記入を求めているのは、学校、生徒、教員のデータの分析を学校レベルで行うためです。他には、例えば、どのような授業方法が良い学習成果につながるかといったことについての報告も可能です。教員や学校が特定されるような形では、結果の公表は行いません。

生徒が学習成果調査を実施した後、質問に応じて下さい。教員用の質問票は、その他の評価データとともに2014年4月28日までに提出して下さい。

1. 私は、 女性 ・ 男性 です。
2. 年齢は、 20-30 31-40 41-50 51-60 61歳以上 です。
3. 私の学位は、 哲学博士/リセンシアート 哲学修士/学士 人文学学士 教育学修士/学士（学級担当教員） その他 です。
4. 私の専門は、 フィンランド語 ・ 文学 ・ その他 _____ である。
5. あなたは、「母語と文学」の教員としての資格要件を満たしている。 はい ・ いいえ
6. 基礎学校で「母語と文学」を何年間教えていますか。 1年未満 1-5年 6-10年 11-15年 16年以上
7. あなたの職場に「母語と文学」の教員は何人いますか。 1 2 3 4 5 6 7 人
8. 昨年度、同僚の「母語と文学」の教員とどのくらい協働しましたか。 全くない 僅か 少ない ある程度 多い 非常に多い
9. 「母語と文学」の宿題をどのくらいの頻度で課していますか。 全くない 稀に 時々 しばしば ほとんどいつも
10. 生徒はどのくらいの頻度で宿題をしていますか。 全くない 稀に 時々 しばしば ほとんどいつも
11. どの教科書を使用していますか。 _____

第7-第9学年の指導：言語知識

次の言語知識に関する項目について、あなたは指導をどの程度行っていますか。

1=全くない、2=稀に、3=時々、4=しばしば、5=ほとんどいつも

12. 話し言葉と書き言葉の違い 1 2 3 4 5
13. 書き言葉の文章作成 1 2 3 4 5

- | | | | | | |
|--|----|----|----|----|----|
| 14. 言語の作法 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 15. 綴りの練習 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 16. 言語の多様性 (例: 場、話者、地域) | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 17. 言語の形態、あるいはコミュニケーションの場や、受け手やツールによる表現の選択 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 18. 国内外の言語状況に関する基礎知識 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 19. フィンランド語の基本的特徴 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 20. 言語の変化 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 21. 文法の基本的概念 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |

次の言語知識をどのように教えていますか。

1 = 全くない、2 = 稀に、3 = 時々、4 = しばしば、5 = ほとんどいつも

22. 書き言葉の文章作成、綴りの練習

- | | | | | | |
|--|----|----|----|----|----|
| A. 教科書やワークブックを使用する。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| B. 私 (教員) が、読んだり、話したり、説明したりし、生徒が聞いたり、ノートを取ったり、質問に答えたりする。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| C. (例えば、テキストを通じて、あるいは言語の使用を観察することにより) 言語を学ぶ | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| D. 書くこと | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| E. 読むこと (教科書・ワークブック以外) | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| F. 議論すること | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| G. 競うことや遊ぶこと | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| H. 表現の練習をすること | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| I. その他 _____ | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |

23. 文法の基礎知識・文法の基本概念

- | | | | | | |
|--|----|----|----|----|----|
| A. 教科書やワークブックを使用する。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| B. 私 (教員) が、読んだり、話したり、説明したりし、生徒が聞いたり、ノートを取ったり、質問に答えたりする。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| C. (例えば、テキストを通じて、あるいは言語の使用を観察することにより) 言語を学ぶ | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| D. 書くこと | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |

- E. 読むこと（教科書・ワークブック以外） ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- F. 議論すること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- G. 競うことや遊ぶこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- H. 表現の練習をすること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- I. その他 _____ ○1 ○2 ○3 ○4 ○5

24. 場の多様性：言語の形態の選択、受け手や場に対する配慮（礼儀も含む）

- A. 教科書やワークブックを使用する。 ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- B. 私（教員）が、読んだり、話したり、説明したりし、生徒が聞いたり、ノートを取ったり、質問に答えたりする。 ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- C. （例えば、テキストを通じて、あるいは言語の使用を観察することにより）言語を学ぶ ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- D. 書くこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- E. 読むこと（教科書・ワークブック以外） ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- F. 議論すること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- G. 競うことや遊ぶこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- H. 表現の練習をすること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- I. その他 _____ ○1 ○2 ○3 ○4 ○5

25. 話し言葉と書き言葉の違い

- A. 教科書やワークブックを使用する。 ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- B. 私（教員）が、読んだり、話したり、説明したりし、生徒が聞いたり、ノートを取ったり、質問に答えたりする。 ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- C. （例えば、テキストを通じて、あるいは言語の使用を観察することにより）言語を学ぶ ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- D. 書くこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- E. 読むこと（教科書・ワークブック以外） ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- F. 議論すること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- G. 競うことや遊ぶこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- H. 表現の練習をすること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- I. その他 _____ ○1 ○2 ○3 ○4 ○5

26. テキストの種類

- A. 教科書やワークブックを使用する。 ○1 ○2 ○3 ○4 ○5

- B. 私（教員）が、読んだり、話したり、説明したりし、生徒が聞いたり、ノートを取ったり、質問に答えたりする。 ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- C. （例えば、テキストを通じて、あるいは言語の使用を観察することにより）言語を学ぶ ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- D. 書くこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- E. 読むこと（教科書・ワークブック以外） ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- F. 議論すること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- G. 競うことや遊ぶこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- H. 表現の練習をすること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
- I. その他 _____ ○1 ○2 ○3 ○4 ○5

27. 私は言語知識を次のように教えています

- A. 領域別
- B. 異なる内容やスキルを重ねあわせたり、相互に関連させたりする（例えば、コミュニケーションスキル、作文、文章読解）

第7－第9学年の指導：文章作成

次の文章作成に関する内容や作業方法について、あなたは指導をどの程度行っていますか。

1＝全くない、2＝稀に、3＝時々、4＝しばしば、5＝ほとんどいつも

生徒たちは：

28. ひとりで文章を書くこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
29. ペアやグループで文章を書くこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
30. ワープロ（ワードプロセッシング）で文章を書くこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
31. 文章を創作したり、それについて他の生徒と議論したりすること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
32. 文章を考えたり、草稿を考えたりすること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
33. どんな言葉や表現が自分の文章にあっているかを熟考すること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
34. 教員から文章でコメントをもらうこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
35. フィードバックに基づいて、内容や構造や語句などを修正すること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
36. 多様なタイプのテキスト、目的の異なるテキストを書くこと（例えば、解説、物語、ニュース、意見文） ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
37. 書くために自分の目標を設定し、それらの実施のために熟考すること ○1 ○2 ○3 ○4 ○5
38. 他の生徒に文章でフィードバックを行うこと ○1 ○2 ○3 ○4 ○5

- | | | | | | |
|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 39. 他の生徒から文章でフィードバックをもらうこと | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 40. 文章を印刷したり、公表したりすること（例えば、ブログ、学校新聞、新聞、本など） | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 41. 完成版の文章に、教員からのフィードバックを文章でもらうこと | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 42. 完成版の文章に、教員からのフィードバックを個人的に口頭でもらうこと | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 43. 完成版の文章に、教員からの評点（4－10段階）による評価をもらうこと | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 44. 文章についてのコメントを投稿すること | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 45. 文章を書く課題において、独自のスタイルで表現することができること | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 46. 適切な時間で文章を書くこと | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |

生徒は、さらに、次のことに関する指導を受けています。 はいーいいえ

- | | | |
|----------------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 47. 文章において読み手を考慮する方法（例えば、投稿や手紙）。 | <input type="radio"/> はい | <input type="radio"/> いいえ |
| 48. 自身の考えと異なる見解を考慮する方法（例えば、投書） | <input type="radio"/> はい | <input type="radio"/> いいえ |
| 49. 自身の考えを主張する方法 | <input type="radio"/> はい | <input type="radio"/> いいえ |
| 50. 自身の文章において出典を示す方法 | <input type="radio"/> はい | <input type="radio"/> いいえ |
| 51. 申請書を書く方法 | <input type="radio"/> はい | <input type="radio"/> いいえ |
| 52. 省察的な文章を書く方法 | <input type="radio"/> はい | <input type="radio"/> いいえ |

全国調査で用いられている問題に対する評価

- | | | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 53. 問題はどの程度全国教育課程基準の目標に即していますか。 | <input type="radio"/> 全く合っていない | <input type="radio"/> あまり合っていない | <input type="radio"/> ある程度合っている | <input type="radio"/> 合っている | <input type="radio"/> とても合っている |
| 54. 問題はどの程度義務教育の最終段階の生徒の到達目標に即していますか。 | <input type="radio"/> 全く合っていない | <input type="radio"/> あまり合っていない | <input type="radio"/> ある程度合っている | <input type="radio"/> 合っている | <input type="radio"/> とても合っている |
| 55. 試験は全体として9年生向きでした。 | <input type="radio"/> 非常に簡単 | <input type="radio"/> 簡単 | <input type="radio"/> 妥当 | <input type="radio"/> 難しい | <input type="radio"/> 非常に難しい |
| 56. 試験時間は適切でした。 | <input type="radio"/> 非常に悪い | <input type="radio"/> 悪い | <input type="radio"/> 適切 | <input type="radio"/> 良い | <input type="radio"/> 非常に良い |

ICT活用とデジタル環境

57. 生徒が、「母語と文学」の授業においていつでもアクセス可能なコンピュータは何台ありますか。

デスクトップ： _____ ラップトップ： _____ タブレット： _____

58. 生徒が、「母語と文学」の授業において必要な時にはアクセス可能なコンピュータは何台ありますか。

デスクトップ： _____ ラップトップ： _____ タブレット： _____

(ここでは、必要な時には、授業に持ってくるのできる生徒自身が所有するPCやPC教室のPCなどを含みます。)

59. 生徒は、どのくらいの頻度で授業においてコンピュータを使用しますか。

1=全くない、2=稀にある、3=時々ある、4=よくある、5=非常にある

60. 次のような電子環境を授業で使いますか。

1=全くない、2=稀にある、3=時々ある、4=よくある、5=非常にある

A. 学習環境 (例えば、Frontier)

1 2 3 4 5

B. ブログ

1 2 3 4 5

C. wiki、Google Docs、Google Drive

1 2 3 4 5

D. Moodle

1 2 3 4 5

E. その他： _____

1 2 3 4 5

61. どのような目的で、どのくらいの生徒が、「母語と文学」の授業でコンピュータを使用していますか。

1=全くない、2=稀にある、3=時々ある、4=よくある、5=非常にある

A. 文章作成

1 2 3 4 5

B. フィードバックとコメント

1 2 3 4 5

C. 情報収集

1 2 3 4 5

D. 宿題

1 2 3 4 5

E. 試験の回答

1 2 3 4 5

F. 映画、あるいはその他の視聴覚作品の制作

1 2 3 4 5

G. ブログ

1 2 3 4 5

H. ブログへのコメント

1 2 3 4 5

I. ショートメッセージ、フォーラム、電子メール

1 2 3 4 5

J. ソーシャル・ネットワーク・サービスの更新 (例えば、Facebook や Instagram)

1 2 3 4 5

K. オンラインジャーナル

1 2 3 4 5

L. その他： _____

1 2 3 4 5

62. 「母語と文学」の授業でICTを使用することに対する意見

1=完全に反対、2=ある程度反対、3=どちらでもない、4=ある程度賛成、5=完全に賛成

- | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|
| A. ICT を使用する授業が好きです。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| B. ICT のサポートで、難しい課題を解決することができます。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| C. ICT の使用は、学習において重要だと思います。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| D. ICT の使用は、退屈です。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| E. ICT を使用した授業は通常、面白いです。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| F. 多くの授業で使用する ICT のアプリケーションは、使うのが難しいです。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| G. 授業で学んだ ICT の知識と技能は、日常生活において必要です。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| H. 課題がコンピュータベースであるならば、目標を達成することは不可能です。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| I. 生徒たちは、今後の学習で ICT スキルを教わる必要があります。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| J. ICT を使用して教えるのは楽しいです。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| K. 授業において ICT を使うことができていると思います。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| L. 生徒たちが授業で学んでいる ICT スキルは、将来仕事で必要とされると信じています。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| M. 授業において ICT を使用することは簡単です。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| N. 授業において ICT を使用することが好きです。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| O. 生徒たちは、現在学校で学んでいる ICT を、将来的には勉強する必要がなくなっています。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |

生徒用質問票（母語調査：2015年度）

言語知識 第7－第9学年

前期中等教育段階（第7－第9学年）の「母語と文学」の授業において、言語知識に関する次の項目について、どのくらいの頻度で扱っていますか。

1 = 全くない、2 = 稀にある、3 = 時々ある、4 = よくある、5 = 非常にある

- | | | | | | |
|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 話し言葉と書き言葉の違い | <input type="radio"/> |
| 2. 文章作成 | <input type="radio"/> |
| 3. 綴りの練習 | <input type="radio"/> |
| 4. 言語の作法 | <input type="radio"/> |
| 5. 言語の多様性（例：場、話者、地域） | <input type="radio"/> |
| 6. 言語の形態、あるいはコミュニケーションの場や、受け手やツールによる表現の選択 | <input type="radio"/> |
| 7. 国内外の言語状況に関する基礎知識 | <input type="radio"/> |
| 8. フィンランド語の基本的特徴 | <input type="radio"/> |
| 9. 言語の変化 | <input type="radio"/> |
| 10. 文法の基本的概念 | <input type="radio"/> |

文章作成 第7－第9学年

前期中等教育段階（第7－第9学年）の「母語と文学」の授業において、文章作成に関する次の項目について、どのくらいの頻度で扱っていますか。

1 = 全くない、2 = 稀にある、3 = 時々ある、4 = よくある、5 = 非常にある

私は：

- | | | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 11. ひとりで文章を書くこと | <input type="radio"/> |
| 12. ペアやグループで文章を書くこと | <input type="radio"/> |
| 13. ワープロ（ワードプロセッシング）で文章を書くこと | <input type="radio"/> |
| 14. 文章を創作したり、それについて他の生徒と議論したりすること | <input type="radio"/> |
| 15. 文章を考えたり、草稿を考えたりすること | <input type="radio"/> |
| 16. どんな言葉や表現が自分の文章にあっていないかを熟考すること | <input type="radio"/> |
| 17. 教員から文章でコメントをもらうこと | <input type="radio"/> |
| 18. 文章を修正したり、改良したりすること | <input type="radio"/> |

- | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|
| 19. 多様なタイプのテキスト、目的の異なるテキストを書くこと（例えば、解説、物語、ニュース、意見文） | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 20. 書くために自分の目標を設定し、それらの実施のために熟考すること | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 21. 他の生徒に文章でフィードバックを行うこと | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 22. 他の生徒から文章でフィードバックをもらうこと | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 23. 文章を印刷したり、公表したりすること（例えば、ブログ、学校新聞、新聞、本など） | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 24. 完成版の文章に、教員からのフィードバックを文章でもらうこと | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 25. 完成版の文章に、教員からのフィードバックを個人的に口頭でもらうこと | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 26. 完成版の文章に、教員からの評点（4－10段階）による評価をもらうこと | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 27. 文章についてのコメントを投稿すること | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 28. レポートや物語を書くこと | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 29. 文章を書く課題において、独自のスタイルで表現することができること | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |

生活における文章作成

日常生活でフィンランド語若しくはその他の言語で書くこと

1=全くない、2=稀に、3=時々、4=しばしば、5=ほとんどいつも

- | | フィンランド語 | | | | | その他の言語（例：英語） | | | | |
|---|---------|----|----|----|----|--------------|----|----|----|----|
| 30. ブログ | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 31. ブログコメント | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 32. フォーラムへの投稿、あるいは電子メール | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 33. ショートメッセージ、携帯電話のインスタントメッセージ | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 34. チャット | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 35. ソーシャル・ネットワーク・サービス（例：Facebook、Instagram） | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 36. オンラインジャーナル | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 37. 詩や歌詞 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 38. 日記 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 39. 本（短編、小説） | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 40. ファンフィクション（二次創作） | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 41. その他： _____ | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |

第7－第9学年の「母語と文学」の学習に対する考え

次の文章は、第7－第9学年の「母語と文学」の学習に関するものです。あなた自身の考えに最も近い選択肢を選んでください。

1＝完全に反対、2＝ある程度反対、3＝どちらともいえない、4＝ある程度賛成、5＝完全に賛成

- | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|---|
| 4 2. 「母語と文学」は簡単な教科だ。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 4 3. 「母語と文学」の知識と技能は今後学習する必要がある。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 4 4. 「母語と文学」でよい成績を取るのとは不可能だ。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 4 5. 「母語と文学」は退屈な教科だ。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 4 6. 「母語と文学」の時間が好きだ。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 4 7. 「母語と文学」は最も好きな教科だ。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 4 8. 「母語と文学」の知識と技能は、日常生活において必要だ。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 4 9. 「母語と文学」は通常楽しい。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 5 0. 現在学んでいる「母語と文学」は、将来ほとんど必要ない。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 5 1. 「母語と文学」の成績は良いと思う。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 5 2. 「母語と文学」の多くのことは難しい。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 5 3. 「母語と文学」の難しい課題に対処できる。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 5 4. 「母語と文学」の知識と技能は将来仕事で必要になると信じている。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 5 5. 「母語と文学」を楽しく勉強している。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 5 6. 「母語と文学」のコンピテンスは重要だと思う。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 5 7. 言語知識の勉強は面白い。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 5 8. 言語力を高めたい。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |

第7－第9学年の「母語と文学」における文章作成の学習に対する考え

1＝完全に反対、2＝ある程度反対、3＝どちらともいえない、4＝ある程度賛成、5＝完全に賛成

- | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|---|
| 5 9. 文章作成の学習が好きだ。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 6 0. 文章作成は得意だと思う。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 6 1. 書こうとすると、頭の中が空っぽになり、考えることができない。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |
| 6 2. 文章力を高めたい。 | <input type="radio"/> | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 |

- | | | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 63. 文章作成の課題は、通常面白いと思っている。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 64. 文章力を高めるのは難しい。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 65. 文章作成の学習が必要だ。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 66. 文章作成に悩まされている。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 67. 友人はよい書き手であると評価してくれる。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 68. 悪い成績（評点）を取ることを恐れている。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 69. 仕事で必要になるので、文章力は私にとって重要なスキルです。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 70. 標準語で書く方法を学ぶことは役に立つと思う。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 71. 通常、良いフィードバックや良い成績（評点）を得ている。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |

第7－第9学年の「母語と文学」におけるICTの活用（例：コンピュータやモバイル機器）

72. 「母語と文学」の学習におけるICT活用は十分であると思いますか。 はい・いいえ
73. 「母語と文学」の学習におけるICT活用は有益であると思いますか。
全くない ごく僅か 少ない ある程度 多い 非常に多い
74. 「母語と文学」の学習においてICTを活用することは好きですか。
全くない ごく僅か 少ない ある程度 多い 非常に多い

生徒用質問票（数学調査：2014年度）

学校名・クラス _____

生徒氏名 _____

1. 性別： 男 女
2. 母語： フィンランド語 スウェーデン語 その他 _____
3. 家で話す言語： フィンランド語 スウェーデン語 その他 _____
4. 両親の学歴：

	母親	父親
基礎学校	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職業学校・職業教育機関	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高等学校（ルキオ）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大学・AMK・高等教育機関	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

5. 基礎学校後の進路
- 第一希望は、数学の上級クラス（ロングシラバス）を履修することのできる高等学校を受験することである。
 - 第一希望は、数学の基礎クラス（ショートシラバス）を履修することのできる高等学校を受験することである。
 - 第一希望は、初期職業教育を受けることである。
 - 高等学校（ルキオ）若しくは初期職業教育に備えて、10年生クラスに申請することである。
 - 就職する、若しくは、ギャップイヤーにする。
6. 直近の成績表での数学の成績は何ですか。 ※フィンランドの評価は4-10の7段階で行われる。
- 4 5 6 7 8 9 10
7. 直近の成績表での母語の成績は何ですか。
- 4 5 6 7 8 9 10
8. 母語（母語と母語文学）の授業で学習している言語は何ですか。
- 母語としてのフィンランド語（第一言語） 第二言語としてのフィンランド語（第二言語）
9. 第8学年と第9学年の間に数学の選択科目を何科目履修しましたか。
- 0 1 2 3 4 5以上

10. 第7学年から第9学年の間にどのくらいの頻度で補習（リメディアル教育）を受けましたか。
全くなし 年に数回程度 月に1回程度 月に複数回程度 週に1回程度
11. 数学の試験勉強にどのくらい時間を費やしていますか。
全くなし 少ない 多い 非常に多い
12. 数学の試験勉強をしている際に、他のことに気を取られることがありますか。
全くなし 少ない 多い 非常に多い
13. 今年、何回欠席しましたか。
ほとんどなし (0-5 日間) ごく僅か (6-11 日間) 少ない (11-20 日間) 多い (20 日以上)
14. 学校までの通学距離はどのくらいですか。
0-1km 1.1-3.0km 3.1-5.0km 5.1-10.0km 10.1-20km 20km 超
15. 学校で上手くやっていますか
とても上手くやっている 比較的上手くやっている あまり上手くやれていない 全く上手くやれていない
16. 第9学年の間にどのくらいの頻度でいじめられましたか。
週に数回程度 週に1回程度 週に1回未満 全くなし
17. 第9学年の数学の時間の学級規模はどのくらいですか。
11人未満 11~15人 16~20人 21~25人 25人超
18. 数学の授業において、学習方法の違い・授業の進度・高校進学希望などに基づいて分けられた学級で学んだことがありますか。
はい いいえ
19. 数学の授業において、教員は生徒が静かになるまで長い間待つ必要がありますか。
全くない 時々 ほとんどの授業 いつも
20. 数学の授業で生徒は教員の話聞いていますか。
全くない 時々 ほとんどの授業 いつも

次の文は、7-9年生の数学の学習に関するものです。このことについて、あなた自身の考えに最も合うものを選んでください。

1=全く同意しない、2=あまり同意しない、3=わからない、4=一部同意する、5=完全に同意する

21. 数学は簡単な教科だ 1 2 3 4 5
22. 将来的な学習において、数学の知識や技能が必要になる。 1 2 3 4 5
23. 数学でよい点数を取るのとは不可能だ。 1 2 3 4 5

- | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|
| 24. 数学は退屈な教科だ。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 25. 数学の授業が好きだ。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 26. 数学の試験が怖い。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 27. 数学は好きな教科のひとつだ。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 28. 数学の知識と技能は日常生活でも必要だ。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 29. 数学で面白い問題（タスク）があるのは普通だ。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 30. 数学で学んだことが将来必要になることはないだろう。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 31. 数学が得意だと思っている。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 32. 数学の問題を説いているときは不安になる。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 33. 数学ではいろいろなことが難しい。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 34. 数学の難しい問題でも、何とかやれる。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 35. 数学の知識と技能は仕事で必要になると思う。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 36. 数学を勉強することが好きだ。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 37. 数学を学ぶことは大事だ。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 38. 数学の学習のためにコンピュータプログラムを使用は、数学の学習において役立つ | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 39. 家庭では、教育が重視されている。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 40. 両親あるいは保護者は、数学が重要な教科だと考えている。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 41. 数学の問題を解く際、頭の中が空っぽになり、考えることができない。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 42. 保護者・両親は学業で成功することが大事だと考えている。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |

第7学年—第9学年の数学の授業の間：

1 = 全くない、2 = 稀に、3 = 時々、4 = しばしば、5 = ほとんどいつも

- | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|
| 43. 教員は授業に関する生徒の考えや希望を考慮してくれる | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 44. ティーム・ティーチングやコティーチングが行われている。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 45. グループ学習やペア学習が行われている。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 46. 学習は、測定や作図、その他の活動を含んでいる。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 47. 生徒はICTを使用している（デジタル学習材、学習ゲーム等）。 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |
| 48. 生徒は数学を学習する手段としてコンピュータプログラムを使用している（Geogebra、Lukimat、Peda など） | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 |

- | | | | | | |
|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 49. 生徒は教室で学習用コンピュータを使用している。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 50. 生徒は情報の授業で学習用コンピュータを使用している。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 51. 生徒は互いに助言し合っている。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 52. 各生徒は、自身にあった難易度の問題を解いている。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 53. プロジェクトワークを実施している。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 54. 数学的スキルを日常生活の場面に応用することができる。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 55. 暗算の練習を行っている。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 56. テストを行っている。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 57. 生徒は他の生徒に解き方を説明している。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 58. 答えが妥当であるか議論することがある。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 59. 生徒は自ら目標を立て、その進捗を評価している。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |
| 60. 決められた通りに、回答した。 | <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 | <input type="radio"/> 5 |

教員が回答

生徒氏名 _____

第9学年の間、生徒は数学の授業について次の支援を受けた： 一般支援 強化支援 特別支援 ※訳者注：これらは特別支援教育の3つのカテゴリー

生徒の数学の学習を支援するために次のようなものを用いた：

IEP（個別学習計画） 学習計画 いずれも使用していない

基礎教育（義務教育）修了時の成績評価基準の8相当に照らした生徒の数学の学力：

※訳者注：成績評価基準は全国教育課程基準に掲載されているものであり、4-10の7段階評価の8相当が望ましい水準とされている。

評点8よりも明らかに上 評点8相当 評点8より下 評点8よりも明らかに下 生徒は数学の授業についてかなりの支援を必要としている。

台湾

児童生徒用質問項目

質問領域	質問内容
属性	性別、家族構成（兄弟）
親の属性と教育期待	両親の状況（出生地、学歴）、子供への学歴期待
課外学習状況	放課後の課外学習（通塾、家庭教師、おけいごごと） 「教科書以外の本（漫画、散文、小説など）は何時間読んでいる」 「家事をどのくらい手伝っている」 「テレビや映画は何時間観ている」 「インターネットゲームを何時間している」 「インターネットを何時間している」 「運動は何時間している」
家庭文化環境	図書数、言語（中国語、台湾語、原住民語に使用）
家庭学習	国語・英語・数学等の学習時間
家庭における人間関係	「家の人と学校のことでは話さず」 「家の人には私に関心がある」 「家の人には読書や宿題に付き合ってくれる」 「家の人へのしつけは厳しい」
学校における人間関係	「私は同級生と一緒に議論しながら学習できる」 「助けてほしいとき、同級生はサポートしてくれる」
教師との人間関係	「私は担任の教師が好き」 「教師はあなたに関心を持っているか」 「教師はあなたをサポートしてくれるか」
きまり遵守	「私は授業中先生のきまりを遵守する」 「私はクラスのきまりを遵守できる」
平常の学習行為の状況	「努力して暗記できるか」 「くりかえし練習できるか」

	<p>「わからない問題に対して解く努力をしているか」</p> <p>「学んだことを日常生活に活かしているか」</p> <p>「一つの科目から学んだことを科目の学習に応用しているか」</p>
アクティブラーニング	<p>「授業中、同級生と小グループで討論しながら問題を解くのが好き」</p> <p>「小グループで討論するとき、同級生の意見を整理できる」</p> <p>「小グループで討論するとき、自分の最高の実力が出せる」</p> <p>「小グループによる学習によりもっと多くが学べる」</p> <p>「授業中、個人学習の方式の方が多くを学べる」</p>
学習観	<p>「どの科目も努力すれば良く学べる」</p> <p>「努力してもムダ」</p>
教科学習関連	<p>「国語（数学、英語）で学んだことを他の教科の学習に応用している」</p> <p>「国語（数学、英語）が好きか？」</p> <p>「国語（数学、英語）はおもしろいか？」</p> <p>「どの文体（記録文、抒情文、論説文、応用文）が好きか？」</p> <p>「自分の国語能力に関してどの領域（音節・意味、修辞文法、文学常識）が高いか？」</p> <p>「通常は自分の国語能力をどのような方法（読書、家庭教育、授業、大衆媒体やネット学習）で伸ばしているか」</p> <p>「私は」</p>

学校調査の質問項目

- 一. 学級編制状況（算数（数学）、英語における能力別学級編制） 略
- 二. 校長の属性 略
- 三. 以下の学校の風土文化に関する記述について、どのように思いますか。
 1. 本校のふんきは温かくて調和がとれている。
①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない
 2. 本校の教職員は学校にアイデンティティを持っている。
①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない
 3. 本校の教職員の仕事の士気は良好である。
①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない
 4. 本校の教職員の学習の士気は良好である。
①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない
- 四. 以下に記述する貴校の教師に関する内容についてあなたはどの程度同意しますか。
 1. それぞれの校内会議において、教師たちはある種の「自分たちならうまくできる」（自己効力感）を持っている。
①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない
 2. 教師たちの人間関係は良好で互いに関心を持っている。
①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない
 3. 教師たちは常に一緒に研究し、教学上の問題を解決している。
①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない
 4. 教師たちは自身の専門職としての能力を高めることに努力している（各種の在職研修や研究に参加するなど）。
①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない
 5. 教師たちは学校の教育課程の目標や要求を十分に理解できる。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

五. 全体的に言って、以下に記述する保護者と貴校の関係の内容についてあなたはどの程度同意しますか。

1. 保護者は積極的に学校が運営する活動に参加している（学級保護者会、親業講座、科学展覧会、音楽会あるいは運動会など）

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

2. 保護者は積極的に学校のボランティアに参加している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

3. 保護者は積極的に学校が進める校務に加わっている。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

4. 保護者は積極的に学級担任の教学活動に協力している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

5. 保護者は積極的に学生の学校の活動表現を理解している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

6. 保護者は積極的に学校の教育課程の進捗と内容を理解している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

六. 以下に記述する学校発展の内容について、あなたはどの程度同意しますか。

1. 本校は特色ある教育課程を発展させる条件を具備している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

2. 本校はすでに特色ある教学あるいは創意性のある教育課程を提供している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

3. 本校は永続性があり環境教育に有効な校園（歩道、生態池など）を整備している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

4. 本校教師は教学の創新を重視している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

5. 本校が学生の校外教学活動を配備している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

6. 本校は積極的に学習のふんいきを醸成している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

7. 本校は学生の各種の異なる優良な表現活動の奨励措置を提供している。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

七. 以下は校長先生ご自身のことについてどのように認識されているかを伺います。

1. 私は学校内の人間関係の処理に困難を感じている。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

2. 学校運営上、私はどこかに専門知能の不足を感じている。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

3. 私は成員に共同合作を要求するが、しかし成員の配合度は理想的な段階にはない。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

4. 私は各種の方式を運用して学生の学習の有効性を高めることができる。

①とても同意する ②同意 ③あまり同意できない ④同意できない

八・学校教学現況 略

九. 学校学習資源 略

十. 学校周辺学習資源 略

十一. 貴校の学校では以下のような学生による問題状況はどうですか。

1. 遅刻 ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい

2. 授業中の居眠り ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい

3. 学習に不熱心 ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい

4. 無断退出・欠席 ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい

5. 教室の秩序を乱す ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい
6. カンニング ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい
7. 公共物の破壊 ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい
8. 窃盗 ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい
9. 喫煙・飲酒・檳榔をかむ ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい
10. ドラッグ ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい
11. 言葉上の暴力 ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい
12. 行為上の暴力 ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい
13. 不良仲間に加わる ①全然厳しくない ②それ程厳しくない ③意見なし ④厳しい ⑤非常に厳しい

十二. 学校教師現況 略

平成28年度『学力調査における質問紙調査研究』

組： _____ 組

性別： 男 ・ 女

小学校第6学年
児童質問紙

お願い

- 1 この調査は、みなさんの学校や家での勉強や生活の様子について尋ねるものです。
- 2 それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの考えに最も近いものを選んで、数字を、直接○で囲んでください。
- 3 回答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。
- 4 回答を始める前に、表紙の右上にある□に、組（クラス）を記入し、自分の性別を○で囲んでください。
- 5 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

1

つぎのことは、あなたにどれくらい^あ当てはまりますか。
当てはまるものを1つずつ^{えら}選んでください。

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(1) 誘惑^{ゆうわく}に負けず、計画的^まに行動^{けいかくてき}できる^{こうどう}・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(2) なにごとも我慢^{がまん}できず、なまけてしまう・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(3) だらけてしまう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(4) 誘惑に負けない・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(5) よくないことと知りつつ、やめられない時がある・・ 1 — 2 — 3 — 4

(6) 他の楽しいことに夢中になり、
やるべきことがそっちのけになることがある・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

2

次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

している	どちらかといえ、している	あまりしていない	まったくしていない
------	--------------	----------	-----------

(7) 家の人（兄弟姉妹は含みません）と

学校での出来事や友人関係について話をしますか・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(8) 家の人（兄弟姉妹は含みません）に放課後や休日

どこで何をしているか話をしますか・・・ 1 — 2 — 3 — 4

3

つぎのことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。
当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(9) おや わたし ほうか ご きゅうじつ
親は私が放課後や休日どこで
なに 何をしてるかを知っている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(10) おや わたし ゆうじんかんけい し
親は私の友人関係を知っている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(11) おや がっこう で きごと き
親は学校での出来事をよく聞いてくる・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(12) います ちいき
今住んでいる地域の人たちに、
ほめられたり、しかられたりしたことがある・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(13) います ちいき
今住んでいる地域の人たちと
あいさつをしたり、はなしをしたりする・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

4

地域^{ちいき}ではあなたは、普段^{ふだん}、以下^{い か}に書かれていることをどのくらい経験^{けいけん}していますか。

している	どちらかといえ、している	あまりしていない	まったくしていない
------	--------------	----------	-----------

(14) 地域^{ちいき}の子どもが参加^{さんか}する、自然体験活動^{しぜんたいけんかつどう}（ハイキングなど）
や季節行事^{きせつぎょうじ}（もちつきなど）に参加^{さんか}する・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(15) 公園^{こうえん}の掃除^{そうじ}や、花^{はな}・木^きを植^うえるなど
地域^{ちいき}をきれいにする活動^{かつどう}に参加^{さんか}する・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(16) 地域^{ちいき}で行^{おこな}う
廃品回収^{はいひんかいしゅう}（リサイクル活動^{かつどう}）やバザー^{てつだ}を手伝^{てつだ}う・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(17) 地域^{ちいき}の伝統技術^{でんとうぎじゆつ}（伝統芸^{でんとうげい}）体験^{たいけん}に参加^{さんか}する・・・ 1 — 2 — 3 — 4

している	どちらかといえは、している	あまりしていない	まったくしていない
------	---------------	----------	-----------

(18) 近所きんじよの人にほめられる・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(19) 近所きんじよに住すんでいる大人おとなと挨拶あいさつしたり、
話はなしをしたりする・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(20) 友だちの家へ行ったとき、
友だちの親おやとも話はなしをする・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

5 次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

している	どちらかといえ ば、している	あまりしていない	まったくしていない
------	-------------------	----------	-----------

(21) あなたは、はきはきとした
気持ちのよい挨拶をしていますか・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(22) あなたは、自分の名前が呼ばれたら、
きちんと返事をしてしていますか・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(23) あなたは、友だちが困っていたら、
何かできることをしていますか・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

している	どちらかといえ ば、している	あまりしていない	まったくしていない
------	-------------------	----------	-----------

(24) あなたは、^{がっきゅう}学級^{はな}の^あみんな^きで話し合^{はな}って決^きめたこと
 について、^{きょうりよく}協^{かつどう}力^きして活^き動^きしていますか・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(25) あなたは、^{わるぐち}友^わだち^ちの悪^{わる}口^{ぐち}を
 言^いわ^わない^ちよう^ちに^ちして^ちいま^ちすか・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(26) あなたは、友^わだち^ちに
 う^うそ^そをつ^つか^かない^ちよう^ちに^ちして^ちいま^ちすか・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

している	どちらかといえ ば、している	あまりしていない	まったくしていない
------	-------------------	----------	-----------

(27) あなたは、友だちが謝あやまったら許ゆるしたり、
 友だちの失敗しっぱいや間違いまちがいに対して文句たいもんくを言わず、
 優しくやさ接せつしたりしてありますか・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(28) あなたは、自分が使つかったものを、
 きちんと後片付けあとかたづしてありますか・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(29) あなたは、自分の身みの回まわりの整せいり理・整せいとん頓を、
 きちんとしてありますか・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

6

あなたは、^{どうとく} ^{じゅぎょう} 道徳の授業についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない
------	---------------	-----------------	--------

(30) ^{どうとく} ^{じゅぎょう} 道徳の授業は、^{じぶん} ^{いま} ^{せいかつ} 自分の今の生活や
^{しょうらい} 将来にとってためになると思う・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(31) ^{どうとく} ^{じゅぎょう} 道徳の授業では、^み 自分を見つめ、^い ^{かた} 自分の生き方について
^{かんが} ^{ふか} 考えを深めることができた・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(32) ^{どうとく} ^{じゅぎょう} 道徳の授業において、^{さまざま} ^{もんだい} ^{かだい} 様々な問題や課題について
^{がっきゅう} ^{かんが} ^{はな} ^あ ^{かつどう} グループや学級で考え話し合う活動に
^{とく} 取り組んでいたと思う・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

7 あなたは^{がっこうせいかつ}学校生活についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選^{えら}んでください。

当てはまる	どちらかといえ、当てはまる	どちらかといえ、当てはまらない	当てはまらない
-------	---------------	-----------------	---------

(33) 私のことをわかってくれている先生がいる・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(34) 自分がわからないことや^{ぎもん}疑問を先生にきくことができる・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(35) 自分がわからないことや^{ぎもん}疑問を友だちにきくことができる・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(36) ^{かだい}課題 (^{もんだい}問題) を^{かいけつ}解決するために、どのように^{がくしゅう}学習していけばよいかわかっている・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(37) ^{じゅぎょう}授業で学習していることに対して『なぜだろう?』『どうしてだろう?』と^{かんが}考えたくなる・・・ 1 — 2 — 3 — 4

8

あなたは、次のことについて、どのように思いますか。当てはまるものを1つずつ
えら
選んでください。

している	どちらかといえ ば、している	あまりして いない	まったくして いない
------	-------------------	--------------	---------------

(38) 授業中に、他^{ほか}によい^{かんが}考えがないかどうか

かんが
考えながら^{がくしゅう}学習している..... 1 — 2 — 3 — 4

(39) 自分^{かんが}の考えをもって

しんけん はな あ さんか
真剣に話し合いに参加している..... 1 — 2 — 3 — 4

(40) 意見^{いけん}を言うときは、理由^{りゆう}も言うようにしている..... 1 — 2 — 3 — 4

(41) 話し^{はな}合い^あのとき、

しゅうい いけん なが
周囲の意見に流^{なが}されることがある..... 1 — 2 — 3 — 4

9 次のことについてどのように思いますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(42) ^{はな あ お}話し合いを終えると自分の^{かんが ひろ}考えが広がったり
^{ふか}深まったりしている..... 1 — 2 — 3 — 4

(43) 先生の^{せつめい}説明を聞く^{じゅぎょう}授業が好きだ..... 1 — 2 — 3 — 4

(44) ^{がっきゅう}学級やグループで、^{はな あ じゅぎょう}話し合う授業が好きだ..... 1 — 2 — 3 — 4

(45) 自分で（自分達で）^{じょうほう あつ}情報を集めて
^{か たい かいけつ じゅぎょう}課題を解決する授業が好きだ..... 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(46) 授業中に、計算問題や漢字練習に
じゅぎょうちゆう けいさんもんだい かんじれんしゅう
なんど とく
 何度も取り組んだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(47) 授業の最後に「わかった」「できた」
じゅぎょう さいご
よく あたま を かん おお
 「よく頭を使った」などと感じることが多い・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(48) 授業で学習したことを
じゅぎょう がくしゅう
ともたち はな
 友達や家の人によく話す・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(49) 授業でわからなかったことや
じゅぎょう
ふしぎ
 不思議に思ったことを自分で調べることがある・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(50) 自分ひとりでも勉強ができるようになりたい・・・ 1 — 2 — 3 — 4

10 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(5 1) ひとりぼっちのような気がする・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(5 2) いつも、何をしてもしも楽しい・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(5 3) 失敗しないかといつも心配している・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(5 4) 自分の知らないことに興味を持つ・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(55) まわりに親切な人が多い・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(56) 自分のことを好ましく感じる・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(57) 自分にはいろいろな良い素質があると思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(58) できそうにないことでも、考えることがある・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(59) 活動的で、何についても前向きである・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

1 1 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(6 0) 学級みんなで協力して、
 なにかをやり遂げたことがある・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(6 1) 話し合いのときにみんなの意見を
 1つにまとめることができる・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(6 2) 人が困っているときには、
 協力することができる・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

12

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

(63) 授業で習ったことを深く理解するために、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(64) きめられた仕事は責任を持ってやりとおす

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 まったくしていない

(65) 会や集まりの時、人より進んで働く

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 まったくしていない

(66) 自分で計画を立てて勉強をしている

- 1 している
- 2 どちらかといえば, している
- 3 あまりしていない
- 4 ^{まった}全くしていない

(67) 自分で立てた計画通りに進まないとき, 計画を見直した

- 1 している
- 2 どちらかといえば, している
- 3 あまりしていない
- 4 ^{まった}全くしていない

13 次のことについて、当てはまるものを1つずつ^{えら}選んでください。

(68) ^{ふだん}普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、^{けいたいしき}携帯式のゲーム、^{けいたいでんわ}携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます)をしますか

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 ^{まった}全くしない

(69) 学校の^{じゅぎょう}授業時間以外に、^{いがい}普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(^{がくしゅうじゅく}学習塾で勉強している時間や^{じかん}家庭教師の先生に^{おそ}教わっている時間も^{ふく}含みます)

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 ^{まった}全くしない

(70) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（がくしゅうじゅく学習塾で勉強している時間や家庭教師かていきょうしの先生おそに教わっている時間ふくも含まれます）

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上，4時間より少ない
- 3 2時間以上，3時間より少ない
- 4 1時間以上，2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 まった全くしない

(71) 学校の宿題しゅくだいをしている

- 1 している
- 2 どちらかといえば，している
- 3 あまりしていない
- 4 まった全くしていない

14

あなたは、次のことについて、どのように思いますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(72) 授業では、自分の考えかんがを発表はつひょうする機会きかいが与あたえられていたと思う・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

15 あなたは国語についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(73) 国語の授業の内容はよく分かる・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(74) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(75) 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる・・ 1 — 2 — 3 — 4

(76) 国語のテストで、解答を文章で書く問題に対してどのように解答していますか

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力している
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりすることがある
- 3 書く問題は全く解答していない

16

あなたは算数についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(77) 算数の勉強は好きだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(78) 算数の授業の内容はよく分かる・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(79) 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、
それを解いてみたい・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4



(80) 算数の問題の解き方が分からないときは、
諦めずにいろいろな方法を考える・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(81) 算数の授業で公式やきまりを習うとき、
そのわけ〔根拠〕を理解するようにしている・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(82) 算数のテストで、言葉や数、式を使って、わけ〔根拠〕や求め方などを書く問題について、どのように解答していますか

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力している
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりすることがある
- 3 書く問題は全く解答していない

17

あなたは理科についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(83) 理科の勉強は好きだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(84) 理科の授業の内容はよくわかる・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(85) 理科の授業で、観察や実験の結果から、
どのようなことが分かったのか考えている・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば, 当てはまる	どちらかといえ ば, 当てはまらない	当てはまらない
-------	---------------------	-----------------------	---------

(86) 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が
間違っていないかを振り返って考えている……

1 — 2 — 3 — 4

(87) 理科のテストの問題で、解答を文章などで書く問題について、どのように解答
していますか

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力している
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりすることがある
- 3 書く問題は全く解答していない

質問は以上になります。

平成28年度『学力調査における質問紙調査研究』

組： _____ 組

性別： 男 ・ 女

中学校第3学年
生徒質問紙

お願い

- 1 この調査は、みなさんの学校や家での勉強や生活の様子について尋ねるものです。
- 2 それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの考えに最も近いものを選んで、数字を、直接○で囲んでください。
- 3 回答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。
- 4 回答を始める前に、表紙の右上にある□に、組（クラス）を記入し、自分の性別を○で囲んでください。
- 5 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

1

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。
当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(1) 誘惑に負けず、計画的に行動できる・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(2) なにごとも我慢できず、なまけてしまう・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(3) だらけてしまう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(4) 誘惑ゆうわくに負けないま・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(5) よくないことと知りつつ、やめられない時がある・・ 1 — 2 — 3 — 4

(6) 他の楽しいことに夢中むちゅうになり、
やるべきことがそっちのけになることがある・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

2

次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

している	どちらかといえは、している	あまりしていない	まったくしていない
------	---------------	----------	-----------

(7) 家の人（兄弟姉妹は含みません）と

学校での出来事^{できごと}や友人関係について話をしますか・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(8) 家の人（兄弟姉妹は含みません）に放課後^{ほうかご}や休日

どこで何をしているか話をしますか・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

3

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。
当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(9) 親は私が^{ほうかご}放課後や休日どこで
何をしてるかを知っている・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(10) 親は私の友人関係を知っている・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(11) 親は学校での^{できごと}出来事をよく聞いてくる・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(12) 今^{います}住んでいる^{ちいき}地域の人たちに、
ほめられたり、しかられたりしたことがある・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(13) 今^{います}住んでいる^{ちいき}地域の人たちと
あいさつをしたり、はなしをしたりする・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

4

地域^{ちいき}ではあなたは、普段^{ふだん}、以下に書かれていることをどのくらい経験^{けいけん}していますか。

している	どちらかといえ、している	あまりしていない	まったくしていない
------	--------------	----------	-----------

- (14) 地域^{ちいき}の子どもが参加^{さんか}する、自然体験活動^{しぜんたいけんかつどう}（ハイキングなど）
 や季節行事^{きせつぎょうじ}（もちつきなど）に参加^{さんか}する・・・ 1 — 2 — 3 — 4
- (15) 公園^{こうえん}の掃除^{そうじ}や、花・木を植えるなど
 地域^{ちいき}をきれいにする活動^{かつどう}に参加^{さんか}する・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4
- (16) 地域^{ちいき}で行う
 廃品回収^{はいひんかいしゅう}（リサイクル活動^{かつどう}）やバザーを手伝う^{てつだ}・・・ 1 — 2 — 3 — 4
- (17) 地域^{ちいき}の伝統技術^{でんとうぎじゆつ}（伝統芸^{でんとうげい}）体験^{たいけん}に参加^{さんか}する・・・ 1 — 2 — 3 — 4

している	どちらかといえ ば、している	あまりして いない	まったくして いない
------	-------------------	--------------	---------------

(18) 近所きんじよの人にほめられる・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(19) 近所きんじよに住すんでいる大人と挨拶あいさつしたり、
話をしたりする・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(20) 友だちの家へ行ったとき、
友だちの親とも話をする・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

5

次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

している	どちらかといえ、している	あまりしていない	まったくしていない
------	--------------	----------	-----------

(21) あなたは、はきはきとした

気持ちのよい挨拶あいさつをしていますか・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(22) あなたは、自分の名前なまえが呼ばれたら、

きちんと返事へんじをしていますか・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(23) あなたは、友だちが困こまっていたら、

何かできることをしていますか・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

している	どちらかといえ ば、している	あまりしていない	まったくしていない
------	-------------------	----------	-----------

(24) あなたは、学級のみinnで話し合って決めたこと
 について、^{きょうりよく}協^{かつどう}力して活動していますか・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(25) あなたは、友だちの悪口を
 言わないようにしていますか・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(26) あなたは、友だちに
 うそをつかないようにしていますか・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

している	どちらかといえ、している	あまりしていない	まったくしていない
------	--------------	----------	-----------

(27) あなたは、友だちが謝あやまったら許ゆるしたり、
 友だちの失敗しっぱいや間違いまちがいに対して文句たいもんくを言わず、
 優しくやさ接せつしたりしていますか・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(28) あなたは、自分が使つかったものを、
 きちんと後片付けあとかたづしていますか・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(29) あなたは、自分の身の回りの整理せいり・整頓せいとんを、
 きちんとしていますか・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

6 あなたは、^{どうとく}道徳の授業についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 思わない	そう 思わない
------	-------------------	-------------------	------------

(30) ^{どうとく}道徳の授業は、自分の^{いま}今の生活や
^{しょうらい}将来にとってためになると思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(31) ^{どうとく}道徳の授業では、自分を見つめ、
人間としての生き方について考えを
深めることができた・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(32) ^{どうとく}道徳の授業において、^{さまざま}様々な^{もんだい}問題や^{かだい}課題について
グループや学級で^{ぎろん}考え議論する活動に
取り組んでいたと思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

7 あなたは学校生活についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(33) 私のことをわかってくれている先生がいる・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(34) 自分がわからないことや疑問^{ぎもん}を先生にきくことができる・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(35) 自分がわからないことや疑問^{ぎもん}を友だちにきくことができる・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(36) 課題^{かだい}（問題^{もんだい}）を解決^{かいけつ}するために、どのように学習していけばよいかわかっている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(37) 授業で学習していることに対して『なぜだろう？』『どうしてだろう？』と考えたくなる・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

8 あなたは、次のことについて、どのように思いますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

している	どちらかといえは、している	あまりしていない	まったくしていない
------	---------------	----------	-----------

(38) 授業中に、他によい考えがないかどうか
考えながら学習している・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(39) 自分の考えをもって
真剣しんけんに話し合いさんかに参加さんかしている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(40) 意見いけんを言うときは、理由りゆうも言うようにしている・・ 1 — 2 — 3 — 4

(41) 話し合いのとき、
周囲しゅういの意見いけんに流ながされることがある・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

9 次のことについてどのように思いますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(42) 話し合いを終え^おると自分の考えが^{ひろ}広がったり
深^{ふか}まったりしている・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(43) 先生の説明^{せつめい}を聞く授業が好きだ・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(44) 学級やグループで、話し合う授業が好きだ・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(45) 自分で（自分達で）情報^{じょうほう}を^{あつ}集めて
課題^{かだい}を解決^{かいけつ}する授業が好きだ・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(46) 授業中に、^{けいさんもんだい}計算問題や^{かんじれんしゅう}漢字練習に
 何度も取り組んだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(47) 授業の^{さいご}最後に「わかった」「できた」
 「よく頭を使った」などと感じることが多い・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(48) 授業で学習したことを
 友だちや家の人によく話す・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(49) 授業でわからなかったことや
^{ふしぎ}不思議に思ったことを自分で^{しら}調べることがある・・ 1 — 2 — 3 — 4

(50) 自分ひとりでも勉強ができるようになりたい・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

10

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(5 1) ひとりぼっちのような気がする・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(5 2) いつも、何をしても楽しい・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(5 3) 失敗しないかといつも心配している・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(5 4) 自分の知らないことに興味を持つ・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(55) まわりに親切な人が多い・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(56) 自分のことを好ましく感じる・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(57) 自分にはいろいろな良い素質があると思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(58) できそうにないことでも、考えることがある・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(59) 活動的で、何についても前向きである・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

11

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(60) 学級みんなで協力して、
 なにかをやり遂げたことがある・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(61) 話し合いのときにみんなの意見を
 1つにまとめることができる・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(62) 人が困っているときには、
 協力することができる・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

12

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

(63) 授業で習ったことを深く理解^{りかい}するために、自ら^{みずか}考え、自分から取り組んでいたと思う

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(64) きめられた仕事^{しごと}は責任^{せきにん}を持ってやりとおす

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(65) 会や集まりの時、人より進^{すす}んで働^{はたら}く

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(66) 自分で計画を立てて勉強をしている

- 1 している
- 2 どちらかといえば, している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(67) 自分で立てた計画通りに進まないとき, 計画を見直した

- 1 している
- 2 どちらかといえば, している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

13 次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

(68) 普段^{ふだん} (月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム (コンピュータゲーム, 携帯^{けいたいしき}式のゲーム, 携帯^{けいたいでんわ}電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます) をしますか

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上, 4時間より少ない
- 3 2時間以上, 3時間より少ない
- 4 1時間以上, 2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしない

(69) 学校の授業時間以外に, 普段^{ふだん} (月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 勉強^{がくしゅうじゅく}をしますか (学習塾^{がくしゅうじゅく}で勉強している時間や家庭教師^{かていきょうし}の先生^{おそ}に教わっている時間^{ふく}も含みます)

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上, 4時間より少ない
- 3 2時間以上, 3時間より少ない
- 4 1時間以上, 2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしない

(70) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（がくしゅうじゅく学習塾で勉強している時間や家庭教師かていきょうしの先生おそに教わっている時間ふくも含まれます）

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上，4時間より少ない
- 3 2時間以上，3時間より少ない
- 4 1時間以上，2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしない

(71) 学校の宿題をしている

- 1 している
- 2 どちらかといえば，している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

14 あなたは、次のことについて、どのように思いますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

(72) 授業では、自分の考えを発表する機会きかいが
あた与えられていたと思う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

当てはまる	どちらかとい えば、当て はまる	どちらかとい えば、当て はまらない	当てはま らない
-------	------------------------	--------------------------	-------------

1 — 2 — 3 — 4

15

あなたは国語についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(73) 国語の授業の内容はよく分かる・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(74) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(75) 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいる・・ 1 — 2 — 3 — 4

(76) 国語のテストで、解答を文章で書く問題に対してどのように解答していますか。

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力している
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりすることがある
- 3 書く問題は全く解答していない

16

あなたは数学についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(77) 数学の勉強は好きだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(78) 数学の授業の内容はよく分かるないよう・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(79) 数学の授業で新しい問題もんだいに出合ったとき、
それを解といてみたい・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(80) 数学の問題の解き方が分からないときは、
諦めずにいろいろな方法を考える・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(81) 数学の授業で公式やきまりを習うとき、
そのわけ〔根拠〕を理解するようにしている・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(82) 数学のテストで、言葉や数、式を使って、わけ〔根拠〕や求め方などを書く問題について、どのように解答していますか

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力している
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりすることがある
- 3 書く問題は全く解答していない

17

あなたは理科についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(83) 理科の勉強は好きだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(84) 理科の授業の内容はよくわかるないよう・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(85) 理科の授業で、
観察かんさつや実験じっけんの結果けっかをもとに考察こうさつしている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(86) 理科の授業で、^{かんさつ}観察や^{じっけん}実験の^{すす}進め方や^{かた}考え方が
^{まちが}間違っていないかを^か振り返って^{かえ}考えている・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(87) 理科のテストの^{もんだい}問題で、^{かいとう}解答を^{ぶんしょう}文章などで書く^{もんだい}問題について、どのように^{かいとう}解答
 していますか

- 1 全ての書く^{もんだい}問題で^{さいご}最後まで^{かいとう}解答を書く^{どりよく}と努力している
- 2 書く^{もんだい}問題で^{かいとう}解答しなかったり、^{かいとう}解答を書く^{とちゅう}ことを^{あきら}途中で諦めたりすることがある
- 3 書く^{もんだい}問題は^{かいとう}全く解答していない

質問は以上になります。

平成28年度『学力調査における質問紙調査研究』

組： _____ 組

性別： 男 ・ 女

小学校第6学年
児童質問紙

お願い

- 1 この調査は、みなさんの学校や家での勉強や生活の様子について尋ねるものです。
- 2 それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの考えに最も近いものを選んで、数字を、直接○で囲んでください。
- 3 回答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。
- 4 回答を始める前に、表紙の右上にある□に、組（クラス）を記入し、自分の性別を○で囲んでください。
- 5 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

1

あなたは国語についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(1) 国語の授業の内容はよく分かる・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(2) これから先、国語が得意である、得意になるという自信がありますか？・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(3) 国語ができるようになりたい・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(4) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(5) これから先、国語の授業内容を理解できる
 という自信がありますか？・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(6) 国語の勉強はおもしろい・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(7) これから先、国語でよい成績をとる
 自信がありますか？・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(8) 国語は自分から進んで勉強する価値がある・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(9) 国語ができるとかっこよくみられると思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(10) 国語を勉強するとき、
教科書は暗記するくらい繰り返し読み返す…… 1 — 2 — 3 — 4

(11) 国語の勉強を自分のよく知っていることや
興味のあることと関係づけて勉強する…… 1 — 2 — 3 — 4

(12) 国語を勉強するとき、意味の分からない言葉が
でてきても、まず暗記をする…… 1 — 2 — 3 — 4

(13) 国語の勉強内容で面白そうな部分を探してみる…… 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(14) 国語のテストで^{こうとくてん}高得点をとるために勉強する・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(15) 国語の^{じゅぎょう}授業で^{ぶんしょう}文章を読むとき、^{だんらく}段落や^{はなし}話の
ま^{ないよう}とまりごと^りに^{かい}内容を^り理解しながら^り読んでいる・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(16) 国語の勉強をしないと
いい点^{いい}がとれない^{とれない}と思って勉強する・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(17) 国語のテストで、^{かいとう}解答を^{ぶんしょう}文章で^{もんだい}書く^{たい}問題^{かいとう}に対してどのように解答していますか。

- 1 全ての書く^{もんだい}問題^{さいご}で最後まで^{かいとう}解答^{どりよく}を書こうと努力している
- 2 書く^{もんだい}問題^{かいとう}で解答しなかったり、^{かいとう}解答^{とちゅう}を書くことを^{あきら}途中で諦めたりすることがある
- 3 書く^{もんだい}問題は^{まった}全く^{かいとう}解答していない

2 あなたは算数についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(18) 算数の勉強は好きだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(19) 算数の授業の内容はよく分かる・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(20) 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、
それを解いてみたい・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(21) 算数の問題の解き方が分からないときは、
諦めずにいろいろな方法を考える・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかとい えば、当て はまる	どちらかとい えば、当て はまらない	当てはま らない
-------	------------------------	--------------------------	-------------

(22) これから先、算数が得意である、
得意になるという自信がありますか？・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(23) 算数の授業で公式やきまりを習うとき、
そのわけ〔根拠〕を理解するようにしている・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(24) 算数の勉強はおもしろい・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(25) これから先、算数でよい成績をとる
自信がありますか？・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(26) 算数は自分から進んで勉強する価値がある・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかとい えば、当て はまる	どちらかとい えば、当て はまらない	当てはま らない
-------	------------------------	--------------------------	-------------

(27) これから先、算数の授業内容を
理解できるという自信がありますか？・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(28) 算数ができるとかっこよくみられると思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(29) 算数を勉強するとき、何度も同じ問題を解く・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(30) 算数の勉強を自分のよく知っていることや
興味のあることと関係づけて勉強する・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(31) 算数を勉強するとき、分からない問題は
何度も繰り返して解けるようにする・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(32) 算数の勉強内容で面白そうな部分を探してみる・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(33) 算数のテストで高得点をとるために勉強する・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(34) 算数の勉強をしないといい点
とれないと思って勉強する・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(35) 算数のテストで、言葉や数、式を使って、わけ〔根拠〕や求め方などを書く問題について、どのように解答していますか

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力している
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりすることがある
- 3 書く問題は全く解答していない

3 あなたは理科についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(36) 理科の勉強は好きだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(37) 理科の授業の内容はよくわかる・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(38) 理科の授業で、観察や実験の結果から、
どのようなことが分かったのか考えている・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(39) 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が
間違っていないかを振り返って考えている・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(40) 理科のテストの問題で、解答を文章などで書く問題について、どのように解答していますか。

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力している
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりすることがある
- 3 書く問題は全く解答していない

4

あなたは小学校の勉強についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(4 1) 勉強をするとなりたいたい自分に近づける・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(4 2) この先さらに勉強していくために、
今、勉強することは重要だ・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(4 3) 勉強は面白い・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(4 4) 勉強のことを考えると楽しい気分になる・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(45) 勉強をすることは、^{しょうらい}将来、^{しごと}仕事の^{やく}役に^た立つと思う 1 — 2 — 3 — 4

(46) 勉強には^{きょうみ}興味がわく・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(47) 勉強ができると、人よりも^{すぐ}優れていると^{かん}感じる・・ 1 — 2 — 3 — 4

(48) 勉強ができないのはかっこわるいと思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(49) 勉強のことを^{かんが}考えると、わくわくすることがある 1 — 2 — 3 — 4

(50) 勉強をすると自分がもっと^{せいちょう}成長できると思う・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(51) 勉強することは^{しょうらい}将来のためになる・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(52) 勉強ができて、^{じまん}自慢にならないと思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(53) 勉強ができるとかっこいいと思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(54) 勉強の内容は生活に活かせると思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(55) 勉強することは、自分にとって重要だ・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(56) 勉強は、自分で進んでする価値がある・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

5 次のことについてどのように思いますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(57) 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(58) これから学校で学ぶ内容は楽しそうだ・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(59) これから学校で学ぶ内容は面白そうだ・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(60) これから学校で学ぶ内容は興味をもてそうだ・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(6 1) 学校の先生は、わたしたちが勉強することを
いちばん かんが
 一番に考えてくれそうだ・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(6 2) 学校の先生は、
 わたしたちのたち ば おし
 立場にたって教えてくれそうだ・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(6 3) 学校の先生は、わたしたちが
 わかるようになることをおうえん
 応援してくれそうだ・・・ 1 — 2 — 3 — 4

7 次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

(64) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます)をしますか

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしない

(65) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます)

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしない

(66) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾がくしゅうじゅくで勉強べんきょうしている時間や家庭教師かていきょうしの先生おそに教わっている時間ふくも含まれます)

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 まった全くしない

(67) 学校の宿題しゅくだいをしている

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 まった全くしていない

8

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(68) 地域や社会で起きている問題について知りたい・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(69) ニュースを見たり聞いたりして、
不思議に思うことがある・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(70) 見たり聞いたりしたニュースについて、
親や先生に質問することがある・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(71) 少々反対されても、
自分が正しいと思う考えを主張できる・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(72) 少し難しそうなことにチャレンジしたことがある 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(73) 何にでも積極的に参加する・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(74) 何かするとき，“ほかに方法はないかな”と
考えるのが好きだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(75) 失敗しても、めげずにがんばったことがある・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(76) 自分の周りの出来事や世の中にとっても興味がある 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(77) 将来しょうらいの自分おのれを想像そうぞうするとわくわくする・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(78) 将来しょうらい、何なにをしたいか具体的ぐたいてきに考かんがえている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(79) なりたい自分おのれを目標めざして、努力どりょくしている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

9

次の内容を、あなたはどれくらいできると思いますか。当てはまる数字を1つ選んでください。

よくできる	できる	ややできない	できない
-------	-----	--------	------

(80) 今自分で決めたことが
 将来の自分につながると考えること..... 1 — 2 — 3 — 4

(81) 自分自身で物事を決めていくこと..... 1 — 2 — 3 — 4

(82) 将来に向けて気持ちの準備をすること..... 1 — 2 — 3 — 4

(83) 前向きでいること..... 1 — 2 — 3 — 4

よくできる	できる	やや できない	できない
-------	-----	------------	------

(84) 自分がなりたい職業しよくぎょう きょうみに興味をもつこと..... 1 — 2 — 3 — 4

(85) 物事ものごとを自分の力ちからで進めていくこと..... 1 — 2 — 3 — 4

(86) 自分の将来しょうらいがどうなるかを考えることかんが..... 1 — 2 — 3 — 4

(87) 自分がこの先さきどうなりたいかを自分で選ぶことえら..... 1 — 2 — 3 — 4

質問しつもんは以上いじょうになります。

平成28年度『学力調査における質問紙調査研究』

組： _____ 組

性別： 男 ・ 女

中学校第3学年 生徒質問紙

お願い

- 1 この調査は、みなさんの学校や家での勉強や生活の様子について尋ねるものです。
- 2 それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの考えに最も近いものを選んで、数字を、直接○で囲んでください。
- 3 回答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。
- 4 回答を始める前に、表紙の右上にある□に、組（クラス）を記入し、自分の性別を○で囲んでください。
- 5 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

1

あなたは国語についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(1) 国語の授業の内容はよく分かる・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(2) これから先、国語が得意である、
得意になるという自信がありますか？・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(3) 国語ができるようになりたい・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(4) 国語の授業で自分の考えを書くとき、
考えの理由が分かるように気を付けて書いている・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(5) これから先、国語の授業内容を理解できる
 という自信がありますか？・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(6) 国語の勉強は面白い・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(7) これから先、国語でよい成績をとる
 自信がありますか？・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(8) 国語は自分から進んで勉強する価値がある・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(9) 国語ができるとかっこよくみられると思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば, 当てはまる	どちらかといえ ば, 当てはまらない	当てはまらない
-------	---------------------	-----------------------	---------

(10) 国語を勉強するとき、
教科書は暗記するくらい繰り返し読み…… 1 — 2 — 3 — 4

(11) 国語の勉強を自分のよく知っていることや
興味のあることと関係づけて勉強する…… 1 — 2 — 3 — 4

(12) 国語を勉強するとき、意味の分からない言葉が
でてきても、まず暗記をする…… 1 — 2 — 3 — 4

(13) 国語の勉強内容で面白そうな部分を探してみる…… 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(14) 国語のテストで^{こうとくてん}高得点をとるために勉強する・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(15) 国語の授業で^{ぶんしょう}文章を読むとき、^{だんらく}段落や話の
ま^{ないよう}とまりごとに^{りかい}内容を理解しながら^{てん}読んでいる・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(16) 国語の勉強をしないと
いい^{てん}点^{てん}がとれないと思^{てん}って勉強する・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(17) 国語のテストで、^{かいとう}解答を^{ぶんしょう}文章で^{もんだい}書く^{たい}問題に対してどのように^{かいとう}解答していますか。

- 1 全ての^{もんだい}書く^{さいご}問題で^{かいとう}最後まで^{どりよく}解答を書こうと努力している
- 2 ^{もんだい}書く^{かいとう}問題で^{かいとう}解答しなかったり、^{とちゅう}解答を書くことを^{あきら}途中で諦めたりすることがある
- 3 ^{もんだい}書く^{かいとう}問題は全く解答していない

2

あなたは数学についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(18) 数学の勉強は好きだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(19) 数学の授業の内容はよく分かるないよう・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(20) 数学の授業で新あたしい問題もんだいに出合であったとき、
それを解といてみたい・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(21) 数学の問題もんだいの解とき方かたが分からないときは、
諦あきらめずとにいろいろな方法ほうほうを考える・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(22) これから先、数学が得意である、
得意になるという自信がありますか？ 1 — 2 — 3 — 4

(23) 数学の授業で公式やきまりを習うとき、
そのわけ〔根拠〕を理解するようにしている 1 — 2 — 3 — 4

(24) 数学の勉強はおもしろい 1 — 2 — 3 — 4

(25) これから先、数学でよい成績をとる
自信がありますか？ 1 — 2 — 3 — 4

(26) 数学は自分から進んで勉強する価値がある 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(27) これから先、数学の授業内容を理解できるという自信がありますか？ 1 — 2 — 3 — 4

(28) 数学ができるとかっこよくみられると思う 1 — 2 — 3 — 4

(29) 数学を勉強するとき、何度も同じ問題を解く 1 — 2 — 3 — 4

(30) 数学の勉強を自分のよく知っていることや興味のあることと関係づけて勉強する 1 — 2 — 3 — 4

(31) 数学を勉強するとき、分からない問題は何度も繰り返して解けるようにする 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(32) 数学の勉強内容で面白そうな部分を探してみる・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(33) 数学のテストで高得点をとるために勉強する・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(34) 数学の勉強をしないといい点
とれないと思って勉強する・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(35) 数学のテストで、言葉や数、式を使って、わけ〔根拠〕や求め方などを書く問題について、どのように解答していますか

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力している
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりすることがある
- 3 書く問題は全く解答していない

3

あなたは理科についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(36) 理科の勉強は好きだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(37) 理科の授業の内容はよくわかる・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(38) 理科の授業で、
観察や実験の結果をもとに考察している・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(39) 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が
間違っていないかを振り返って考えている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(40) 理科のテストの問題で、解答を文章などで書く問題について、どのように解答していますか

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力している
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりすることがある
- 3 書く問題は全く解答していない

4

あなたは中学校の勉強についてどのように思っていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(4 1) 勉強をするとなりたい自分に近づける・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(4 2) この先さらに勉強していくために、
今、勉強することは重要だ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(4 3) 勉強は面白い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(4 4) 勉強のことを考えると楽しい気分になる・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(45) 勉強をすることは、^{しょうらい}将来、^{しごと}仕事の役に立つと思う 1 — 2 — 3 — 4

(46) 勉強には^{きょうみ}興味がわく・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(47) 勉強ができると、人よりも^{すぐ}優れていると感じる・・ 1 — 2 — 3 — 4

(48) 勉強ができないのはかっこわるいと思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(49) 勉強のことを考えると、わくわくすることがある・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(50) 勉強をすると自分がもっと成長せいちょうできると思う・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(51) 勉強することは将来しょうらいのためになる・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(52) 勉強ができて、自慢じまんにならないと思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(53) 勉強ができるとかっこいいと思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(54) 勉強の内容は生活に活かせると思う・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(55) 勉強することは、自分にとって重要だ・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(56) 勉強は、自分で進んでする価値がある・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

5 次のことについてどのように思いますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(57) 授業では、自分の考えを^{はっぴょう}発表する
機会が^{きかい}与^{あた}えられていたと思う・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(58) これから学校で^{まな}学^{ないよう}ぶ内容は楽しそうだ・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(59) これから学校で^{まな}学^{ないよう}ぶ内容は^{おもしろ}面白そうだ・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(60) これから学校で^{まな}学^{ないよう}ぶ内容は^{きょうみ}興味^もてそうだ・・・ 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(6 1) 学校の先生は、わたしたちが勉強することを一番に考えてくれそうだ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(6 2) 学校の先生は、わたしたちの^{たち}立場にたって教えてくれそうだ・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(6 3) 学校の先生は、わたしたちがわかるようになることを^{おうえん}応援してくれそうだ・・・ 1 — 2 — 3 — 4

7

次のことについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

(64) 普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます)をしますか

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上, 4時間より少ない
- 3 2時間以上, 3時間より少ない
- 4 1時間以上, 2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしない

(65) 学校の授業時間以外に, 普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます)

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上, 4時間より少ない
- 3 2時間以上, 3時間より少ない
- 4 1時間以上, 2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしない

(66) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾^{がくしゅうじゅく}で勉強している時間や家庭教師^{かていきょうし}の先生^{おそ}に教わっている時間^{ふく}も含みます)

- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 1時間より少ない
- 6 全くしない

(67) 学校の宿題をしている

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

8

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(68) 地域^{ちいき}や社会^おで起こっている問題^{もんだい}について知りたい・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(69) ニュースを見たり聞いたりして、
不思議^{ふしぎ}に思うことがある・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(70) 見たり聞いたりしたニュースについて、
親や先生に質問することがある・・・・・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(71) 少々^{しょうしょうはんたい}反対されても、
自分が正しいと思う考えを主張^{しゅちよう}できる・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(72) 少し^{むずか}難しそうなことにチャレンジしたことがある 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(73) 何にでも積極的せつきよくてきに参加さんかする・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(74) 何かするとき，“ほかに方法ほうほうはないかな”と
考えるのが好きだ・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(75) 失敗しっばいしても，めげずにがんばったことがある・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(76) 自分の周まわりの出来事できごとや世よの中なかにととても興味きょうみがある 1 — 2 — 3 — 4

当てはまる	どちらかといえは、当てはまる	どちらかといえは、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(77) 将来しょうらいの自分おのれを想像そうぞうするとわくわくする・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(78) 将来しょうらい、何をしたいかぐたいてき具体的に考えている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

(79) なりたい自分おのれを目標めざして、努力どりょくしている・・・・・・・・ 1 — 2 — 3 — 4

9

次の内容を、あなたはどれくらいできると思いますか。当てはまる数字を1つ選んでください。

よくできる	できる	ややできない	できない
-------	-----	--------	------

(80) ^{いま}今自分で決めたことが
^{しょうらい}将来の自分につながると ^{かんが}考えること..... 1 — 2 — 3 — 4

(81) ^{じぶんじしん}自分自身で ^{ものごと}物事を ^き決めていくこと..... 1 — 2 — 3 — 4

(82) ^{しょうらい}将来に向けて ^{じゅんび}気持ちの準備をすること..... 1 — 2 — 3 — 4

(83) 前向きでいること..... 1 — 2 — 3 — 4

よくできる	できる	やや できない	できない
-------	-----	------------	------

(84) 自分がなりたい職業しよくぎょう きょうみに興味をもつこと..... 1 — 2 — 3 — 4

(85) 物事ものごとを自分の力で進めていくこと..... 1 — 2 — 3 — 4

(86) 自分の将来しょうらいがどうなるかを考えること..... 1 — 2 — 3 — 4

(87) 自分がこの先さきどうなりたいかを自分で選ぶこと.. 1 — 2 — 3 — 4

質問は以上になります。

<第 1 部>

小学校

学校質問紙①

第 1 部：学校の概要 問 1～16

説明とお願い

- 1 この調査研究は、「全国学力・学習状況調査」における学校調査質問紙の改善を目的としています。
- 2 回答者の個人情報取得しません。学校番号を含め、データはすべて匿名で統計的に処理します。回答者や学校の個別情報が文部科学省や教育委員会へ報告されたり公開されたりすることは決してありません。
- 3 質問紙は全部で 3 冊あり、それぞれ回答者が異なります。
この冊子は、校長先生（または管理職の先生）がお答えください。
※必要に応じ、校内関係者と適宜ご協議願います。
- 4 それぞれの質問について、この冊子の回答欄に直接○印をつけたり数値を書き込んだりして回答してください。
- 5 回答が終わったら、この質問紙を「質問紙用封筒」に封入してください。学校で 3 冊まとめて、「返信用封筒」にて発送してください。

(1 月 10 日まで)

第1部 学校の概要：校長先生（または管理職の先生）がお答えください。

※必要に応じ、校内関係者と適宜ご協議願います。

問01 校長先生ご自身は、この学校での校長としての勤務は何年目ですか。
あてはまる選択肢の数字にひとつ、○をつけてください。

1：1年目（今年度から） 2：2年目 3：3年目 4：4年目以上

問02 調査対象日現在、常勤の教員のうち、**経験1年未満の教員、常勤講師**は何人ですか。

1年未満の教員 _____ 人 常勤講師 _____ 人

問03 調査対象日現在、**学校の教員以外の全職員数**は何人ですか。

教員以外の全職員数 _____ 人（うち臨時職員 _____ 人）

問04 **教員以外の全職員の職務経験年数の内訳**を、人数でお答えください。（臨時職員も含む）

1年未満 _____ 人 1年以上5年未満 _____ 人 5年以上10年未満 _____ 人
10年以上20年未満 _____ 人 20年以上30年未満 _____ 人 30年以上 _____ 人

問05 以下の各項目に該当する**教職員の人数**（常勤・非常勤を含む）を、それぞれ記入してください。

項目	人数（常勤・非常勤の合計）
(1) 教員：授業を主な業務とする者（講師、養護教諭、栄養教諭を含む）	人
(2) 主幹教諭、指導教諭	人
(3) 学校の経営に携わる者（校長、副校長・教頭、その他学校経営に関することを主たる業務とする者を含む）	人
(4) 学校の事務に携わる職員：受付、秘書、事務補助員を含む	人
(5) 授業の支援に携わる職員：ALT、教員以外で指導や補助を行う職員、特別支援教育支援員、司書、スクールカウンセラー、など	人
(6) その他の職員	人

問06 調査対象である**第6学年の児童**についてお尋ねします。

以下の各項目にあてはまる児童について、学年全体に占めるおよその百分率（%）を、
下の【記号】（AからG、X）からひとつ選び、それぞれ記入してください。

項目	【記号】
(1)（日本語指導以外の）特別な支援を要する	
(2) 長期欠席、不登校の状態にある	

【記号】

A：0% B：1～5%未満 C：5～10%未満 D：10～20%未満 E：20～30%未満

F：30～50%未満 G：50%以上 X：未確認、不明

問07 この学校は、調査対象日から5年以内に、次の**研究指定や助成**を適用されたことがありますか。
該当するすべてに○印をつけてください。

あてはまらない場合や、実施していない場合は何も記入しないでください

研究指定や助成	該当する 場合、○印
(1) 教育委員会による研究指定	
(2) 文部科学省による研究開発学校	
(3) 文部科学省による教育課程特例校（旧「教育特区」を含む）	
(4) 教育委員会や文部科学省以外の公的機関による研究指定や助成	
(5) 民間団体や企業等による研究指定や助成	

問08 この学校内の**ICT（情報機器）の整備状況**について、お尋ねします。

(1) から (5) のすべてにお答えください。

(1) 学習用のコンピュータ室はいくつありますか。	_____ 部屋
(2) 児童が学習に使えるコンピュータ（タブレット型端末を除く）は、何台ありますか。	だいたい _____ 台 くらい
(3) 児童が学習に使えるタブレット型端末は、何台ありますか（レンタル、リース含む）。	だいたい _____ 台 くらい
(4) 児童が学習に使える Wi-Fi 設備は、ありますか。	1：ある 2：ない 3：わからない
(5) 電子黒板は何台ありますか。	_____ 台

問09 この学校で、以下に挙げる学校の施設や設備等のうち、児童の学習における活用状況についてお尋ねします。次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

学校の施設や設備等	活用している	活用していない	該当施設・設備がない
(1) オープンスペース	1	2	3
(2) 教科教室制による教室配置	1	2	3
(3) 学校園・学級園・農場	1	2	3
(4) 飼育小屋	1	2	3
(5) 小中一体型施設	1	2	3
(6) 天体観測施設	1	2	3
(7) ビオトープ	1	2	3
(8) 和室	1	2	3
(9) 外国語活動用教室	1	2	3
(10) その他 (具体的に記入してください:)	1	2	3

問10 「平成28年度全国学力・学習状況調査」の扱いについてお尋ねします。

次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

1) **自校での分析**についてお尋ねします。

次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

全国学力・学習状況調査について、次の事項を...	選 択 肢				
	重点的に 行った	ある程度は 行った	あまり行わ なかった	行わなかつ た	わからない
(1) 学校の教職員が独自に採点を行った	1	2	3	4	9
(2) 自校の結果を独自に分析した	1	2	3	4	9

2) **結果の共有範囲**についてお尋ねします。

次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

全国学力・学習状況調査の結果の共有について、 次の事項を...	選 択 肢				
	重点的に 行った	ある程度は 行った	あまり行わ なかった	行わなかつ た	わからない
(3) 調査対象の学年で確認・共有した	1	2	3	4	9
(4) 学校全体で確認・共有した	1	2	3	4	9
(5) 保護者会や地域の集會等で説明した	1	2	3	4	9
(6) 学区内の中学校と共有した	1	2	3	4	9
(7) ホームページや学校だより等に掲載した	1	2	3	4	9

3) **調査結果の分析や活用にあたり、重視したこと**について、お尋ねします。

次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

全国学力・学習状況調査の結果の活用にあたり、 次の事項を...	選 択 肢				
	かなり重視 した	ある程度 重視した	あまり重視 しなかった	重視 しなかった	わからない
(8) 全国平均や都道府県平均等と比較すること	1	2	3	4	9
(9) めざすべき学力の特徴を理解すること	1	2	3	4	9
(10) 具体的な学習指導の改善に生かすこと	1	2	3	4	9
(11) 児童一人ひとりの学習改善に生かすこと	1	2	3	4	9
(12) 指導計画の改善に生かすこと	1	2	3	4	9
(13) 保護者や地域への説明責任を果たすこと	1	2	3	4	9
(14) 学力向上の取組について、具体的な協力を保護者や地域の方々から得ること	1	2	3	4	9

- 問 1 1 全国学力・学習状況調査や、都道府県や市町村などで独自に実施する学力調査の他に、**校内で具体的な教育指導の改善や指導計画等に反映させている、調査や検査**はありますか。以下に挙げる事項のうち、あてはまるものに、○印をつけてください。
 (あてはまらない場合や、実施していない場合は何も記入しないでください)

各種の調査や検査の内容	校内で具体的な教育指導の改善や指導計画等に反映させている場合、○印
(1) 校外の民間企業等による模擬試験	
(2) 知能検査	
(3) 性格検査	
(4) 職業に関する適性検査	
(5) 学級内の人間関係に関する検査	
(6) その他 (具体的に記入してください:)	

- 問 1 2 学校のビジョン (学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など) について、次の人たちと、どれくらい共有していますか。
 次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

学校のビジョン (学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など) を次の人たちと...	選 択 肢			
	十分共有している	ある程度共有している	あまり共有していない	共有していない
(1) 管理職、主幹教諭、各主任	1	2	3	4
(2) 常勤の、授業を行う教員 (教諭、常勤講師)	1	2	3	4
(3) 授業が主たる業務ではない常勤の職員 (事務職員、学校栄養職員など)	1	2	3	4
(4) 非常勤講師、授業に関わる非常勤教職員 (ALT、特別教育支援員など)	1	2	3	4
(5) 授業に関わらない非常勤職員 (スクールカウンセラー、非常勤の事務職員など)	1	2	3	4
(6) 保護者	1	2	3	4
(7) ボランティア等に関わる学校外の関係者	1	2	3	4
(8) 地域 (主に校区) の住民	1	2	3	4
(9) 児童	1	2	3	4

問13 **各種の指導計画**を作成する際、次の事項をどれくらい重視しますか。

次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

各種の指導計画を作成する際、次の事項を...	選 択 肢				
	かなり重視する	ある程度は重視する	あまり重視しない	重視しない	わからない
(1) 教科横断的な視点	1	2	3	4	9
(2) 言語活動	1	2	3	4	9
(3) 知識・技能の活用	1	2	3	4	9
(4) 学校の教育目標に応じた教育内容の組織	1	2	3	4	9
(5) 「PDCA サイクル」の遂行	1	2	3	4	9
(6) 指導事項の系統性	1	2	3	4	9
(7) 地域の現状等に関する調査結果や資料	1	2	3	4	9
(8) 児童の実態に関する調査結果や資料	1	2	3	4	9
(9) 前年度のカリキュラム評価の結果	1	2	3	4	9
(10) 人的・物的資源の確保	1	2	3	4	9
(11) 校外からの人的・物的資源の導入	1	2	3	4	9
(12) 財政面の負担	1	2	3	4	9
(13) 特別な支援を要する児童の個別の指導計画	1	2	3	4	9
(14) 学校の研究テーマ	1	2	3	4	9
(15) 多くの教職員が参加して指導計画を作成すること	1	2	3	4	9
(16) 評価計画を立てること	1	2	3	4	9

問14 **特別支援教育**に関連して、児童の特性に応じた指導（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を、授業で配慮するよう、学校の取組として推進していますか。

1：かなり推進している 2：ある程度推進している 3：あまり推進していない 4：推進していない

問15 先生からみて、**この学校の教職員**は、次の事柄をどれくらい実施していますか。

あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

この学校の教職員は、...	十分実施している	ある程度実施している	あまり実施していない	実施していない	わからない
(1) 校外の研修や研究会に参加する	1	2	3	4	9
(2) 学習指導と学習評価の計画を、協力して作成する	1	2	3	4	9
(3) 言語活動の充実のために、話し合っって検討する。	1	2	3	4	9
(4) 国語科に限定せず、言語活動に取り組む	1	2	3	4	9
(5) 学校特有の学力傾向や課題を共有する	1	2	3	4	9
(6) 学年・学級運営の状況や課題を共有する	1	2	3	4	9

問16 先生からみて、**この学校の教職員の様子**は、どのような様子ですか。
各項目のうち、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

この学校の教職員の様子は、...	選 択 肢			
	よく あてはまる	ある程度 あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない
(1) 同僚の考え方を相互に尊重する	1	2	3	4
(2) 地域と連携を図っている	1	2	3	4
(3) 各自の成功を共有する雰囲気がある	1	2	3	4
(4) 勤務外で私的に交流する	1	2	3	4
(5) 学校教育に関する信念を共有している	1	2	3	4
(6) お互い助け合い、協力的である	1	2	3	4
(7) 会議で発言をしやすい	1	2	3	4
(8) 困難な問題をオープンに話し合う	1	2	3	4
(9) 経験の浅い教職員に寛容である	1	2	3	4
(10) 日常的に保護者と意見交換する	1	2	3	4
(11) 児童幸福を重視する	1	2	3	4
(12) 児童との関係が良好である	1	2	3	4
(13) 児童の発言や意見に関心をもつ	1	2	3	4
(14) 児童の卒業後も交流がある	1	2	3	4
(15) 新しい指導に積極的にチャレンジする	1	2	3	4
(16) 教職員が一丸となった取り組みをする	1	2	3	4
(17) 立場に応じてリーダーシップを発揮する	1	2	3	4
(18) 互いの実践上の知識や技能を提供し合う	1	2	3	4
(19) 各教科等の教育目標や内容の相互関連を意識して授業する	1	2	3	4
(20) 指導の改善に役立つ記録(メモ)を残す	1	2	3	4

これで終わりです。
ご回答ありがとうございました。

提出方法：この質問紙は「質問紙用封筒」に封入してください。
その上で、学校で3部まとめて、「返信用封筒」を使い、
郵送してください。

提出日：平成29年1月10日までのご発送をお願いします。

調査結果は、平成29年度中に、文部科学省のウェブサイトに、
平成28年度文部科学省委託事業「学力調査における質問紙調査の
研究（質問紙調査の項目及び分析手法に関する内外調査研究）」報
告書として、掲載される予定です。

<第2部>

小学校

学校質問紙②

第2部：研修（職業能力開発） 問17～23

説明とお願い

- 1 この調査研究は、「全国学力・学習状況調査」における学校調査質問紙の改善を目的としています。
- 2 回答者の個人情報取得しません。学校番号を含め、データはすべて匿名で統計的に処理します。回答者や学校の個別情報が文部科学省や教育委員会へ報告されたり公開されたりすることは決してありません。
- 3 質問紙は全部で3冊あり、それぞれ回答者が異なります。

この冊子は、以下のいずれかに該当する先生がご回答ください。

（教務主任、研究主任、研修主任、学年主任、主幹教諭）

- 4 それぞれの質問について、この冊子の回答欄に直接○印をつけたり数値を書き込んだりして回答してください。
- 5 回答が終わったら、この質問紙を「質問紙用封筒」に封入してください。学校で3冊まとめて、「返信用封筒」にて発送してください。

（1月10日まで）

**第2部 研修（職能開発）：以下のいずれかに該当する先生がご回答ください。
（教務主任、研究主任、研修主任、学年主任、主幹教諭）**

問17 以下の問いに**お答えになる先生**は、どなたですか。
次の1から8のうち、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1：教務主任または主幹教諭
- 2：研究主任または研修主任
- 3：学年主任
- 4：前年度第5学年の学級担任
- 5：今年度第6学年の学級担任
- 6：学級担任ではないが、前年度第5学年の関係教員
- 7：学級担任ではないが、今年度第6学年の関係教員
- 8：その他（具体的にご記入ください_____）

問18 先生は、調査日現在、次の事柄にあてはまりますか。
次の1から5のうち、あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

- 1：自分を支援する指導者（メンター）が、校内にいる
- 2：自分を支援する指導者（メンター）が、校外にいる
- 3：校内で、他の教員の指導者（メンター）を務めている
- 4：校外で、他の教員の指導員（メンター）を務めている
- 5：1から4のどれにもあてはまらない

問19 過去12か月の間（平成27年12月から平成28年11月）に、先生は以下の**研修（職業能力開発）**を経験しましたか。
経験した場合は○印をつけてください。

過去12か月の間（平成27年12月から平成28年11月）に経験した研修（職業能力開発）は..	経験した場合、○印
(1) 他校の見学・視察（他校の授業研究への参加を含む）	
(2) 企業、公的機関、非政府組織（NGO）の見学・視察	
(3) 教育に関する会議やセミナー（例：教員や研究者が研究成果を発表し、教育上の課題に関して議論する）	
(4) 資格取得プログラム（例：修士号などの学位取得）	
(5) 認定証や修了証が発行される、課程（コース）やワークショップ（例：教科等の内容や指導法、その他教育関連）	
(6) 教員の力量形成（職業能力開発）を目的とする研究団体への参加	
(7) 職務上、関心を持っているテーマに関する個人研究	
(8) 学校の公的な組織内指導（メンタリング）、相談	
(9) 同僚の観察・助言、コーチング活動	
(10) その他（具体的に記入してください：_____）	

問20 過去12か月の間（平成27年12月から平成28年11月）、先生が経験した研修（職業能力開発）は、以下の内容を含んでいましたか。

含んでいた場合は空欄に○印をつけ、あわせて、その内容が先生の指導やその他の職務に影響した度合いについて、あてはまる選択肢1から4の数字にひとつ、○をつけてください。

過去12か月の間に経験した研修（職業能力開発）の内容は...	含んでいた場合 ○印	指導やその他の職務への影響の度合い			
		大いに影響した	いくらか影響した	あまり影響しなかった	影響しなかった
(1) 担当教科等に関する知識と理解		1	2	3	4
(2) 担当教科等の指導法に関する能力		1	2	3	4
(3) 教育課程（カリキュラム）に関する知識		1	2	3	4
(4) 児童の評価や評価方法		1	2	3	4
(5) 学習指導用のICT（情報通信技術）技能		1	2	3	4
(6) 学習指導以外の職務用のICT（情報通信技術） （例：成績入力システム、セキュリティ関連）		1	2	3	4
(7) 児童の活動と学級経営		1	2	3	4
(8) 学校の管理運営、法規、制度に関する知識		1	2	3	4
(9) 個に応じた学習指導の手法		1	2	3	4
(10) 特別な支援を要する児童への指導		1	2	3	4
(11) 児童の健康や安全に関する指導		1	2	3	4
(12) 多文化、多言語環境における指導 （日本語指導を含む）		1	2	3	4
(13) 教科横断的な資質・能力の育成に関する指導 （例：問題解決能力、学び方の学習）		1	2	3	4
(14) 進路指導やキャリア教育の知識や技法		1	2	3	4
(15) 教育相談やカウンセリングの知識や技法		1	2	3	4
(16) アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善		1	2	3	4
(17) カリキュラム・マネジメント		1	2	3	4
(18) 組織マネジメント		1	2	3	4

問21 過去12か月の間、先生が経験した研修（職業能力開発）は、以下の方法を実施しましたか。

あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

研修（職業能力開発）の方法として...	選 択 肢	
	実施した	実施しなかった
(1) 他の教員との共同学習や研究活動	1	2
(2) 「座学」以外の参加型・体験型学習の機会	1	2
(3) 自校や自らの実践の報告	1	2
(4) 数週間から数か月に渡り、複数回に分けて 行われる長期研修	1	2
(5) 2日から1週間程度の短期集中型研修	1	2

問2 2 先生は現在、以下の各事項について、どれくらい **ご自身の力量形成の不十分さ**を感じていますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

自分の力量形成で不十分だと感じているのは...	かなり 不十分だ	やや 不十分だ	ある程度 足りている	足りている
(1) 担当教科等に関する知識と理解	1	2	3	4
(2) 担当教科等の指導法に関する能力	1	2	3	4
(3) 教育課程（カリキュラム）に関する知識	1	2	3	4
(4) 児童の評価や評価方法	1	2	3	4
(5) <u>学習指導用</u> の ICT（情報通信技術）技能	1	2	3	4
(6) <u>学習指導以外の職務用</u> の ICT（情報通信技術） （例：成績入力システム、セキュリティ関連）	1	2	3	4
(7) 児童の活動と学級経営	1	2	3	4
(8) 学校の管理運営、法規、制度に関する知識	1	2	3	4
(9) 個に応じた学習指導の手法	1	2	3	4
(10) 特別な支援を要する児童への指導	1	2	3	4
(11) 児童の健康や安全に関する指導	1	2	3	4
(12) 多文化、多言語環境における指導 （日本語指導を含む）	1	2	3	4
(13) 教科横断的な資質・能力の育成に関する指導 （例：問題解決能力、学び方の学習）	1	2	3	4
(14) 進路指導やキャリア教育の知識や技法	1	2	3	4
(15) 教育相談やカウンセリングの知識や技法	1	2	3	4
(16) アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善	1	2	3	4
(17) カリキュラム・マネジメント	1	2	3	4
(18) 組織マネジメント	1	2	3	4

問2 3 先生が研修（職業能力開発）に参加する場合、以下の事柄は、どれくらい影響しますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

研修（職業能力開発）に参加する場合...	選 択 肢			
	とても 影響する	ある程度 影響する	あまり 影響しない	影響しない
(1) 勤務日程上の調整	1	2	3	4
(2) 費用の高さ	1	2	3	4
(3) 資格や経験、勤務年数などの要件不足	1	2	3	4
(4) 家庭の都合との調整	1	2	3	4
(5) 参加する動機やきっかけのなさ	1	2	3	4
(6) 自分のニーズや希望と合わない内容	1	2	3	4

これで終わりです。
ご回答ありがとうございました。

提出方法：この質問紙は「質問紙用封筒」に封入してください。
その上で、学校で3部まとめて、「返信用封筒」を使い、
郵送してください。

提出日：平成 29 年 1 月 10 日までのご発送をお願いします。

調査結果は、平成 29 年度中に、文部科学省のウェブサイトに、
平成 28 年度文部科学省委託事業「学力調査における質問紙調査の
研究（質問紙調査の項目及び分析手法に関する内外調査研究）」報
告書として、掲載される予定です。

<第3部>

小学校

学校質問紙③

第3部：学級内の児童 問 24～34

説明とお願い

- 1 この調査研究は、「全国学力・学習状況調査」における学校調査質問紙の改善を目的としています。
- 2 回答者の個人情報には取得しません。学校番号を含め、データはすべて匿名で統計的に処理します。回答者や学校の個別情報が文部科学省や教育委員会へ報告されたり公開されたりすることは決してありません。
- 3 質問紙は全部で3冊あり、それぞれ回答者が異なります。
この冊子は、第6学年所属の学級担任がお答えください。
※ 難しい場合は、第6学年の児童の様子をよくご存知の先生がお答えください。
- 4 それぞれの質問について、この冊子の回答欄に直接○印をつけたり数値を書き込んだりして回答してください。
- 5 回答が終わったら、この質問紙を「質問紙用封筒」に封入してください。学校で3冊まとめて、「返信用封筒」にて発送してください。

(1月10日まで)

第3部 学級内の児童について：

第6学年所属の学級担任が教えてください。

※難しい場合は、第6学年の児童の様子をよくご存知の先生が教えてください。

問24 以下の問いに「お答えになる先生」は、どなたですか。

次の1から5のうち、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1：今年度第6学年の学級担任
- 2：今年度第6学年の学年主任、副担任、学年所属（学級担任以外）
- 3：今年度第6学年以外の学級担任
- 4：前年度第5学年の学級担任、副担任、学年所属
- 5：1～4のいずれにも当てはまらない

問25 これまでの先生のご経験からみて、「現在の担当学級の印象」は、次のどれにあてはまりますか。

あてはまる選択肢の数字にひとつ、○をつけてください。

- 1：例年より指導しやすい学級
- 2：ほぼ例年通り指導できる学級
- 3：例年より指導に配慮を要する学級

問26 先生からみて、「担当学級の児童は、具体的にどのような様子」でしょうか。

各項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

担当学級の児童は、...	選 択 肢			
	よく あてはまる	ある程度 あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない
(1) 私語が少ない	1	2	3	4
(2) 自分から疑問を持つ	1	2	3	4
(3) 落ち着きがある	1	2	3	4
(4) 時や場や状況にふさわしい態度をとる	1	2	3	4
(5) 児童同士、仲が良い	1	2	3	4
(6) 外遊びや運動を好む	1	2	3	4
(7) 熱心に勉強する	1	2	3	4
(8) 音楽活動（器楽や合唱）を好む	1	2	3	4
(9) 敬語を使える	1	2	3	4
(10) 読書を好む	1	2	3	4
(11) 語彙数が少ない	1	2	3	4

問27 先生からみて、**担当学級の児童の学習の様子**は、どのような印象でしょうか。
各項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

担当学級の児童の学習の様子は、...	選 択 肢			
	よく あてはまる	ある程度 あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない
(1) 教員の話を中心して聞く	1	2	3	4
(2) 教室内が騒々しい	1	2	3	4
(3) 自分で課題を設定できる	1	2	3	4
(4) 発言や発表の工夫をする	1	2	3	4
(5) 情報や資料を活用できる	1	2	3	4
(6) 筋道を立てて話をする	1	2	3	4
(7) 忘れ物をする	1	2	3	4
(8) 他の児童の話を中心して聞く	1	2	3	4
(9) 授業開始時、静かになるまで時間がかかる	1	2	3	4
(10) 学習に適した雰囲気を創り出す	1	2	3	4
(11) 授業の邪魔をしようとする	1	2	3	4
(12) 間違いやつまづきを冷やかさない	1	2	3	4
(13) 活発に発言する	1	2	3	4
(14) 宿題をきちんとやってくる	1	2	3	4

問28 学級全体や学級内のグループによる話し合い活動について、お尋ねします。

1) 学級全体や学級内のグループによる話し合い活動は、今年度どれくらい、授業等に取り入れていますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、○をつけてください。

- 1 : ほぼ毎回 2 : 2回に1回くらい 3 : 1日1回くらい
 4 : 2、3日に1回くらい 5 : 週に1回くらい 6 : あまり行わない 7 : わからない

2) 次の活動について今年度、先生はどれくらい行いましたか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

今年度、自分の学級では、...	選 択 肢			
	よく 行った	い くら か 行 っ た	あ ま り 行 わ な か っ た	行 わ な か っ た
(1) 児童自ら、学級やグループで課題を設定する活動	1	2	3	4
(2) 課題の解決に向けて話し合う活動	1	2	3	4
(3) 児童が話し合いを記録する活動	1	2	3	4
(4) 話し合った内容を発表する活動	1	2	3	4
(5) 話し合いを通して、新たな課題を発見する活動	1	2	3	4

3) 担当学級の児童は、次の事柄をどれくらいできていると思いますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

担当学級の児童は話し合い活動で、...	選 択 肢			
	よ く で き て い る	あ る 程 度 で き て い る	あ ま り で き て い な い	で き て い な い
(1) 自分の考えを相手に伝える	1	2	3	4
(2) 相手の考えを最後まで聞く	1	2	3	4
(3) 話し合いの内容を自分に関係ある問題としてとらえる	1	2	3	4
(4) 話し合いが進む雰囲気を作る	1	2	3	4
(5) 自分の考えを深め、広げる	1	2	3	4
(6) 理由(根拠)をつけて意見を言う	1	2	3	4
(7) 話し合いの目的(結論をだすのか、考えを広げるのかなど)に応じた話し合いをする	1	2	3	4
(8) 児童同士で教え合う	1	2	3	4

問29 次の「**学習指導に関する事柄**」について、先生はご自身の指導力にどれくらい課題を感じていますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

学習指導に関する事柄について、...	かなり 課題がある	ある程度 課題がある	あまり 課題はない	課題はない	指導の機会 がない
(1) ノート指導	1	2	3	4	9
(2) 学習のきまりの指導	1	2	3	4	9
(3) 話し合い活動の指導	1	2	3	4	9
(4) 板書指導の技術	1	2	3	4	9
(5) 掲示物の工夫や活用	1	2	3	4	9
(6) タブレット、電子黒板等の機器利用	1	2	3	4	9
(7) プリント、ワークシートの活用	1	2	3	4	9
(8) ティームティーチングや少人数指導	1	2	3	4	9
(9) 異学年交流を用いた指導	1	2	3	4	9
(10) 総合的な学習の時間の指導	1	2	3	4	9
(11) 道徳の指導	1	2	3	4	9
(12) 学級活動の指導	1	2	3	4	9

問30 「**児童の学習を評価**」するとき、先生は次の事柄をどれくらい重視していますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

学習評価について、次の事柄を...	選 択 肢			
	かなり 重視する	ある程度 重視する	あまり 重視しない	重視しない
(1) 正確さ	1	2	3	4
(2) 客観性	1	2	3	4
(3) 評価方法の適切さ (妥当性)	1	2	3	4
(3) 根拠となる資料	1	2	3	4
(4) 保護者への説明	1	2	3	4
(5) 他の教員との足並み	1	2	3	4
(6) 児童への励まし	1	2	3	4
(7) 児童が自分で丸付けや間違い直しができる ようになること	1	2	3	4
(8) 児童による授業の振り返り	1	2	3	4

問3 1 先生は、次のような授業を実施するのは、どれくらい自信がありますか。

あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

次のような授業の実施について...	選 択 肢			
	かなり 自信がある	ある程度 自信がある	あまり 自信がない	自信がない
(1) 先生がわかりやすく説明をする	1	2	3	4
(2) 学級やグループで児童が話し合う	1	2	3	4
(3) 児童が情報を集めて課題を解決する	1	2	3	4
(4) 練習問題を解かせて習熟させる	1	2	3	4

問3 2 道徳の時間で、児童自らが考え話し合う指導は、どれくらい行っていますか。

1 : ほぼ毎回 2 : 2回に1回程度 3 : 月に1回程度 4 : 学期に1回程度 5 : ほとんど行っていない

問3 3 現在の担当学級の児童の家庭学習のようす (通塾や習いごとを除きます) は、
どれくらいだと思いますか。あてはまる選択肢の数字にひとつ、○をつけてください。

1 : とても熱心に取り組んでいる 2 : ある程度熱心に取り組んでいる
3 : あまり熱心に取り組んでいない 4 : 熱心に取り組んでいない

問3 4 現在の担当学級の児童のうち、学習塾に通っている割合は、どれくらいだと思いますか。
あてはまる選択肢の数字にひとつ、○をつけてください。

1 : 2割未満 2 : 2割から4割くらい 3 : 4割から6割くらい
4 : 6割から8割くらい 5 : 8割以上 9 : わからない

これで終わりです。
ご回答ありがとうございました。

提出方法：この質問紙は「質問紙用封筒」に封入してください。
その上で、学校で3部まとめて、「返信用封筒」を使い、
郵送してください。

提出日：平成 29 年 1 月 10 日までのご発送をお願いします。

調査結果は、平成 29 年度中に、文部科学省のウェブサイトに、
平成 28 年度文部科学省委託事業「学力調査における質問紙調査の
研究（質問紙調査の項目及び分析手法に関する内外調査研究）」報
告書として、掲載される予定です。

<第 1 部>

中学校

学校質問紙①

第 1 部：学校の概要 問 1～16

説明とお願い

- 1 この調査研究は、「全国学力・学習状況調査」における学校調査質問紙の改善を目的としています。
- 2 回答者の個人情報取得しません。学校番号を含め、データはすべて匿名で統計的に処理します。回答者や学校の個別情報が文部科学省や教育委員会へ報告されたり公開されたりすることは決してありません。
- 3 質問紙は全部で 3 冊あり、それぞれ回答者が異なります。
この冊子は、校長先生（または管理職の先生）がお答えください。
※必要に応じ、校内関係者と適宜ご協議願います。
- 4 それぞれの質問について、この冊子の回答欄に直接○印をつけたり数値を書き込んだりして回答してください。
- 5 回答が終わったら、この質問紙を「質問紙用封筒」に封入してください。
学校で 3 冊まとめて、「返信用封筒」にて発送してください。

(1 月 10 日まで)

第1部 学校の概要：校長先生（または管理職の先生）がお答えください。

※必要に応じ、校内関係者と適宜ご協議願います。

問01 校長先生ご自身は、この学校での校長としての勤務は何年目ですか。

あてはまる選択肢の数字にひとつ、○をつけてください。

1：1年目（今年度から） 2：2年目 3：3年目 4：4年目以上

問02 調査対象日現在、常勤の教員のうち、**経験1年未満の教員、常勤講師**は何人ですか。

1年未満の教員 _____ 人 常勤講師 _____ 人

問03 調査対象日現在、**学校の教員以外の全職員数**は何人ですか。

教員以外の全職員数 _____ 人（うち臨時職員 _____ 人）

問04 **教員以外の全職員の職務経験年数の内訳**を、人数でお答えください。（臨時職員も含む）

1年未満 _____ 人 1年以上5年未満 _____ 人 5年以上10年未満 _____ 人
10年以上20年未満 _____ 人 20年以上30年未満 _____ 人 30年以上 _____ 人

問05 以下の各項目に該当する**教職員の人数**（常勤・非常勤を含む）を、それぞれ記入してください。

項目	人数（常勤・非常勤の合計）
(1) 教員：授業を主な業務とする者（講師、養護教諭、栄養教諭を含む）	人
(2) 主幹教諭、指導教諭	人
(3) 学校の経営に携わる者（校長、副校長・教頭、その他学校経営に関することを主たる業務とする者を含む）	人
(4) 学校の事務に携わる職員：受付、秘書、事務補助員を含む	人
(5) 授業の支援に携わる職員：ALT、教員以外で指導や補助を行う職員、特別支援教育支援員、司書、スクールカウンセラー、など	人
(6) その他の職員	人

問06 調査対象である第3学年の生徒についてお尋ねします。

以下の各項目にあてはまる生徒について、学年全体に占めるおよその百分率 (%) を、
下の【記号】(A から G、X) からひとつ選び、それぞれ記入してください。

項目	【記号】
(1) (日本語指導以外の) 特別な支援を要する	
(2) 長期欠席、不登校の状態にある	

【記号】

A : 0% B : 1~5%未満 C : 5%~10%未満 D : 10%~20%未満 E : 20%~30%未満

F : 30%~50%未満 G : 50%以上 X : 未確認、不明

問07 この学校は、調査対象日から5年以内に、次の研究指定や助成を適用されたことがありますか。
該当するすべてに○印をつけてください。

あてはまらない場合や、実施していない場合は何も記入しないでください

研究指定や助成	該当する 場合、○印
(1) 教育委員会による研究指定	
(2) 文部科学省による研究開発学校	
(3) 文部科学省による教育課程特例校 (旧「教育特区」を含む)	
(4) 教育委員会や文部科学省以外の公的機関による研究指定や助成	
(5) 民間団体や企業等による研究指定や助成	

問08 この学校内のICT (情報機器) の整備状況について、お尋ねします。

(1) から (5) のすべてにお答えください。

(1) 学習用のコンピュータ室はいくつありますか。	_____ 部屋
(2) 生徒が学習に使えるコンピュータ (タブレット型 端末を除く) は、何台ありますか。	だいたい _____ 台くらい
(3) 生徒が学習に使えるタブレット型端末 は、何台ありますか (レンタル、リース含む)。	だいたい _____ 台くらい
(4) 生徒が学習に使える Wi-Fi 設備は、 ありますか。	1 : ある 2 : ない 3 : わからない
(5) 電子黒板は何台ありますか。	_____ 台

問09 この学校で、以下に挙げる学校の施設や設備等のうち、生徒の学習における活用状況についてお尋ねします。次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

学校の施設や設備等	活用している	活用していない	該当施設・設備がない
(1) オープンスペース	1	2	3
(2) 教科教室制による教室配置	1	2	3
(3) 学校園・学級園・農場	1	2	3
(4) 飼育小屋	1	2	3
(5) 小中一体型施設	1	2	3
(6) 天体観測施設	1	2	3
(7) ビオトープ	1	2	3
(8) 和室	1	2	3
(9) その他 (具体的に記入してください：)	1	2	3

問10 「平成28年度全国学力・学習状況調査」の扱いについてお尋ねします。

次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

1) **自校での分析**についてお尋ねします。

次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

全国学力・学習状況調査について、次の事項を...	選 択 肢				
	重点的に 行った	ある程度は 行った	あまり行わ なかった	行わなかつ た	わからない
(1) 学校の教職員が独自に採点を行った	1	2	3	4	9
(2) 自校の結果を独自に分析した	1	2	3	4	9

2) **結果の共有範囲**についてお尋ねします。

次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

全国学力・学習状況調査の結果の共有について、 次の事項を...	選 択 肢				
	重点的に 行った	ある程度は 行った	あまり行わ なかった	行わなかつ た	わからない
(3) 調査対象の教科で確認・共有した	1	2	3	4	9
(4) 学校全体で確認・共有した	1	2	3	4	9
(5) 保護者会や地域の集会等で説明した	1	2	3	4	9
(6) 学区内の小学校と共有した	1	2	3	4	9
(7) ホームページや学校だより等に掲載した	1	2	3	4	9

3) **調査結果の分析や活用にあたり、重視したこと**について、お尋ねします。

次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

全国学力・学習状況調査の結果の活用にあたり、 次の事項を...	選 択 肢				
	かなり重視 した	ある程度 重視した	あまり重視 しなかった	重視 しなかった	わからない
(8) 全国平均や都道府県平均等と比較すること	1	2	3	4	9
(9) めざすべき学力の特徴を理解すること	1	2	3	4	9
(10) 具体的な学習指導の改善に生かすこと	1	2	3	4	9
(11) 生徒一人ひとりの学習改善に生かすこと	1	2	3	4	9
(12) 指導計画の改善に生かすこと	1	2	3	4	9
(13) 保護者や地域への説明責任を果たすこと	1	2	3	4	9
(14) 学力向上の取組について、具体的な協力を保護者や地域の方々から得ること	1	2	3	4	9

問1 1 全国学力・学習状況調査や、都道府県や市町村などで独自に実施する学力調査の他に、**校内で具体的な教育指導の改善や指導計画等に反映させている、調査や検査**はありますか。以下に挙げる事項のうち、あてはまるものに、○印をつけてください。
 (あてはまらない場合や、実施していない場合は何も記入しないでください)

各種の調査や検査の内容	校内で具体的な教育指導の改善や指導計画等に反映させている場合、○印
(1) 校外の民間企業等による模擬試験	
(2) 知能検査	
(3) 性格検査	
(4) 職業に関する適性検査	
(5) 学級内の人間関係に関する検査	
(6) その他 (具体的に記入してください:)	

問1 2 学校のビジョン (学校がめざす生徒の姿や重点的に取り組む教育活動など) について、次の人たちと、どれくらい共有していますか。
 次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

学校のビジョン (学校がめざす生徒の姿や重点的に取り組む教育活動など) を次の人たちと...	選 択 肢			
	十分共有している	ある程度共有している	あまり共有していない	共有していない
(1) 管理職、主幹教諭、各主任	1	2	3	4
(2) 常勤の、授業を行う教員 (教諭、常勤講師)	1	2	3	4
(3) 授業が主たる業務ではない常勤の職員 (事務職員、学校栄養職員など)	1	2	3	4
(4) 非常勤講師、授業に関わる非常勤教職員 (ALT、特別教育支援員など)	1	2	3	4
(5) 授業に関わらない非常勤職員 (スクールカウンセラー、非常勤の事務職員など)	1	2	3	4
(6) 保護者	1	2	3	4
(7) ボランティア等で関わる学校外の関係者	1	2	3	4
(8) 地域 (主に校区) の住民	1	2	3	4
(9) 生徒	1	2	3	4

問1 3 **各種の指導計画**を作成する際、次の事項をどれくらい重視しますか。

次の項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

各種の指導計画を作成する際、次の事項を...	選 択 肢				
	かなり重視する	ある程度は重視する	あまり重視しない	重視しない	わからない
(1) 教科横断的な視点	1	2	3	4	9
(2) 言語活動	1	2	3	4	9
(3) 知識・技能の活用	1	2	3	4	9
(4) 学校の教育目標に応じた教育内容の組織	1	2	3	4	9
(5) 「PDCA サイクル」の遂行	1	2	3	4	9
(6) 指導事項の系統性	1	2	3	4	9
(7) 地域の現状等に関する調査結果や資料	1	2	3	4	9
(8) 生徒の実態に関する調査結果や資料	1	2	3	4	9
(9) 前年度のカリキュラム評価の結果	1	2	3	4	9
(10) 人的・物的資源の確保	1	2	3	4	9
(11) 校外からの人的・物的資源の導入	1	2	3	4	9
(12) 財政面の負担	1	2	3	4	9
(13) 特別な支援を要する生徒の個別の指導計画	1	2	3	4	9
(14) 学校の研究テーマ	1	2	3	4	9
(15) 多くの教職員が参加して指導計画を作成すること	1	2	3	4	9
(16) 評価計画を立てること	1	2	3	4	9

問14 **特別支援教育**に関連して、生徒の特性に応じた指導（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を、授業で配慮するよう、学校の取組として推進していますか。

1：かなり推進している 2：ある程度推進している 3：あまり推進していない 4：推進していない

問15 先生からみて、**この学校の教職員**は、次の事柄をどれくらい実施していますか。
あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

この学校の教職員は、...	十分実施している	ある程度実施している	あまり実施していない	実施していない	わからない
(1) 校外の研修や研究会に参加する	1	2	3	4	9
(2) 学習指導と学習評価の計画を、協力して作成する	1	2	3	4	9
(3) 言語活動の充実のために、話し合っって検討する。	1	2	3	4	9
(4) 国語科に限定せず、言語活動に取り組む	1	2	3	4	9
(5) 学校特有の学力傾向や課題を共有する	1	2	3	4	9
(6) 学年・学級運営の状況や課題を共有する	1	2	3	4	9

問16 先生からみて、**この学校の教職員の様子**は、どのような様子ですか。
各項目のうち、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

この学校の教職員の様子は、...	選 択 肢			
	よく あてはまる	ある程度 あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない
(1) 同僚の考え方を相互に尊重する	1	2	3	4
(2) 地域と連携を図っている	1	2	3	4
(3) 各自の成功を共有する雰囲気がある	1	2	3	4
(4) 勤務外で私的に交流する	1	2	3	4
(5) 学校教育に関する信念を共有している	1	2	3	4
(6) お互い助け合い、協力的である	1	2	3	4
(7) 会議で発言をしやすい	1	2	3	4
(8) 困難な問題をオープンに話し合う	1	2	3	4
(9) 経験の浅い教職員に寛容である	1	2	3	4
(10) 日常的に保護者と意見交換する	1	2	3	4
(11) 生徒の幸福を重視する	1	2	3	4
(12) 生徒との関係が良好である	1	2	3	4
(13) 生徒の発言や意見に関心をもつ	1	2	3	4
(14) 生徒の卒業後も交流がある	1	2	3	4
(15) 新しい指導に積極的にチャレンジする	1	2	3	4
(16) 教職員が一丸となった取り組みをする	1	2	3	4
(17) 立場に応じてリーダーシップを発揮する	1	2	3	4
(18) 互いの実践上の知識や技能を提供し合う	1	2	3	4
(19) 各教科等の教育目標や内容の相互関連を意識して授業する	1	2	3	4
(20) 指導の改善に役立つ記録(メモ)を残す	1	2	3	4

これで終わりです。
ご回答ありがとうございました。

提出方法：この質問紙は「質問紙用封筒」に封入してください。
その上で、学校で3部まとめて、「返信用封筒」を使い、
郵送してください。

提出日：平成 29 年 1 月 10 日までのご発送をお願いします。

調査結果は、平成 29 年度中に、文部科学省のウェブサイトに、
平成 28 年度文部科学省委託事業「学力調査における質問紙調査の
研究（質問紙調査の項目及び分析手法に関する内外調査研究）」報
告書として、掲載される予定です。

<第2部>

中学校

学校質問紙②

第2部：研修（職業能力開発） 問17～23

説明とお願い

- 1 この調査研究は、「全国学力・学習状況調査」における学校調査質問紙の改善を目的としています。
- 2 回答者の個人情報には取得しません。学校番号を含め、データはすべて匿名で統計的に処理します。回答者や学校の個別情報が文部科学省や教育委員会へ報告されたり公開されたりすることは決してありません。
- 3 質問紙は全部で3冊あり、それぞれ回答者が異なります。
この冊子は、以下のいずれかに該当する先生がご回答ください。
(教務主任、研究主任、研修主任、学年主任、主幹教諭)
- 4 それぞれの質問について、この冊子の回答欄に直接○印をつけたり数値を書き込んだりして回答してください。
- 5 回答が終わったら、この質問紙を「質問紙用封筒」に封入してください。
学校で3冊まとめて、「返信用封筒」にて発送してください。

(1月10日まで)

**第2部 研修（職能開発）：以下のいずれかに該当する先生がご回答ください。
（教務主任、研究主任、研修主任、学年主任、主幹教諭）**

問17 以下の問いに**お答えになる先生**は、どなたですか。
次の1から8のうち、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1：教務主任または主幹教諭
- 2：研究主任または研修主任
- 3：学年主任
- 4：前年度第2学年の学級担任
- 5：今年度第3学年の学級担任
- 6：学級担任ではないが、前年度第2学年の関係教員
- 7：学級担任ではないが、今年度第3学年の関係教員
- 8：その他（具体的にご記入ください _____）

問18 先生は、調査日現在、次の事柄にあてはまりますか。
次の1から5のうち、あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

- 1：自分を支援する指導者（メンター）が、校内にいる
- 2：自分を支援する指導者（メンター）が、校外にいる
- 3：校内で、他の教員の指導者（メンター）を務めている
- 4：校外で、他の教員の指導員（メンター）を務めている
- 5：1から4のどれにもあてはまらない

問19 過去12か月の間（平成27年12月から平成28年11月）に、先生は以下の**研修（職業能力開発）**を経験しましたか。
経験した場合は○印をつけてください。

過去12か月の間（平成27年12月から平成28年11月）に経験した研修（職業能力開発）は..	経験した場合、○印
(1) 他校の見学・視察（他校の授業研究への参加を含む）	
(2) 企業、公的機関、非政府組織（NGO）の見学・視察	
(3) 教育に関する会議やセミナー（例：教員や研究者が研究成果を発表し、教育上の課題に関して議論する）	
(4) 資格取得プログラム（例：修士号などの学位取得）	
(5) 認定証や修了証が発行される、課程（コース）やワークショップ（例：教科等の内容や指導法、その他教育関連）	
(6) 教員の力量形成（職業能力開発）を目的とする研究団体への参加	
(7) 職務上、関心を持っているテーマに関する個人研究	
(8) 学校の公的な組織内指導（メンタリング）、相談	
(9) 同僚の観察・助言、コーチング活動	
(10) その他（具体的に記入してください： _____）	

問20 過去12カ月の間（平成27年12月から平成28年11月）、先生が経験した研修（職業能力開発）は、以下の内容を含んでいましたか。

含んでいた場合は空欄に○印をつけ、あわせて、その内容が先生の指導やその他の職務に影響した度合いについて、あてはまる選択肢1から4の数字にひとつ、○をつけてください。

過去12か月の間に経験した研修（職業能力開発）の内容は...	含んでいた場合 ○印	指導やその他の職務への影響の度合い			
		大いに 影響した	いづらか 影響した	あまり 影響 しなかった	影響 しなかった
(1) 担当教科等に関する知識と理解		1	2	3	4
(2) 担当教科等の指導法に関する能力		1	2	3	4
(3) 教育課程（カリキュラム）に関する知識		1	2	3	4
(4) 生徒の評価や評価方法		1	2	3	4
(5) 学習指導用のICT（情報通信技術）技能		1	2	3	4
(6) 学習指導以外の職務用のICT（情報通信技術） （例：成績入力システム、セキュリティ関連）		1	2	3	4
(7) 生徒の活動と学級経営		1	2	3	4
(8) 学校の管理運営、法規、制度に関する知識		1	2	3	4
(9) 個に応じた学習指導の手法		1	2	3	4
(10) 特別な支援を要する生徒への指導		1	2	3	4
(11) 生徒の健康や安全に関する指導		1	2	3	4
(12) 多文化、多言語環境における指導 （日本語指導を含む）		1	2	3	4
(13) 教科横断的な資質・能力の育成に関する指導 （例：問題解決能力、学び方の学習）		1	2	3	4
(14) 進路指導やキャリア教育の知識や技法		1	2	3	4
(15) 教育相談やカウンセリングの知識や技法		1	2	3	4
(16) アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善		1	2	3	4
(17) カリキュラム・マネジメント		1	2	3	4
(18) 組織マネジメント		1	2	3	4

問21 過去12カ月の間、先生が経験した研修（職業能力開発）は、以下の方法を実施しましたか。

あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

研修（職業能力開発）の方法として...	選 択 肢	
	実施した	実施しなかった
(1) 他の教員との共同学習や研究活動	1	2
(2) 「座学」以外の参加型・体験型学習の機会	1	2
(3) 自校や自らの実践の報告	1	2
(4) 数週間から数か月に渡り、複数回に分けて 行われる長期研修	1	2
(5) 2日から1週間程度の短期集中型研修	1	2

問2 2 先生は現在、以下の各事項について、どれくらい「ご自身の力量形成の不十分さ」を感じていますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

自分の力量形成で不十分だと感じているのは...	かなり 不十分だ	やや 不十分だ	ある程度 足りている	足りている
(1) 担当教科等に関する知識と理解	1	2	3	4
(2) 担当教科等の指導法に関する能力	1	2	3	4
(3) 教育課程（カリキュラム）に関する知識	1	2	3	4
(4) 生徒の評価や評価方法	1	2	3	4
(5) 学習指導用の ICT（情報通信技術）技能	1	2	3	4
(6) 学習指導以外の職務用の ICT（情報通信技術） （例：成績入力システム、セキュリティ関連）	1	2	3	4
(7) 生徒の活動と学級経営	1	2	3	4
(8) 学校の管理運営、法規、制度に関する知識	1	2	3	4
(9) 個に応じた学習指導の手法	1	2	3	4
(10) 特別な支援を要する生徒への指導	1	2	3	4
(11) 生徒の健康や安全に関する指導	1	2	3	4
(12) 多文化、多言語環境における指導 （日本語指導を含む）	1	2	3	4
(13) 教科横断的な資質・能力の育成に関する指導 （例：問題解決能力、学び方の学習）	1	2	3	4
(14) 進路指導やキャリア教育の知識や技法	1	2	3	4
(15) 教育相談やカウンセリングの知識や技法	1	2	3	4
(16) アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善	1	2	3	4
(17) カリキュラム・マネジメント	1	2	3	4
(18) 組織マネジメント	1	2	3	4

問2 3 先生が研修（職業能力開発）に参加する場合、以下の事柄は、どれくらい影響しますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

研修（職業能力開発）に参加する場合...	選 択 肢			
	とても 影響する	ある程度 影響する	あまり 影響しない	影響しない
(1) 勤務日程上の調整	1	2	3	4
(2) 費用の高さ	1	2	3	4
(3) 資格や経験、勤務年数などの要件不足	1	2	3	4
(4) 家庭の都合との調整	1	2	3	4
(5) 参加する動機やきっかけのなさ	1	2	3	4
(6) 自分のニーズや希望と合わない内容	1	2	3	4

これで終わりです。
ご回答ありがとうございました。

提出方法：この質問紙は「質問紙用封筒」に封入してください。
その上で、学校で3部まとめて、「返信用封筒」を使い、
郵送してください。

提出日：平成 29 年 1 月 10 日までのご発送をお願いします。

調査結果は、平成 29 年度中に、文部科学省のウェブサイトに、
平成 28 年度文部科学省委託事業「学力調査における質問紙調査の
研究（質問紙調査の項目及び分析手法に関する内外調査研究）」報
告書として、掲載される予定です。

<第3部>

中学校

学校質問紙③

第3部：学級内の生徒問 24～34

説明とお願い

- 1 この調査研究は、「全国学力・学習状況調査」における学校調査質問紙の改善を目的としています。
- 2 回答者の個人情報取得しません。学校番号を含め、データはすべて匿名で統計的に処理します。回答者や学校の個別情報が文部科学省や教育委員会へ報告されたり公開されたりすることは決してありません。
- 3 質問紙は全部で3冊あり、それぞれ回答者が異なります。
この冊子は、第3学年所属の学級担任がお答えください。
※ 難しい場合は、第3学年の生徒の様子をよくご存知の先生がお答えください。
- 4 それぞれの質問について、この冊子の回答欄に直接○印をつけたり数値を書き込んだりして回答してください。
- 5 回答が終わったら、この質問紙を「質問紙用封筒」に封入してください。学校で3冊まとめて、「返信用封筒」にて発送してください。

(1月10日まで)

第3部 学級内の生徒について：

第3学年所属の学級担任がお答えください。

※難しい場合は、第3学年の生徒の様子をよくご存知の先生がお答えください。

問24 以下の問いに「お答えになる先生」は、どなたですか。

次の1から5のうち、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1：今年度第3学年の学級担任
- 2：今年度第3学年の学年主任、副担任、学年所属（学級担任以外）
- 3：今年度第3学年以外の学級担任
- 4：前年度第2学年の学級担任、副担任、学年所属
- 5：1～4のいずれにも当てはまらない

問25 これまでの先生のご経験からみて、「現在の担当学級の印象」は、次のどれにあてはまりますか。

あてはまる選択肢の数字にひとつ、○をつけてください。

- 1：例年より指導しやすい学級
- 2：ほぼ例年通り指導できる学級
- 3：例年より指導に配慮を要する学級

問26 先生からみて、「担当学級の生徒は、具体的にどのような様子」でしょうか。

各項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

担当学級の生徒は、...	選 択 肢			
	よく あてはまる	ある程度 あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない
(1) 私語が少ない	1	2	3	4
(2) 自分から疑問を持つ	1	2	3	4
(3) 落ち着きがある	1	2	3	4
(4) 時や場や状況にふさわしい態度をとる	1	2	3	4
(5) 生徒同士、仲が良い	1	2	3	4
(6) 外遊びや運動を好む	1	2	3	4
(7) 熱心に勉強する	1	2	3	4
(8) 音楽活動（器楽や合唱）を好む	1	2	3	4
(9) 敬語を使える	1	2	3	4
(10) 読書を好む	1	2	3	4
(11) 語彙数が少ない	1	2	3	4

問27 先生からみて、**担当学級の生徒の学習の様子**は、どのような印象でしょうか。
各項目について、あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

担当学級の生徒の学習の様子は、...	選 択 肢			
	よく あてはまる	ある程度 あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない
(1) 教員の話を中心して聞く	1	2	3	4
(2) 教室内が騒々しい	1	2	3	4
(3) 自分で課題を設定できる	1	2	3	4
(4) 発言や発表の工夫をする	1	2	3	4
(5) 情報や資料を活用できる	1	2	3	4
(6) 筋道を立てて話をする	1	2	3	4
(7) 忘れ物をする	1	2	3	4
(8) 他の生徒の話を中心して聞く	1	2	3	4
(9) 授業開始時、静かになるまで時間がかかる	1	2	3	4
(10) 学習に適した雰囲気を創り出す	1	2	3	4
(11) 授業の邪魔をしようとする	1	2	3	4
(12) 間違いやつまずきを冷やかさない	1	2	3	4
(13) 活発に発言する	1	2	3	4
(14) 宿題をきちんとやってくる	1	2	3	4

問28 学級全体や学級内のグループによる話し合い活動について、お尋ねします。

1) 学級全体や学級内のグループによる話し合い活動は、今年度どれくらい、授業等に取り入れていますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、○をつけてください。

- 1 : ほぼ毎回 2 : 2回に1回くらい 3 : 1日1回くらい
 4 : 2、3日に1回くらい 5 : 週に1回くらい 6 : あまり行わない 7 : わからない

2) 次の活動について今年度、先生はどれくらい行いましたか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

今年度、自分の学級では、...	選 択 肢			
	よく 行った	い くら か 行 っ た	あ ま り 行 わ な か っ た	行 わ な か っ た
(1) 生徒自ら、学級やグループで課題を設定する活動	1	2	3	4
(2) 課題の解決に向けて話し合う活動	1	2	3	4
(3) 生徒が話し合いを記録する活動	1	2	3	4
(4) 話し合った内容を発表する活動	1	2	3	4
(5) 話し合いを通して、新たな課題を発見する活動	1	2	3	4

3) 担当学級の生徒は、次の事柄をどれくらいできていると思いますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

担当学級の生徒は話し合い活動で、...	選 択 肢			
	よ く で き て い る	あ る 程 度 で き て い る	あ ま り で き て い な い	で き て い な い
(1) 自分の考えを相手に伝える	1	2	3	4
(2) 相手の考えを最後まで聞く	1	2	3	4
(3) 話し合いの内容を自分に関係ある問題としてとらえる	1	2	3	4
(4) 話し合いが進む雰囲気を作る	1	2	3	4
(5) 自分の考えを深め、広げる	1	2	3	4
(6) 理由（根拠）をつけて意見を言う	1	2	3	4
(7) 話し合いの目的（結論をだすのか、考えを広げるのかなど）に応じた話し合いをする	1	2	3	4
(8) 生徒同士で教え合う	1	2	3	4

問29 次の「**学習指導に関する事柄**」について、先生はご自身の指導力にどれくらい課題を感じていますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

学習指導に関する事柄について、...	かなり 課題がある	ある程度 課題がある	あまり 課題はない	課題はない	指導の機会 がない
(1) ノート指導	1	2	3	4	9
(2) 学習のきまりの指導	1	2	3	4	9
(3) 話し合い活動の指導	1	2	3	4	9
(4) 板書指導の技術	1	2	3	4	9
(5) 掲示物の工夫や活用	1	2	3	4	9
(6) タブレット、電子黒板等の機器利用	1	2	3	4	9
(7) プリント、ワークシートの活用	1	2	3	4	9
(8) ティームティーチングや少人数指導	1	2	3	4	9
(9) 異学年交流を用いた指導	1	2	3	4	9
(10) 総合的な学習の時間の指導	1	2	3	4	9
(11) 道徳の指導	1	2	3	4	9
(12) 学級活動の指導	1	2	3	4	9

問30 「**生徒の学習を評価**」するとき、先生は次の事柄をどれくらい重視していますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

学習評価について、次の事柄を...	選 択 肢			
	かなり 重視する	ある程度 重視する	あまり 重視しない	重視しない
(1) 正確さ	1	2	3	4
(2) 客観性	1	2	3	4
(3) 評価方法の適切さ (妥当性)	1	2	3	4
(3) 根拠となる資料	1	2	3	4
(4) 保護者への説明	1	2	3	4
(5) 他の教員との足並み	1	2	3	4
(6) 生徒への励まし	1	2	3	4
(7) 生徒が自分で丸付けや間違い直しができる ようになること	1	2	3	4
(8) 生徒による授業の振り返り	1	2	3	4

問3 1 先生は、次のような授業を実施するのは、どれくらい自信がありますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、それぞれ○をつけてください。

次のような授業の実施について...	選 択 肢			
	かなり 自信がある	ある程度 自信がある	あまり 自信がない	自信がない
(1) 先生がわかりやすく説明をする	1	2	3	4
(2) 学級やグループで生徒が話し合う	1	2	3	4
(3) 生徒が情報を集めて課題を解決する	1	2	3	4
(4) 練習問題を解かせて習熟させる	1	2	3	4

問3 2 道徳の時間で、生徒自らが議論する指導は、どれくらい行っていますか。

1 : ほぼ毎回 2 : 2回に1回程度 3 : 月に1回程度 4 : 学期に1回程度 5 : ほとんど行っていない

問3 3 現在の担当学級の生徒の家庭学習のようす (通塾や習いごとを除きます) は、
 どれくらいだと思いますか。あてはまる選択肢の数字にひとつ、○をつけてください。

1 : とても熱心に取り組んでいる 2 : ある程度熱心に取り組んでいる
 3 : あまり熱心に取り組んでいない 4 : 熱心に取り組んでいない

問3 4 現在の担当学級の生徒のうち、学習塾に通っている割合は、どれくらいだと思いますか。
 あてはまる選択肢の数字にひとつ、○をつけてください。

1 : 2割未満 2 : 2割から4割くらい 3 : 4割から6割くらい
 4 : 6割から8割くらい 5 : 8割以上 9 : わからない

これで終わりです。
ご回答ありがとうございました。

提出方法：この質問紙は「質問紙用封筒」に封入してください。
その上で、学校で3部まとめて、「返信用封筒」を使い、
郵送してください。

提出日：平成 29 年 1 月 10 日までのご発送をお願いします。

調査結果は、平成 29 年度中に、文部科学省のウェブサイトに、
平成 28 年度文部科学省委託事業「学力調査における質問紙調査の
研究（質問紙調査の項目及び分析手法に関する内外調査研究）」報
告書として、掲載される予定です。